



年 報

2 0 2 2 (令和4) 年度

Annual Report 2022

Kaishi Professional University

はじめに

開志専門職大学
学長 北畑 隆生

年報第3号が教職員の皆さまのご協力により完成しました。

2022年度は、新型コロナが終息と再発を繰り返した年でありましたが、発生当初のようなパニックには陥らず、ある程度コントロールができる感染症として認識されるようになりました。

本学でも、危機管理委員会を中心にしっかりと対応し、大学の授業も概ね正常に遂行できるようになりました。橙華祭も抗原検査を実施した上で、保護者など外部の方にも参加していただき実施できたことは、学生諸君はもちろん教職員にとっても嬉しいことでした。

イノベーション力研究所、視覚芸術研究所が発足しました。11月には、紫竹山キャンパスで、経営情報学会の全国研究発表大会が開催されるなど研究活動も充実してきました。

年々就職活動は早まる傾向にあります。年度後半は、事業創造学部、情報学部の一期生の就職活動が活発化し、次々と内々定の朗報が飛び込んできました。就職先に本学の先輩がいない、企業の本学に対する評価が定まっていないハンディをものともせず、初年度から実質就職率100%は確実となりました。キャリアセンターをはじめ就職活動の指導にあたられた皆様と一期生の頑張りに感謝をしたいと思います。

本学が就職に強い大学であること、専門職大学の実践的教育が学生の能力を大きく伸ばすことが実証されたと思います。

本年は、研究、教育、就職とキャンパスライフの充実に大きな足跡を残した一年であったと思います。

目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 学部・学科の特色	2
2. 沿革	5
3. 組織	
1) 組織図	7
2) 役職者	8
3) 教員数	8
4. 学年暦	9
5. 管理運営	
1) 総務会	24
(1) 学則・規程について	24
(2) 制度・組織・人事・業績・評価について	24
(3) 教育について	25
(4) 学生について	25
(5) 研究について	26
(6) 入学選考試験について	26
(7) 社会連携について	26
2) 教授会	26
3) 各種委員会活動	28
(1) 将来計画機構運営委員会	28
(2) 内部質保証機構運営委員会	30
(3) 内部質保証機構自己点検・評価委員会	32
(4) 産官学連携・国際交流委員会	32
(5) 図書委員会	34
(6) 情報委員会	35
(7) 教務委員会	36
(8) 学生委員会	37
(9) 入試・広報委員会	38
(10) FD・SD委員会	39
(11) 臨地実務実習委員会	42
(12) 倫理委員会	64
(13) 危機管理委員会	64
(14) ビジネスプランコンテスト実行委員会	65
(15) 学外評価委員会	66
4) 各種センター・LAB活動	67
(1) キャリアセンター	67

(2) 創業支援センター	74
(3) イノベーション力研究所	75
(4) 開志未来創造研究センター	76
(5) KAISHI LAB	77
(6) 数理・データサイエンスセンター	83
(7) 新潟視覚芸術研究所 (RIVNA)	84
6. 大学の公開と広報	
1) 講演会等	86
2) 広報活動	86
7. 研究活動	
1) 事業創造学部事業創造学科	89
2) 情報学部情報学科	106
3) アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	117
4) 外部研究費の獲得	123
(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表	123
(2) 新潟県内の科研費採択件数・配分額一覧	123
(3) 専門職大学内の科研費採択件数・配分額一覧	124
(4) 科研費以外の外部研究費獲得状況	124
8. 図書館および図書室	
1) 蔵書数	125
2) 年間受入冊数	125
3) 利用状況	125
4) 蔵書内訳	125
9. 学生関係	
1) 収容定員	126
2) 入試広報活動	126
3) 入学者選抜方法	126
4) 入学選考試験結果	127
5) 在籍学生数	127
6) 異動学生数	127
7) 学生生活	128
(1) 学生生活に関する指導	128
(2) オリエンテーション	128
(3) 健康診断	128
(4) 心理相談	128
(5) 奨学金制度	129
(6) 学友会	130
(7) 大学祭	131
(8) クラブ活動	132
(9) 学生表彰	132

1. 大学の基本理念

1) 基本理念

開志専門職大学設置認可申請書において、「大学設置の趣旨」は次のように記されている。

21世紀の経済社会において産業の高度化・グローバル化がより一層進む中、変化の激しい時代を主体的に生きる実践的な職業人が求められる。つまり、自己の職業における専門性の高度化とともに、幅広い教養を身に付け、複雑化する課題に対応できる実践力と変化への対応力、生涯において自己の能力を高めることのできる専門職業人が求められることとなる。自らの専門性を背景に生産性向上や競争力強化に貢献し、日本の強みや成長につながるイノベーション創出を担えることが専門職業人としての役割である。

以上のことから、専門職大学設置の目的と育成する人材像を次のように定め、「開志専門職大学」を設置することとした。

【開志専門職大学の目的】

本学は、専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的とする。

【開志専門職大学の育成する人材像】

- ①経済社会、企業経営の中核的役割を担い、改善・革新や新たな価値を創造する先導役となる人材。
- ②産業の高度化がより一層進むことに伴い、複雑化する課題に対応できる実践力と創造力を持つ職業人材。
- ③高度な専門知識を持ち、各事業分野において地方都市の活性化に貢献し、日本経済全体の発展に寄与する人材。

本学の目的と育成する人材像を実現するために、また、各種の分野で専門職人材を育成するために下記のとおり「建学の精神」を掲げて、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

【開志専門職大学の建学の精神】

- ①自学 ②挑戦 ③創造 ④貢献
- ①「教育を受ける」ととどまらず、自ら課題を設定し、自ら学ぶ人間になる。
- ②指示待ち人間ではなく、自らの判断で一步前に踏み出す勇気のある人間を目指す。
- ③物事の大小を問わず、それぞれの分野、職業で独創性、創造性を発揮する人材となる。
- ④地域、日本、世界で活躍し、社会の発展に貢献する人間となる。

これらの建学の精神に基づき、実践的で特色のある教育を推進し、高い志を開花させ、誇り高い専門職を育成する。

【開志専門職大学の人材育成方針】

自己の職業における高度な専門的な知識と実践力を身に付け、その専門性をもって経済社会で新たな価値を創造できる即戦力として、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

2) 学部・学科の特色

開志専門職大学設置認可申請書において、「学部・学科の特色」は次のように記されている。

事業創造学部

経済産業省では、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」であるとしており、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、地域の「強み」である産地の技術や農林水産品などの地域資源を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援するための「中小企業地域資源活用促進法」の制定や地域が有する多様な強みや特長、潜在力等をより積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成を推進することを目的とする「地域新産業戦略推進事業」などを展開している。

一方、新潟県が策定した「にいがた未来創造プラン」では、政策展開の基本方向の中で、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」ことを掲げており、地域産業の振興と起業の促進や成長産業の育成に向けて、「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」などに取り組むこととしている。

このような国や地域が取り組む政策等を踏まえたうえで、事業創造学部では、「地域産業の発展を目的とした経済活動を展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、事業を創造することや事業を展開することの意義や役割について理解させるとともに、事業創造や事業活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、地域経済の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを教育研究上の目的としている。

また、事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

事業創造学部の特色は、新潟県が目指す「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」に対応すべく、「新潟県の地域振興、地域政策、地域課題などの地域事情の理解」及び「新潟県の産業基盤や地域資源についての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力」のための科目として、「新潟と地域社会」、「新潟と地域政策」、「新潟と地域資源」、「地域資源活用の理論と方法」、「地域資源活用の事例研究」、「地域資源活用実習」を配置し、また、「消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付ける」のための科目としては、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置している。

このように、事業創造学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を目指すこととしており、既設の大学の経済系・経営系学部との差別化と特色化を図ることとしている。

情報学部

第四次産業革命による AI、IoT、ビッグデータ等の急速な技術革新は、今後、社会・産業構造や就

業構造にも大きな変化をもたらすと想定されており、日本政府の科学技術政策の指針となる「第5期科学技術基本計画」の中で、「ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく」と明記されている。

一方、平成28年6月の経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」によると2030年にIT人材で約59万人が不足すると予測され、2020年には、ビッグデータ、IoT、人工知能を担う先端IT人材の不足数推計は約4.8万人、情報セキュリティ人材の不足数推計は約19.3万人と推計されており、2018年6月に閣議決定された「総合イノベーション戦略」の特に取組を強化すべき主要分野において、「2025年までに先端IT人材を年数万人規模、IT人材を年数十万人規模で育成・採用できる体制を確立する」としている。

また、新潟県が策定した新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」では、成長産業の創出や育成に向けて、「将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、AIやIoT、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する」としている。

さらに、新潟県が策定した「新潟県情報化プラン」では、地域情報化として「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県」の実現をICT活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取組む」としており、同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、「ICT活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取組む」としている。

このような国や地域が取組む政策等への対応に向けて、情報学部では、「高度情報社会の発展を目的とした情報ビジネスを展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことについて理解させるとともに、情報ビジネスを主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、高度情報社会のさらなる進展を図るための創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを目的としている。

また、情報学部では、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探究し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」を養成することとしている。

情報学部の特色は、新潟県が掲げる「AIやIoT、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上の実現」に向けて、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」及び「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」のための科目として、「新潟と地域社会」、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置し、「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」のための科目としては、「デザイン・シンキング実習Ⅰ」、「デザイン・シンキング実習Ⅱ」、「情報産業論」、「国際文化と伝統」、「社会心理・消費者行動」、「マーケティング」、「マーケティング実践」を配置している。

このように、情報学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識の修得のもと、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための能力の育成」を目指すこととしており、既設の大学の情報系学部との差別化と特色化を図ることとしている。

アニメ・マンガ学部

アニメ・マンガ学部は、芸術表現としてのアニメ（ここでは物語性の強い所謂国産商業アニメーション、以下「アニメ」という、を指す）・マンガを主体にした動画・線画に関わる実践的な表現技術力と表現技術についての研究によって、出版・通信・放送をはじめとするさまざまなコンテンツ制作への応用まで深く進展させることを理念としている。

アニメ・マンガ作品創造の基本要素は、(1) 物語、(2) キャラクター、(3) 技法であり、それぞれの要素が不可分に関係しあっている点が顕著な特徴として挙げられる。特にアニメの教育研究教育の現場としては、固有の表現に没入する作り手と、作品の演出および制作進行とを客観的に見ることのできるプロデューサー、そして研究者とが、効果的なコラボレーションをおこなうことによって、これまでのように作業分担されていた分野領域を超えて、客観的に優れた作品を制作することができる。

このようなことからアニメ・マンガ学部では、芸術表現としてのアニメ・マンガに関わる表現力と制作技術の研鑽を図るとともに、作品の企画から制作までを俯瞰できる能力並びに日本のアニメ・マンガの表現力と技術についての研究意識を高めることで、変化に対応した創造力を発揮できる能力を育てることを教育上の目的とする。

また、アニメ・マンガ学部では、職業人としての倫理観とともにアニメ・マンガについて専門的知識と高度かつ専門的な制作技術に加え、隣接分野や隣接芸術に対して興味と教養を持ち、将来の表現上の問題あるいは技術的な課題を確実かつ誠実に解決することができる態度を養い、日本のアニメ・マンガ分野全体の作品の質、文化的・学問的水準、産業的価値をさらに向上させることに貢献できる人材を養成することとしている。

同時にここで養われた客観性は、日本アニメの特性とその世界の顧客分析のための貴重な基礎資料にもなり、またその特性をより発揮しやすい創作ソフトウェアの開発につながる可能性も秘めている。

つまり、アニメ・マンガ作品の制作技術の研鑽と制作そのものを通して、作り手、プロデューサー、研究者という役割の異なる3者の連携による人材育成を行うことによってアカデミックな拠点を形成することが、本学部の特色である。

2. 沿革

- 1995年（平成7年）3月 学校法人新潟総合学院設立認可
下記の学校を宗教法人愛宕神社より学校法人新潟総合学院に設置者を変更
新潟デザイン専門学校, 新潟ビジネス専門学校, NSG 高校進学予備校（各種学校）, 長岡情報ビジネス専門学校, 郡山情報ビジネス専門学校（福島）, 新潟コンピュータ専門学校, 新潟国際情報学院（高等専修学校）, アップル外語観光カレッジ
- 1997年（平成9年）4月 新潟会計ビジネス専門学校を開校
- 1999年（平成11年）4月 新潟公務員法律専門学校を開校
全日本ウインタースポーツ専門学校を開校
郡山テクノデザイン専門学校を開校（福島）
- 2000年（平成12年）4月 日本アニメ・マンガ専門学校を開校
国際ビューティモード専門学校開校
アップル外語観光カレッジの校名を国際エア・リゾート専門学校に変更
- 2001年（平成13年）3月 新潟国際情報学院（高等専修学校）を廃止
NSG 高校進学予備校（各種学校）を廃止
- 2002年（平成14年）4月 国際情報工科専門学校を開校（福島）
国際メディカルテクノロジー専門学校を開校（福島）
- 2003年（平成15年）4月 国際ビューティ・ファッション専門学校を開校（福島）
- 2004年（平成16年）4月 国際アウトドア専門学校を開校
国際エア・リゾート専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
- 2005年（平成17年）4月 郡山テクノデザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン専門学校に変更
- 2006年（平成18年）4月 全日本ウインタースポーツ専門学校に高等課程を設置
- 2008年（平成20年）4月 伝統文化と環境福祉の専門学校を開校
- 2009年（平成21年）4月 国際アウトドア専門学校の校名を国際自然環境アウトドア専門学校に変更
国際情報工科専門学校の校名を専門学校国際情報工科大学校に変更
- 2013年（平成25年）4月 国際アート & デザイン専門学校に高等課程を設置
長岡情報ビジネス専門学校の校名を長岡公務員・情報ビジネス専門学校に変更
長岡こども・医療・介護専門学校を開校
- 2015年（平成27年）1月 上越情報ビジネス専門学校を設置者変更にて取得
郡山情報ビジネス専門学校の校名を郡山情報ビジネス公務員専門学校に変更
上越情報ビジネス専門学校の校名を上越公務員・情報ビジネス専門学校に変更
- 2017年（平成29年）4月 郡山情報ビジネス公務員専門学校の校名を国際ビジネス公務員大学校に変更
国際アート&デザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン大学校に変更
国際メディカルテクノロジー専門学校の校名を国際医療看護福祉大学校に変更
専門学校国際情報工科大学校の校名を国際情報工科自動車大学校に変更
国際ビューティ・ファッション専門学校の校名を国際ビューティファッション・製菓大学校に変更
- 2018年（平成30年）3月 全日本ウインタースポーツ専門学校の高等課程を廃止
- 2018年（平成30年）4月 国際ビジネス公務員大学校, 国際アート&デザイン大学校, 国際医療看護福祉大学校, 国際情報工科自動車大学校, 国際ビューティファッション・製菓大学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
- 2019年（平成31年）4月 新潟法律大学校 開校
新潟ビジネス専門学校, 新潟コンピュータ専門学校, 新潟デザイン専門学校, 新

潟会計ビジネス専門学校, 全日本ウィンタースポーツ専門学校, 新潟公務員法律
専門学校, 日本アニメ・マンガ専門学校, 国際ビューティモード専門学校, 国際
自然環境アウトドア専門学校, 新潟法律大学校を学校法人国際総合学園へ設置者
変更

2019年(令和元年)10月 伝統文化と環境福祉の専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更

2020年(令和2年)4月 開志専門職大学 開学

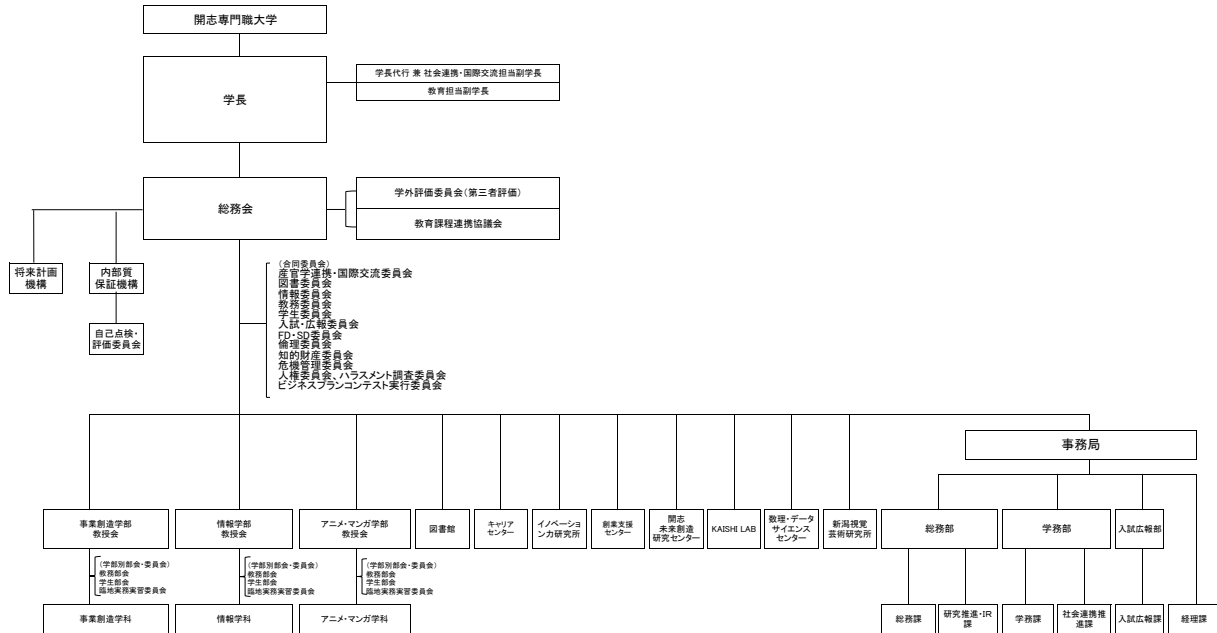
設置学部 学科: 事業創造学部 事業創造学科 情報学部 情報学科

2021年(令和3年)4月 開志専門職大学アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科を設置

3. 組織

1) 組織図

2022年度(令和4年度) 開志専門職大学 組織図



2) 役職者

開志専門職大学

学 長

北畑 隆生

学長代行 兼 社会連携・国際交流担当副学長

櫻井 繁樹

教育担当副学長

三上 喜貴

事業創造学部長

徳田 賢二

情報学部長

三上 喜貴

アニメ・マンガ学部長

神村 幸子

キャリアセンター

センター長

平川 秀樹

副センター長

江口 五郎

イノベーション力研究所

所 長

向 正道

副所長

星 和樹

創業支援センター

所 長

福田 稔

副所長

東城 歩

開志未来創造研究センター

センター長

西川 昌宏

KAISHI LAB

LAB 長

磯西 徹明

副 LAB 長

田代 秀一

顧 問

天城 和哉

数理・データサイエンスセンター

センター長

鈴木 源吾

副センター長

平川 秀樹

新潟視覚芸術研究所 (RIVNA)

所 長

神村 幸子

副所長

堀越 謙三

図書館長

常木 正則

大学事務局長

権瓶 拓也

3) 教員数

開志専門職大学教員

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
事業創造学部	(1)	9	6	2	1	1	19
情報学部		11	2	4	1	2	20
アニメ・マンガ学部		8	5	3	1	5	22
合 計	(1)	28	13	9	3	8	61

※学長を教授にカウントすると教授 29 名, 専任教員合計 62 名.

4. 学年暦

- 4月 1日 (金) ・ 辞令交付式
- 4月 5日 (火) ・ 教職員オリエンテーション (2日目)
- 4月 6日 (水) ・ 新入生オリエンテーション／履修登録期間 (1日目)
- 4月 7日 (木) ・ 新入生オリエンテーション／履修登録期間 (2日目)
- 4月 8日 (金) ・ 新入生オリエンテーション／履修登録期間 (3日目)
・ 臨地実務実習「文化啓発施設運営実務Ⅰ」オリエンテーション
[アニメ・マンガ学部] ※2年次対象
- 4月 9日 (土) ・ 第3回開志専門職大学入学式挙行
(りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館)
2022年度 入学者総数 206名 (4月1日付)
事業創造学部 62名
情報学部 80名
アニメ・マンガ学部 64名
- 4月 11日 (月) ・ 第1学期授業開始 (～6月14日 (火))
- 4月 13日 (水) ・ 新潟都心のまちづくり「にいがた2km」へのプロジェクト
[情報学部] ※3年次対象
・ 学習支援センター主催「TOEIC 対策講座」開講 [紫竹山キャンパス]
・ 学習支援センター主催「基本情報試験対策講座」開講 [米山キャンパス]
- 4月 14日 (木) ・ キャリアセンター主催「就職支援スタートアップセミナー」[情報学部]
- 4月 15日 (金) ・ 学習支援センター主催「Mac の使い方講座」[米山]
- 4月 16日 (土) ・ 健康診断 [3学部1年次対象]
・ 首相 新潟県視察 渋谷修太講師がベンチャー支援の取り組み等を説明
- 4月 18日 (月) ・ KAISHI LAB 主催講習会
「3D プリンタ講習／レーザーカッター講習／UV プリンタ講習」[米山キャンパス]
・ 第1学期履修登録変更期間 (～19日 (火) まで)
・ 公益財団法人 新潟県国際交流協会「外国人相談センター新潟」のマスコットキャラクター採用／制作者：アニメ・マンガ学部2年 佐藤瞳
- 4月 20日 (水) ・ QQEnglish／スタディサプリ説明会 [全学部1年次対象]
- 4月 21日 (木) ・ キャリアセンター主催「就職支援スタートアップセミナー」[情報学部]
- 4月 23日 (土) ・ オープンキャンパス (来校型)
参加者：3学部合計 25名 (県内 22名／県外 3名)
- 4月 27日 (水) ・ 第9回開志コラボセミナー
「ソーシャルメディアの動向と地域のビジネス促進の可能性」
講師：LINE 株式会社 公共戦略室 室長 福島直央 氏
- 4月 28日 (木) ・ キャリアセンター主催「業界セミナー」[アニメ・マンガ学部]
・ キャリアセンター主催「夏のインターンシップ活用講座」[情報学部]
- 4月 29日 (金・祝) ・ 授業実施日
- 5月 9日 (月) ・ キャリアセンター主催「PROG 適性検査説明会」[事業創造学部] ※2年次対象
- 5月 10日 (火) ・ 新潟県警 SNS ワークショップ第1部 [情報学部] ※2年次対象
- 5月 11日 (水) ・ 臨地実務実習：学生向けビジネスマナー講座 [情報学部] ※2年次対象
- 5月 12日 (木) ・ キャリアセンター主催「企業研究・業界研究講座」[情報学部]
- 5月 13日 (金) ・ キャリアセンター主催「自己分析／自己PR 作成講座」[事業創造学部]
- 5月 16日 (月) ・ キャリアセンター主催「自己分析／業界・企業研究セミナー」[事業創造学部]

- 5月17日(火) ・新潟県警 SNS ワークショップ第2部 [情報学部] ※2年次対象
- 5月18日(水) ・留学生対象 日本語コミュニケーションスキルアップ講座 [アニメ・マンガ学部]
 ・新潟県警 SNS ワークショップ [情報学部] ※1年次対象
 ・臨地実務実習：学生向けビジネスマナー講座 [情報学部] ※2年次対象
 ・研究活動に関するFD研修会
- 5月19日(木) ・キャリアセンター主催「企業研究講座」[情報学部]
- 5月20日(金) ・キャリアセンター主催「ES作成講座」[事業創造学部]
- 5月21日(土) ・オープンキャンパス(来校型)
 参加者：3学部合計32名(県内27名/県外5名)
- 5月24日(火) ・キャリアセンター主催「自己分析セミナー」[アニメ・マンガ学部]
- 5月25日(水) ・臨地実務実習：学生向けビジネスマナー講座 [情報学部] ※2年次対象
- 5月26日(木) ・キャリアセンター主催「自己分析・自己PR講座」[情報学部]
- 5月27日(金) ・キャリアセンター主催「夏のインターシップ合説 徹底研究講座」[事業創造学部]
- 5月28日(土) ・臨地実務実習：学生オリエンテーション [情報学部] ※2年次対象
- 6月1日(水) ・臨地実務実習Ⅱ オリエンテーション [情報学部] ※3年次対象
 ・学習支援センター主催「ビジネスマナー講座～服装・身だしなみ～」[情報学部]
 「基本情報技術者試験対策講座」[情報学部]
 ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- 6月2日(木) ・地域産業研究Ⅳ(ものづくり) [事業創造学部] ※3年次対象
 講師：株式会社ライトハウス 代表取締役会長 込山洋一氏
 ・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～自己分析講座～」[情報学部]
- 6月4日(土) ・新潟視覚芸術研究所「RIVNA」開設に伴うKick offシンポジウム開催
 ■新潟視覚芸術研究所「RIVNA」
 RIVNA(リヴィナ) = 「Research Institute of Visual and Narrative Arts, Niigata」
 とは、アニメ・マンガなどの視覚表現の技術と中間素材アーカイブおよび産業論的、文化社会的アプローチによる調査・研究を目的として、本学アニメ・マンガ学部が発足した研究機関。
 テーマ「アニメ中間素材アーカイブの現状と課題」
 登壇者
 椎名ゆかり……文化庁 芸術文化調査官(メディア芸術担当)
 石田美紀……新潟大学 アニメ・アーカイブ研究センター共同代表
 山口洋三……福岡アジア美術館 学芸課長
 清水英利子, 飯沢洋子……トムス・エンタテインメント アーカイブ課
- ・学生健康診断(2年生)
- 6月5日(日) ・新型コロナウイルスワクチン職域接種
 接種者数：40名(学生37名/教職員3名)
- 6月8日(水) ・高雄餐旅大学(台湾)学生との国際交流開催(オンライン)
 参加学生：高雄餐旅大学10名, 開志専門職大学15名
 ・台北駐日経済文化代表処 教育長 黄冠超氏, 領事部 呉鎮宏氏が紫竹山キャンパスに来学し, 日本と台湾の学生交流を視察。
 ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
 ・学習支援センター主催「ビジネスマナー講座～職場の基本マナー～」[情報学部]
 ・「基本情報技術者試験対策講座」[情報学部]
- 6月9日(木) ・デザイン・シンキング実習Ⅰ [情報学部] ※2年次対象
 講師：富士通株式会社デザインセンター フロントデザイン部 デザイナー 小関

美咲 氏

- ・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～応募書類作成講座～」[情報学部]
- ・開志国際高等学校「開志塾」参加生徒 450 名
講義：「マンガってなんだろう？～絵で“物語る”メディア～」
ワークショップ：「夏の海をテーマに 1 ページマンガを描こう！」
講 師：アニメ・マンガ学部 belne 教授, 雑賀忠宏 講師
- 6 月 10 日 (金) ・ビジネスプランの応用 [事業創造学部] ※ 2 年次対象
講 師：株式会社 TBM 代表取締役社長 山崎敦義 氏
- ・会社設立実習Ⅱ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師：株式会社シンク・アイ・ホールディングス/株式会社ピーエムティー
代表取締役社長 京谷忠幸 氏
- ・キャリアセンター主催「夏のインターンシップ活用術」[事業創造学部]
- 6 月 11 日 (土) ・新型コロナウイルスワクチン職域接種
接種者数：13 名 (学生 13 名)
- 6 月 13 日 (月) ・第 1 学期試験期間 (～6 月 14 日 (火))
- 6 月 14 日 (火) ・デザイン・シンキング実習Ⅱ [情報学部] ※ 3 年次対象
新潟市都市政策部へのプレゼンテーション (新潟都心のまちづくり「新潟 2km」への提案) 講師：富士通 Japan 株式会社 デザインセンター長 宇田哲也 氏
- 6 月 15 日 (水) ・第 2 学期授業期間 (～8 月 11 日 (木))
- ・SD 研修会「開志専門職大学 事務局職員としての働き方」
講 師：学校法人新潟総合学院 常務理事兼開志専門職大学 事務局長 権瓶拓也
- ・学習支援センター主催「ビジネスマナー講座～電話・来客対応, 訪問マナー (名刺交換)～」/「基本情報技術者試験対策講座」[情報学部]
- ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- 6 月 16 日 (木) ・地域産業研究Ⅳ (ものづくり) [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師：株式会社ライトハウス 代表取締役会長 込山洋一 氏
- ・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～エントリーシート講座～」[情報学部]
- ・キャリアセンター主催「就活身だしなみ講座」[情報学部]
- ・学習支援センター主催「ホームページ作成講座」[情報学部]
- 6 月 17 日 (金) ・国際文化と伝統 [情報学部] ※ 3 年次対象
講 師：Adam Innovations 株式会社 代表取締役 カウシャル ワウラガラ 氏
- 6 月 18 日 (土) ・トップランナー研究 [事業創造学部] ※ 1 年次対象
講 師：アートグリーン株式会社 代表取締役社長 田中豊 氏
- ・学生健康診断 (3 年生)
- 6 月 20 日 (月) ・現代産業論 [事業創造学部・情報学部] ※ 2 年次対象
講 師：株式会社日立 LG データストレージ 経営戦略本部長 山崎武 氏
- 6 月 21 日 (火) ・表象芸術論 [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年次対象
講 師：株式会社東海林健建築設計事務所 平野勇氣 氏
- ・コース専攻に伴う課題説明会 [アニメ・マンガ学部] ※ 1 年次対象
アニメコース/マンガコース/キャラクターデザインコース
- ・学習支援センター主催「Office 講座～Word 基礎～」[情報学部]
- 6 月 22 日 (水) ・第 2 学期履修登録変更期間 (～6 月 23 日 (木))
- ・学習支援センター主催「ビジネスマナー講座～ビジネス文書, メール, オンライン会議～」/「基本情報技術者試験対策講座」[情報学部]
- 6 月 23 日 (木) ・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～言語・非言語 Web テスト受検会～」/

- 「就活身だしなみ講座」[情報学部]
- 6月24日(金) ・学習支援センター主催「ホームページ作成講座」[情報学部]
- ・ビジネスプランの応用 [事業創造学部] ※2年次対象
講 師：経済産業省経済産業政策局 新規事業創造推進室長 石井芳明 氏
- ・国際文化と伝統 [情報学部] ※3年次対象
講 師：Adam Innovations 株式会社 代表取締役 カウシャル ワウラガラ 氏
- ・クラウド技術概論 [情報学部] ※2年次対象
講 師：株式会社マーズフラッグ 代表取締役社長 武井信也 氏
- 6月25日(土) ・オープンキャンパス (来校型)
参加者：3学部合計45名(県内36名/県外9名)
- ・開志ビジネスプランコンテスト2022
■会場：開志専門職大学 紫竹山キャンパス
■募集テーマ：A)新潟県を中心とした地域活性化
B)SDGsを継続実現するビジネスプラン
■応募数：合計38件(高校生部門13件/大学生部門25件)
■グランプリ
- 1) 高校生の部(個人名除く)
京都先端科学大学附属高等学校「quality inquiry education」
～言語や障害の壁を越えて誰もが学べる教育を目指して～
- 2) 大学生の部(個人名除く)
情報学部「えんたく～食事を通して人と人をつなげるサービス～」
- 6月27日(月) ・キャリアセンター主催「社会人ビジネスマナー講座～社会常識とは～」
[アニメ・マンガ学部] 講師：株式会社マイナビ 稲越早紀 氏
- 6月28日(火) ・表象芸術論 [アニメ・マンガ学部] ※2年次対象
講 師：株式会社東海林健建築設計事務所 平野勇氣 氏
- ・学習支援センター主催「Office講座～Powerpoint基礎～」[情報学部]
- 6月29日(水) ・新規商品開発・販売実習Ⅱ メンター会(中間報告会) [事業創造学部]
※3年次対象 [メンター] 株式会社ベジアビオ 代表取締役 山崎瑤樹 氏
- ・キャリアデザインⅢ [情報学部] ※3年次対象
講 師：株式会社アルプスビジネスクリエーション 法人サポート課 遠藤尚樹 氏
- ・学習支援センター主催「ビジネスマナー講座～実習事前事後のマナー～」/「基本情報技術者試験対策講座」[情報学部]
- 6月30日(木) ・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～一般常識 模擬試験～」[情報学部]
- ・学習支援センター主催「ホームページ作成講座」[情報学部]
- 7月4日(月) ・現代産業論 [事業創造学部・情報学部] ※2年次対象
講 師：一般社団法人新エネルギー財団元会長 中村薫 氏
ソフトバンク株式会社 デジタルトランスフォーメーション統括部
中村文威 氏
- ・キャリアデザインⅢ [事業創造学部] ※3年次対象
講 師：合同会社アレコレ 代表 迫一成 氏
- ・クラウドプラットフォーム実習Ⅰ [情報学部] ※3年次対象
株式会社 JAL インフォテックによる特別講義「旅客事業を支える IT」
- ・学習支援センター主催「午前免除試験対策講座」[情報学部]
～7月22日(金)(毎日1コマ) ※午前免除試験受検者必須
- ・KAISHI LAB 主催「UVプリンタ講習」「レーザーカッター講習」[情報学部]

- 7月 5日 (火) ・表象芸術論 [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年次対象
講 師：株式会社小倉工房 代表取締役 小倉宏昌 氏 (アニメーション美術監督)
- 7月 6日 (水) ・キャリアデザインⅢ [情報学部] ※ 3 年次対象
講 師：株式会社エフエムシー 代表取締役社長 福原昭彦 氏
・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- 7月 7日 (木) ・第 10 回開志コラボセミナー
講 師：株式会社日経 BP 総合研究所プロデューサー 高津尚悟 氏
「あなたは新潟をどのように活性化しますか？」
・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～インターンシップマナー講座～」[情報学部]
・学習支援センター主催「ホームページ作成講座」[情報学部]
- 7月 8日 (金) ・会社設立実習Ⅱ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師：株式会社ライトハウス 代表取締役会長 込山洋一 氏
・キャリアセンター主催「面接対策& IS 先での自己 PR 講座」[事業創造学部]
・クラウドプラットフォーム実習Ⅰ [情報学部] ※ 3 年次対象
株式会社 JAL インフォテック様による特別講義「旅客事業を支える IT」
・国際文化と伝統 [情報学部] ※ 3 年次対象
講 師：客員教授 松長昭 氏
・内部監査 (業務監査)
北爪監事, 齋藤監事, 青山内部監査室長による業務監査
- 7月 9日 (土) ・オープンキャンパス (来校型)
参加者：3 学部合計 29 名 (県内 24 名/県外 5 名)
- 7月 11日 (月) ・第 1 学期成績発表
・キャリアデザインⅢ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師：株式会社栗山米菓 総務部 部長 新田哲也 氏
・KAISHI LAB 主催「3D プリンタ講習」[情報学部]
- 7月 12日 (火) ・新潟と地域政策 [事業創造学部] ※ 2 年次対象
講 師：にいがた庭園街道ネットワーク 事務局長 平原悟 氏
・表象芸術論 [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年次対象
講 師：文化服装学院 専任教員 朝日真 氏
・第 4 回産官学連携・国際交流委員会
- 7月 13日 (水) ・キャリアセンター主催「学内個別企業研究会 (株式会社インフォコーパス)」[情報学部]
・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- 7月 14日 (木) ・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～グループディスカッション講座～」[情報学部]
・学習支援センター主催「ホームページ作成講座」[情報学部]
- 7月 15日 (金) ・キャリアセンター主催「放送業界の新卒採用 1 次面接官が教える, 1 次面接突破の秘訣!」[事業創造学部]
・国際文化と伝統 [情報学部] ※ 3 年次対象
講 師：Adam Innovations 株式会社 代表取締役 カウシャル ワウラガラ 氏
- 7月 16日 (土) ・トップランナー研究 [事業創造学部] ※ 1 年次対象
講 師：株式会社バイオマスレジソホールディングス CEO 神谷雄仁 氏
- 7月 18日 (月) ・KAISHI LAB 主催「3D プリンタ講習」[情報学部]
- 7月 19日 (火) ・新潟と地域政策 [事業創造学部] ※ 2 年次対象
講 師：株式会社ドッツアンドライズ 代表取締役 齋藤和也 氏

- ・表象芸術論 [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年次対象
講 師：株式会社朝日新聞社 記者 小原篤 氏
- 7 月 20 日 (水) ・新規商品開発・販売実習Ⅱ 実習成果報告会 [事業創造学部]
- ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- ・新津南高等学校キャンパス見学会 参加：6 名 (3 年生) / 4 名 (2 年生)
- 7 月 21 日 (木) ・キャリアセンター主催「就職支援セミナー～就活総まとめ！ダイジェスト講座～」[情報学部]
- ・学習支援センター主催「ホームページ作成講座」[情報学部]
- ・キャリアセンター主催「資格取得説明会」[アニメ・マンガ学部]
講 師：株式会社サーティファイ 井上央務 氏
- 7 月 22 日 (金) ・国際文化と伝統 [情報学部] ※ 3 年次対象
講 師：Adam Innovations 株式会社 代表取締役 カウシャル ワウラガラ 氏
- 7 月 23 日 (土) ・トップランナー研究 [事業創造学部] ※ 1 年次対象
講 師：イーパーセル株式会社 CEO 北野譲治 氏
- ・学習支援センター主催 サーティファイ午前免除試験 (修了試験) [情報学部]
- 7 月 25 日 (月) ・新潟西高等学校キャンパス見学会 参加：40 名 (2 年生)
- 7 月 26 日 (火) ・企業内実習Ⅰ 学生向けオリエンテーション [事業創造学部]
- ・表象芸術論 [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年次対象
講 師：佐々木麗子 氏 (映像美術デザイナー)
- ・臨地実務実習「デジタルペイント実務Ⅰ」直前オリエンテーション [アニメ・マンガ学部]
- 7 月 27 日 (水) ・新規商品開発・販売実習Ⅰ 実習成果報告会 [事業創造学部]
- 7 月 28 日 (木) ・学習支援センター主催「ホームページ作成講座」[情報学部]
- ・新潟商業高等学校キャンパス見学会 参加：160 名 (1 年生)
- 7 月 29 日 (金) ・KAISHI LAB 主催「3D プリンタ講習」[情報学部]
- 7 月 30 日 (土) ・オープンキャンパス (来校型)
参加者：3 学部合計 82 名 (県内 66 名 / 県外 16 名)
- ・belne 教授 文化庁メディア芸術祭功労賞受賞記念イベント
第一部：キャンパス見学&アニメ・マンガ学部説明会
第二部：belne 教授基調講演&トークセッション
第三部：地域とアニメ・マンガ教育について語る交流会
- 8 月 3 日 (水) ・第 1・2 学期科目定期試験開始 (～8 月 9 日 (火))
- 8 月 6 日 (土) ・オープンキャンパス (来校型)
参加者：3 学部合計 95 名 (県内 79 名 / 県外 16 名)
- 8 月 7 日 (日) ・ワークショップ「粘土 to アニマ～粘土を使ったアニメーションの世界を学ぶ～」[アニメ・マンガ学部]
- 8 月 9 日 (火) ・臨地実務実習 企業内実習Ⅲ 県外実習者向けオリエンテーション [事業創造学部]
※ 3 年次対象
- ・KAISHI LAB 主催「UV プリンタ講習」「レーザーカッター講習」[情報学部]
- 8 月 10 日 (水) ・第 2 学期科目定期試験開始 (～8 月 11 日 (木))
- ・企業内実習Ⅱ オリエンテーション [事業創造学部] ※ 2 年次対象
- 8 月 22 日 (月) ・集中講義 地域資源活用の事例研究開始 [事業創造学部] ※ 3 年次対象
(～8 月 26 日 (金))
- ・臨地実務実習 デジタルペイント実務実習Ⅰ [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年次対象
(～8 月 26 日 (金)) 実習先：株式会社ファンタジスタ

- ・学習支援センター主催「プログラミングオンライン勉強会」[情報学部]
(～9月16日の毎週月・金)
- 8月23日(火) ・キャリアセンター主催「SPI理解講座①性格検査受検」[事業創造学部]
- 8月24日(水) ・キャリアセンター主催「SPI理解講座②言語・非言語 Web テスト受検」[事業創造学部]
- 8月25日(木) ・キャリアセンター主催「自己分析・自己発見のための職務適正テスト」[事業創造学部・情報学部]
- 8月26日(金) ・キャリアセンター主催「一般常識 模擬試験」[事業創造学部・情報学部]
- 8月27日(土) ・KAISHILAB 主催「DMM コラボ講座(ミニチュアオンエアランプ制作講座)」[情報学部]
- 8月29日(月) ・企業内実習Ⅲ 県外企業実習開始 [事業創造学部]
(アイリスオーヤマ株式会社, 株式会社 TBM, RUFT 株式会社計 3 社)
- 9月1日(木) ・企業内実習Ⅰ 企業オリエンテーション [事業創造学部] ※1年次対象
- ・企業内実習Ⅰ 第2回学生オリエンテーション [事業創造学部] ※1年次対象
- 9月3日(土) ・トップランナー研究 [情報学部] ※1年次対象
- ・キャリアセンター主催「キャリア相談会」[情報学部]
共に 講師:客員教授(元総務事務次官)鈴木茂樹 氏
- 9月5日(月) ・集中講義 実践事業承継 [事業創造学部] ※3年次対象(～8日(木))
講師:SMBC ラーニングサポート株式会社 税理士 佐藤秀和 氏
- ・開志学園高等学校キャンパスツアー見学会 参加:111名(3年生)
- 9月6日(火) ・企業内実習Ⅱ 企業オリエンテーション [事業創造学部] ※2年次対象
- ・企業内実習Ⅲ 企業オリエンテーション [事業創造学部] ※3年次対象
- 9月8日(木) ・第2学期成績発表
- 9月10日(土) ・オープンキャンパス(来校型)
参加者:3学部合計48名(県内40名/県外8名)
- 9月13日(火) ・集中講義 透視図法基礎 [アニメ・マンガ学部] ※1年次対象(～16日(金))
講師:芦野芳晴 氏(アニメーション監督/アニメーター)
- 9月15日(木) ・臨地実務実習Ⅰ 直前オリエンテーション [情報学部] ※2年次対象
- 9月16日(金) ・トップランナー研究 [事業創造学部] ※1年次対象
講師:株式会社 MGNET 代表取締役 武田修美 氏
- ・臨地実務実習Ⅱ 直前オリエンテーション [情報学部] ※3年次対象
- ・キャリアセンター主催「個別企業研究会」(株式会社ジェイ・エス・エス/株式会社ビット・エイ)
「キャリアセンター説明会～臨地実務実習中の就職活動について～」[情報学部]
- 9月20日(火) ・第3期・第4学期履修登録期間(～9月21日(水))
- 9月21日(水) ・履修登録説明会&ビジネスマナー講座 [アニメ・マンガ学部] ※1年次対象
- ・文化啓発施設運営実務Ⅱ 直前オリエンテーション [アニメ・マンガ学部] ※2年次対象
- ・FD研修会「アクティブラーニング」
講師:大阪大学 准教授 佐藤浩章 氏
- 9月22日(木) ・第3学期授業開始(～11月20日(日))
- ・企業内実習Ⅲ 開始 [事業創造学部] ※3年次対象
- ・臨地実務実習Ⅰ・Ⅱ 開始 [情報学部] ※2・3年次対象
- ・臨地実務実習Ⅰ・Ⅱ 事前準備/クラウド技術概論 特別授業 [情報学部] ※2・3年次対象
講師:札幌市立大学デザイン学部 教授 安齋利典 氏

三菱電機株式会社宣伝部 デジタルコミュニケーショングループ 粕谷俊彦 氏

- 9月24日(土) ・臨地実務実習 文化啓発施設運営実務Ⅱ 開始 [アニメ・マンガ学部] ※2年次対象
- 9月27日(火) ・集中講義 企業リスク管理実践 [事業創造学部] ※3年次対象
- 9月28日(水) ・企業内実習Ⅱ 開始 [事業創造学部] ※2年次対象
- 9月28日(水) ・企業内実習Ⅰ 開始 [事業創造学部] ※1年次対象
- 9月29日(木) ・開志国際高等学校キャンパス見学会 (28・29日) 参加:110名 (2年生)
- 10月1日(土) ・第3学期履修登録変更期間 (~9月30日(金))
- 10月1日(土) ・オープンキャンパス (来校型)
参加者:3学部合計24名 (県内16名/県外8名)
- 10月4日(火) ・キャリアセンター主催「面接対策講座」[情報学部]
- 10月5日(水) ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- 10月5日(水) ・学習支援センター主催「基本情報対策講座」全12回実施予定 [情報学部]
- 10月5日(水) ・キャリアセンター主催「就活スタートアップガイダンス」[事業創造学部]
- 10月5日(水) ・新潟東高等学校 キャンパス見学会 参加者2名 (2年生)
- 10月6日(木) ・日本文理高等学校 キャンパス見学会 参加者30名 (2年生)
- 10月7日(金) ・情報と法律 [情報学部] ※1年次対象
講師:国際標準アーキテクト 小林龍生 氏, 浦山毅 氏
- 10月7日(金) ・第7回臨地実務実習委員会 [アニメ・マンガ学部]
- 10月7日(金) ・中条高等学校キャンパスツアー見学会 参加者9名 (1年生)
- 10月8日(土) ・トップランナー研究 [事業創造学部] ※1年次対象
講師:株式会社セブン銀行 代表取締役会長 舟竹泰昭 氏
- 10月11日(火) ・新潟市からの感謝状贈呈式 [アニメ・マンガ学部]
■新潟市都市政策部港湾空港課との連携事業「古町アカデミー作品展 (5/27-6/26)」を開催し、新潟市のサイン整備実証実験に貢献。
- 10月12日(水) ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- 10月12日(水) ・キャリアセンター主催「業界・企業研究～広報の仕事と求められる資質～」[事業創造学部]
- 10月13日(木) ・キャリアセンター主催「1年生対象就活用ポートフォリオ制作講習会」[アニメ・マンガ学部]
- 10月13日(木) ・第1回カラーワークショップ・色彩士検定勉強会 [アニメ・マンガ学部]
- 10月19日(水) ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
- 10月19日(水) ・キャリアセンター主催「業界・企業研究～自己分析～」[事業創造学部]
- 10月19日(水) ・FD・SD研修会「専門職大学への期待と質保証」
講師:一般社団法人専門職高等教育質保証機構 代表理事 川口昭彦 氏
- 10月20日(木) ・第11回開志コラボセミナー「メタバースがもたらす新しい社会の展望」
講師:東京大学名誉教授 東京大学先端科学技術研究所/
サービスVRプロジェクトリーダー 廣瀬通孝 氏
- 10月22日(土) ・入学選考試験 総合型選抜専願型 (A日程)
- 10月22日(土) ・入学選考試験 外国人留学生選抜 (A日程)
- 10月26日(水) ・キャリアセンター主催「業界・企業研究～自己PR作成～」[事業創造学部]
- 10月27日(木) ・ビジネスコミュニケーション [事業創造学部] (2回目:11月10日(木))
講師:ライトハウス キャリアエンカレッジ 会長 込山洋一 氏
- 10月30日(日) ・第2回開志専門職大学 大学祭 (第2回橙華祭)
■入場者数合計 425名 (昨年比163%)
■企画内容など詳細は学友会報告に記載

- ・第3回保護者会（抗原検査実施後陰性の保護者が対象）
 - 米山・古町ルフルキャンパス見学バスツアー実施（希望者のみ事前申込み）
 - 参加保護者数：6名
 - 保護者・教員面談実施（希望者のみ事前申込み）
 - 事業創造学部2件／情報学部6件／アニメ・マンガ学部7件
- 11月1日（火）
 - ・会社設立実習Ⅲ〔事業創造学部〕※3年次対象
 - 講師：税理士法人嘉山会計 代表 佐藤秀和 氏
- 11月2日（水）
 - ・財務諸表論〔事業創造学部〕※2年次対象
 - 講師：TIS株式会社 井ノ口孝史 氏
 - ・キャリアセンター主催「履歴書・ES作成講座」〔事業創造学部〕
 - 講師：株式会社広報しえん 支援部課長 野瀬山知巳 氏
 - ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」〔アニメ・マンガ学部〕
- 11月3日（木・祝）
 - ・会社設立実習Ⅰ〔事業創造学部〕※1年次対象（～4日）
 - 講師：合同会社白眉コンサルティング 酒井英俊 氏
- 11月6日（日）
 - ・オープンキャンパス（来校型）
 - 参加者：3学部合計11名（県内7名／県外4名）
- 11月7日（月）
 - ・現代企業論〔事業創造学部〕※1年次対象
 - 講師：関東図書株式会社 代表取締役 岩淵均 氏
- 11月8日（火）
 - ・会社設立実習Ⅲ〔事業創造学部〕※3年次対象
 - 講師：弁護士法人中村・大城国際法律事務所 中村崇 氏, 大出竜也 氏
- 11月9日（水）
 - ・株式会社 ENGI オンライン企業説明会〔アニメ・マンガ学部〕
 - ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」〔アニメ・マンガ学部〕
 - ・キャリアセンター主催「ES講座＜学生時代に力を入れたこと＞」〔情報学部〕
- 11月11日（金）
 - ・創立記念日
- 11月12日（土）
 - ・経営情報学会 2022年度研究発表大会 一日目
 - 大会テーマ：「VUCA時代のアントレプレナーシップ」
 - 基調講演1：「地方の中小製造業に生きる起業家精神」
 - 講演者：hakkai株式会社 代表取締役社長 関聡彦 氏
 - パネルディスカッション：テーマ「アントレプレナーシップ 新潟からの発信」
 - 登壇者：hakkai株式会社 代表取締役社長 関聡彦 氏
 - 一般社団法人新潟県起業支援センター（CLIP 長岡） 代表理事 高橋秀明 氏
 - 新潟県産業労働部 創業・イノベーション推進課 創業支援班 佐々木淑貴 氏
 - 事業創造大学院大学 杉本等 教授
 - 開志専門職大学 三上喜貴 教授
 - 企業展示：株式会社 NTT データ数理システム
 - 入場者数：100名程度
 - ・キャリアセンター主催「学内企業研究会」〔情報学部〕
 - 参加企業：株式会社 RY コーポレーション, キヤノンイメージングシステムズ株式会社, パーソナルプロセス & テクノロジー株式会社
- 11月13日（日）
 - ・経営情報学会 2022年度研究発表大会 二日目
 - 基調講演2：「プラットフォーム戦略論：日本から発信する独自理論」
 - 講演者：早稲田大学ビジネススクール 教授 根来龍之 氏
 - 入場者数：80名程度

- 11月14日(月) ・地域経済産業論 [事業創造学部] ※1年次対象
講 師:ゴッドハンド株式会社 代表取締役社長 角田稔 氏
- 11月15日(火) ・2022年度第1回教育課程連携協議会 [アニメ・マンガ学部]
・会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※3年次対象
講 師:一般社団法人日本産業カウンセラー協会 新潟相談室長 安藤ますみ 氏
- 11月16日(水) ・キャリアセンター主催「面接対策講座」[事業創造学部]
講 師:株式会社マイナビ 稲越早紀 氏
・キャリアセンター主催「2年生対象就活用ポートフォリオ制作講習会」[アニメ・マンガ学部]
- 11月17日(木) ・第3学期定期試験(～11月18日(金))
・情報学部カリキュラムおよび履修に関する説明会 [情報学部] ※1年次対象
- 11月19日(土) ・キャリアセンター主催「学内企業研究会」[情報学部]
参加企業:株式会社ガゾウ, 株式会社ウイング
・入学選考試験 学校推薦型選抜専願型(公募型前期)
・入学選考試験 学校推薦型選抜専願型(指定校型)
- 11月21日(月) ・第4学期開始(～2月2日(木))
- 11月22日(火) ・会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※3年次対象
講 師:新潟県事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 松尾隆 氏
- 11月23日(水・祝) ・留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
・キャラクターデザイン演習 [アニメ・マンガ学部] ※2年次対象
講 師:株式会社ピーエイアイエヌティ 片山有貴 氏
- 11月24日(木) ・学習支援センター主催「簿記対策講座」[事業創造学部]
毎週木曜日1限 実施(学事暦に基づき実施)
・ユーザエクスペリエンス [情報学部] ※2年次対象
講 師:株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント シニアアドバイザー,
フォワードワークス 取締役会長 橋本真司 氏
・巻総合高等学校 キャンパス見学会 参加者62名(1年生)
- 11月26日(土) ・トップランナー研究 [情報学部] ※1年次対象
講 師:ニッセイ情報テクノロジー株式会社 代表取締役社長 矢部剛 氏
- 11月28日(月) ・第4学期履修登録変更期間(～29日(火)) [全学部]
・アニメーターワークショップ「動きと演技を描き出す後藤隆幸のメソッド」[アニメ・マンガ学部]
講 師:株式会社プロダクションIG 所属 アニメーター 後藤隆幸 氏
- 11月29日(火) ・新潟信用金庫と産学連携の協力推進に関する覚書締結・調印式の開催
■出席者:新潟信用金庫 理事長 小松茂樹 氏, 開志専門職大学 北畑隆生 学長
■会場:新潟信用金庫本店
・会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※3年次対象
講 師:新潟雇用労働相談センター 酒井和美 氏, 唐澤愛里 氏
・開志専門職大学×ランサーズ×ベネッセ キャリアデザイン講座 [情報学部]
講 師:ランサーズ株式会社 CEvO 根岸泰之 氏, 株式会社ベネッセコーポレーション 黒岩友樹 氏
- 11月30日(水) ・株式会社テレビ新潟放送網(TeNY) コンテンツ戦略局との連携事業
「てっと君仲間たちプロジェクト～スピノフ企画」作品審査会 [アニメ・マンガ学部]
■「TeNY賞」を2作品, 「開志賞」2作品を選出. また出展全作品は NFT 化予定
- 12月1日(木) ・色彩ワークショップ「色彩士検定3級, 4級に挑戦」[アニメ・マンガ学部]

- 「色彩士検定 3 級, 4 級問題解説」※ 12 月 8 日 (木) と合わせて連続開催
- 12 月 3 日 (土) ・ オープンキャンパス (来校型)
参加者: 3 学部合計 20 名 (県内 16 名/県外 4 名)
- 12 月 5 日 (月) ・ 現代企業論 [事業創造学部] ※ 1 年次対象, 12 日 (月) と合わせて連続開催
講 師: スリーフィールズ合同会社 合同代表 米田康三 氏
- 12 月 6 日 (火) ・ 2022 年度 第 1 回事業創造学部 教育課程連携協議会
・ 会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師: 新潟信用金庫本店 営業統括部コンサルティング推進課 課長 山之内洋介 氏
・ 開志専門職大学×ランサーズ×ベネッセ キャリアデザイン講座 (全 4 回) [情報学部]
※ 13 日, 20 日と合わせて連続開催
講 師: ランサーズ株式会社 CEvO 根岸泰之 氏, 株式会社ベネッセコーポレーション 黒岩友樹 氏
- 12 月 7 日 (水) ・ 留学生対象「日本語コミュニケーションスキルアップ講座」[アニメ・マンガ学部]
※ 21 日と合わせて連続開催
- 12 月 8 日 (木) ・ ビジネスコミュニケーション [事業創造学部] ※ 1 年次対象
講 師: Apple 社 秋場寛 氏
- 12 月 9 日 (金) ・ 実践ベンチャービジネス [事業創造学部] ※ 2 年次対象
講 師: 株式会社ブイキューブ 代表取締役会長グループ CEO 間下直晃 氏
- 12 月 10 日 (土) ・ KAISHI LAB 主催 ロボット (メガローバ) 操縦体験イベント
※参加者: 小中高生 6 名 保護者: 8 名 企業見学: 1 名
- 12 月 12 日 (月) ・ 現代の科学技術 [※事業創造学部 1 年次/情報学部 2 年次以上対象]
講 師: 宇宙エレベーター協会会長 大野修一 氏
- 12 月 13 日 (火) ・ 会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師: 株式会社スナップ新潟 事務局長 荒川由晃 氏
- 12 月 14 日 (水) ・ 臨地実務実習 企業内実習Ⅰ 実習成果報告会 [事業創造学部] ※ 1 年次対象
※大講義室にて対面でのプレゼンテーション・ポスターセッション
※実習先企業全 18 社中 16 社参加/学生のプレゼンについての質疑応答
・ キャリアセンター主催「履歴書・ES 作成講座」[事業創造学部]
- 12 月 17 日 (土) ・ 高志中等教育学校 土曜活用講座 ※高 1・3 年生対象 [事業創造学部]
「日常生活からビジネス思考を身に付けよう! 将来のための第一歩」
・ トップランナー研究 [情報学部] ※ 1 年次対象
講 師: KDDI 株式会社元執行役員, 中央大学理事 牧俊夫 氏
・ KAISHI LAB × ミラプロ共催 3D プリンタ体験イベント
参加者: 小中高生 17 名 保護者: 13 名
- 12 月 18 日 (日) ・ 色彩ワークショップ画材の特徴と技法 水彩絵の具の下塗り [アニメ・マンガ学部]
- 12 月 19 日 (月) ・ 2023 年度臨地実務実習「文化啓発施設運営実務Ⅰ」オリエンテーション [アニメ・マンガ学部]
- 12 月 20 日 (火) ・ 会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師: IT コーディネーター 石川翔太 氏
- 12 月 21 日 (水) ・ プレ就活スタートアップセミナー [事業創造学部] ※ 2 年次対象
- 12 月 22 日 (木) ・ 没入型コンピューティング [情報学部] ※ 1 年次対象
講 師: 株式会社日立製作所 研究開発グループ 知能ビジョン研究部 藤原貴之 氏
- 12 月 23 日 (金) ・ 没入型コンピューティング実習 [情報学部] ※ 2 年次対象
講 師: 株式会社日立製作所 研究開発グループ 知能ビジョン研究部 藤原貴之 氏

- ・臨地実務実習 企業内実習Ⅲ 成果報告会 [事業創造学部] ※ 3 年次対象
※大雪のためオンラインで開催
※実習先企業全社 17 社参加/学生のプレゼン内容についての質疑応答
- 12 月 24 日 (土) ・入学選考試験 総合型選抜専願型 (B 日程)
- 12 月 27 日 (火) ・第 1 回防災訓練
- ※ 12 月 24 日 (土) ~ 1 月 10 日 (火)
- ・学生休講期間
- 1 月 11 日 (水) ・第 4 学期授業再開
- 1 月 13 日 (金) ・没入型コンピューティング [情報学部] ※ 1 年次対象
講 師: Unity Technologies Japan 神崎仁 氏
- ・キャリアセンター主催 「筆記試験・適正検査対策セミナー」 [アニメ・マンガ学部]
講 師: にいがた就職応援団/株式会社広報しえん 佐藤裕晃 氏
- ・2023 年度臨地実務実習「文化啓発施設運営実務 I」事前オリエンテーション [アニメ・マンガ学部]
- 1 月 14 日 (土) ・トップランナー研究 [情報学部] ※ 1 年次対象
講 師: 楽天銀行株式会社 副社長執行役員 コンプライアンス統括本部 担当役員
野原彰人 氏
- 1 月 16 日 (月) ・第 3 学期成績発表
- 1 月 17 日 (火) ・会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師: NSG グループ人事本部 細金崇英 氏
- ・キャリアセンター主催 「適正診断 MATCH plus 受験会」 [アニメ・マンガ学部]
講 師: 株式会社マイナビ 稲越早紀 氏
- 1 月 18 日 (水) ・臨地実務実習 企業内実習Ⅱ 成果報告会 [事業創造学部] ※ 2 年次対象
- 1 月 19 日 (木) ・没入型コンピューティング [情報学部] ※ 1 年次対象
講 師: フィール・フィジックス代表 植田達郎 氏
- ・キャラクターデザイン実習 [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年生対象
講 師: 株式会社アクアスター 取締役 佐藤秀政 氏
- ・色彩ワークショップ「イラスト画面構成を色で読み解く」 [アニメ・マンガ学部]
- ・模擬面接会&就活解禁に向けたガイダンス [事業創造学部] ※ 3 年次対象
- 1 月 20 日 (金) ・会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師: IT コーディネーター 石川翔太 氏
- ・ビジネスプランの基礎 [事業創造学部] ※ 1 年次対象
講 師: 沖電気工業株式会社執行役員 イノベーション責任者兼技術責任者
藤原雄彦 氏
- ・マンガ脚本実習 [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年生対象
講 師: 株式会社まんがたり 代表取締役 前田雄太 氏
- 1 月 21 日 (土) ・トップランナー研究 [情報学部] ※ 1 年次対象
講 師: 株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役社長兼 CEO 岡村信悟 氏
- 1 月 24 日 (火) ・会社設立実習Ⅲ [事業創造学部] ※ 3 年次対象
講 師: 日本政策金融公庫 融資第一課長 山口和敏 氏
- ・パブリッシング実習 I [アニメ・マンガ学部] ※ 2 年生対象
企業訪問: 株式会社ジョーメイ
- 1 月 25 日 (水) ・第 3・4 学期定期試験 (~2 月 2 日 (木)) [全学部]
- ・企業内実習 I 実習振り返り会 [事業創造学部]
- ・キャリアセンター主催 SPI 理解講座 言語・非言語 Web テスト受検会 [事業創造

- 学部] ※ 3 年次対象
- 1 月 26 日 (木) ・企業内実習Ⅲ 実習振り返り会 [事業創造学部]
 ・没入型コンピューティング [情報学部] ※ 1 年次対象
 講師：Beyond the Frame Festival フェスティバルディレクター 待場勝利 氏
- 1 月 28 日 (土) ・トップランナー研究 [情報学部] ※ 1 年次対象
 講師：会津電力株式会社 取締役会長，クアルコムジャパン株式会社 元代表取締役
 役員兼社長 山田純 氏
- 1 月 29 日 (日) ・キャリアセンター主催「学内企業研究会」[情報学部]
 参加企業：株式会社 ICI, 株式会社 PKUTECH
- 2 月 2 日 (木) ・キャリアセンター主催「業界研究」印刷広告企業について学ぶ [アニメ・マンガ学部]
 講師：株式会社タカヨシ 経営企画室 室長 佐々木聰 氏
 株式会社ディモルギア デザイナー 山田遥太 氏
 ・新 2・3 年次向け履修説明会 [情報学部]
- 2 月 3 日 (金) ・入学選考試験 一般選抜個別試験型・共通テスト利用型一期一次試験
- 2 月 6 日 (月) ・事業承継演習 [事業創造学部] ※ 3 年次対象
 講師：株式会社三井住友銀行法人戦略部・PA 部・新潟法人営業部長 幡野隆史
 氏含め 7 名
 税理士 佐藤秀和 氏
 (SMBC ラーニングサポートによるオムニバス授業)
 実施期間：2 月 6 日 (月) ～9 日 (木)
- ・集中講義「物語芸術ワークショップⅠ」[アニメ・マンガ学部] ※ 1 年次対象 (～10
 日 (金))
- 2 月 7 日 (火) ・キャリアセンター主催「就活説明会」「証明写真撮影会」[情報学部] ※ 3 年次対象
- 2 月 10 日 (金) ・入学選考試験 一般選抜個別試験型・共通テスト利用型二期二次試験
- 2 月 13 日 (月) ・第 12 回開志コラボセミナー (新潟食料農業大学共催)
 テーマ：「新潟におけるスマート農業の取り組み」
 講師：新潟県農林水産部 農業総務課 政策室 主査 平山喜健 氏
 新潟食料農業大学食料産業学部 食料産業学科 講師 斎藤順 氏
 ウォーターセル株式会社 代表取締役社長 齋藤達也 氏
 株式会社ベジ・アビオ 山崎瑤樹 氏
- ・集中講義「物語芸術ワークショップⅡ」[アニメ・マンガ学部] ※ 2 年次対象 (～17
 日 (金))
- 2 月 14 日 (火) ・南魚沼市と包括連携協定締結
 ■会場：南魚沼市事業創発拠点 MUSUBI-BA
 ■包括連携協定記念パネルディスカッション
 パネラー：林茂男 市長・北畑隆生 学長・フラー株式会社 渋谷修太 会長
 ※本学講師ファシリテーター：Socialups 高瀬章充 社長
 テーマ：人材育成・産業振興
 ■開志専門職大 学生ビジネスプランピッチ 情報学部 3 年 2 名
- 2 月 16 日 (木) ・会社設立実習Ⅲ (雪害のための補講) [事業創造学部] ※ 3 年次対象
 講師：日本政策金融公庫 融資第一課長 山口和敏 氏
 ・臨地実務実習シンポジウム [情報学部]
 学生出席 162 名，企業出席 32 社
 ■会場：新潟県民会館大ホール
 ■テーマ：「臨地実務実習の狙いと成果」

- 2月17日(金) ・合同企業説明会 [情報学部] 参加企業数：19社 学生参加人数：58名
- 2月20日(月) ・集中講義「ポストプロダクション実習」[アニメ・マンガ学部] ※2年次対象(～2月22・24・28日)
- 2月27日(月) ・新3年生対象「就職活動に向けた進路調査面談」[アニメ・マンガ学部](～3月16日(木))
- 3月1日(水) ・情報学部学習支援センター主催 春季講座10講座(オンライン)
- 3月3日(金) ・入学選考試験 総合型選抜C日程
- 3月4日(土) ・KAISHILAB ×ミラプロ共催ワークショップ
「子どものアイデア×企業の課題」※参加者9名
・新潟市男女共同参画推進センター 学生連携企画
SDGs「ジェンダー平等展」主催：アルザ新潟(～5日(日))
イオン新潟南 マリンコートにて アニメ・マンガ学部学生作品5点展示
- 3月6日(月) ・2022年度第2回教育課程連携協議会 [アニメ・マンガ学部]
- 3月8日(水) ・新4年生向けオリエンテーション [事業創造学部]
・第4学期成績発表
- 3月15日(水) ・「事業創造大学院大学」進学説明会の開催 参加者：5名
- 3月16日(木) ・2022年度第2回教育課程連携協議会 [情報学部]
- 3月22日(水) ・2022年度第2回教育課程連携協議会 [事業創造学部]
- 3月25日(土) ・2024年度 第1回オープンキャンパス
- 3月26日(日) ・新潟視覚芸術研究所(RIVNA)主催 オンライントークイベント
「にいがたマンガ大賞」がマンガ文化へ果たしてきた役割
■協力：にいがたマンガ大賞
■登壇者：魔夜峰央 氏, 豊田夢太郎 氏(株式会社ミキサー 編集室編集長)
石川兼司 氏(マンガ家/日本アニメ・マンガ専門学校 講師)
belne 氏(マンガ家/開志専門職大学 教授)
- 3月27日(月) ・新2年生向けオリエンテーション [アニメ・マンガ学部]
・入学選考試験(追加募集)総合型選抜E日程
・入学選考試験(追加募集)一般選抜共通テスト利用型4期日程
・入学選考試験(追加募集)外国人留学生選抜E日程
・在学生履修登録期間開始
- 3月28日(火) ・新3年生向けオリエンテーション [事業創造学部]
・新2年生向けオリエンテーション [情報学部]
- 3月29日(水) ・新2年生向けオリエンテーション [事業創造学部]
・新3年生向けオリエンテーション [情報学部]
・新3年生向けオリエンテーション [アニメ・マンガ学部]
- 3月30日(木) ・新4年生向けオリエンテーション [情報学部]
- 3月31日(金) ・KAISHI LAB 主催 電子工作入門講座

○第2回地方活性化と地域発ベンチャーの開催(2月7日(火))

共催：日本ベンチャー学会・新潟県・新潟ニュービジネス協議会

◆テーマ：『新潟発！ベンチャー支援の仕組み～産官学によるサポート体制～』

◆会場：本学 紫竹山キャンパス 4F 大講義室・zoom オンライン【ハイブリッド開催】

◆タイムテーブル

・『第1部 パネルディスカッション：ベンチャーエコシステムの紹介』

(1)『新潟県庁の取り組み』

新潟県産業労働部 創業・イノベーション推進課 政策企画員 佐々木淑貴 氏

(2) 『新潟大学・ベンチャリングラボの紹介』

新潟大学経済科学部 准教授 伊藤龍史 氏

(3) 『新潟県公認・スタートアップ支援拠点の紹介』

株式会社スナッフ新潟 (SN@P) 代表取締役 逸見覚 氏

(4) 『新潟イノベーションベースの紹介』

INSIGHT LAB 株式会社 代表取締役 遠山功 氏

・『第2部 パネルディスカッション：投資家とベンチャー企業の関係』

ファシリテーター 日本ベンチャー学会会長・東京大学大学院 教授 各務茂夫 氏

(1) 株式会社 Matchbox Technologies 代表取締役社長 佐藤洋彰 氏

(2) 新潟ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役 永瀬俊彦 氏

北畑学長，教職員，学生が会場及びオンラインにて参加

○第1回新潟国際アニメーション映画祭 (3月17日(金)～22日(水))

『アジア最大の長編アニメーション映画祭』

◆主催：新潟国際アニメーション映画祭実行委員会

◆会場：古町ルフル広場，新潟市民プラザ，シネウインド，Tジョイ新潟万代，クロスバルにいがた，開志専門職大学

◆上映：長編コンペティション部門，世界の潮流部門，レトロスペクティブ部門，他

◆フォーラム：エキシビジョン，ストリート，アカデミックプログラム，他

5. 管理運営

1) 総務会

(総務会構成員)

北畑隆生学長，櫻井繁樹副学長（学長代行），三上喜貴副学長兼情報学部長，徳田賢二事業創造学部長，堀越謙三アニメ・マンガ学部長，田中恵法人総務部長，矢田広視法人企画部長，権瓶拓也大学事務局長

主な審議・決定事項および報告事項

(1) 学則・規程について

- ・ 規程および細則変更について
- ・ 大学学生活動における交通費等の支給に関する規程について
- ・ 創業支援に関する規程について
- ・ 学生の除籍について
- ・ 開志専門職大学事務組織規程の改定について
- ・ 進級時奨学金制度規程について
- ・ 学外評価委員会規程について
- ・ 育児介護休業法改正に伴う学内関連規程の改定について
- ・ 「イノベーション力研究」編集委員会規程について
- ・ 衛生委員会規程について
- ・ 開志専門職大学年報編集方針について
- ・ 学校法人新潟総合学院公益通報等に関する規程について
- ・ 公認欠席制度に関する細則について
- ・ 学生の試験等における不正対応に関する細則
- ・ 履修・試験・成績評価に関する細則
- ・ 衛生委員会規程
- ・ 『イノベーション力研究』編集委員会規程の一部修正について
- ・ 図書館資料整備規程
- ・ 図書館資料除籍規程
- ・ 図書館寄贈資料受入選択に関する大ガイドライン
- ・ 学外評価委員会規程の改定について
- ・ 外部評価準備委員会規程の廃止について
- ・ 研究活動に係る不正行為の防止および対応に関する規程の改定について
- ・ 創業準備の活動を目的とした休学の取り扱いに関する細則について
- ・ SA（スチューデント・アシスタント）制度規程について
- ・ 開志専門職大学の教育職員の任期に関する規程の改定について
- ・ 学習支援センター運営規程について
- ・ 2022 年度所報募集要項・投稿規程・執筆要領について
- ・ 「公的研究費の不正使用防止に関する規程」の改定について
- ・ 「公的研究費不正使用防止計画」「研究活動に係る行動規範」「研究費不正防止に関する管理運営責任体系図」等について

(2) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・ 客員教授の追加についての報告
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針についての報告
- ・ 濃厚接触者の待期間の見直し及び抗原検査キットの配布ルールについて

- ・担当委員会に関する副学長報告
- ・専任教員採用についての報告
- ・2022 年度, 2023 年度専任教員採用について
- ・令和 4 年度設置に係る設置計画履行状況等報告書について
- ・開志専門職大学自己点検評価項目について
- ・2022 年度臨地実務実習委員会の委員任命（追加）について
- ・一般社団法人専門職高等教育質保証機構 分野別認証評価委員への推薦について
- ・教員の業績評価基準について
- ・情報委員会新組織体制について
- ・経産省地域 DX 促進活動支援事業について
- ・2022 年度新潟県内高等教育機関及び県内学生向け取組について
- ・AC 教員審査結果に伴う 2023 年度専任教員採用について
- ・AC 報告書追加書面調査回答について
- ・自然災害等危機管理マニュアルについて
- ・自然災害等発生時における休講措置に関するガイドライン
- ・大学祭での新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン
- ・2022 年度開志専門職大学事務局 事務分掌・授権（決済）一覧
- ・専任教員の再任（契約更新）について
- ・昇任に係る教員選考委員会設置について
- ・「数理・データサイエンス AI 教育プログラム」の認定取得について
- ・教員人事異動（退職）について
- ・情報学部昇任に係る教員選考委員会設置の取り下げについて
- ・アニメ・マンガ学部 学部長代行の任命について
- ・第 1 回学外評価委員会の開催概要について
- ・2021 年度自己点検・評価に関する外部評価報告書について
- ・2022 年度自己点検・評価報告書 評価項目について
- ・開志専門職大学 2021 年度自己点検・評価報告書について
- ・FD・SD 委員会授業アンケート改訂について
- ・事業創造学部 学部長補佐の任命について
- ・2023 年度委員会組織について
- ・2023 年度年間予定表および学事暦について
- ・創業支援に係る現状報告について
- ・第 2 回ハラスメント防止研修の実施について
- ・開志専門職大学 将来計画（Kaishi Vision 2032）について

(3) 教育について

- ・オンライン授業への移行の目安について
- ・2023 年度オーストラリア短期留学実施に伴う研修先との MOU 締結について

(4) 学生について

- ・学籍異動（除籍）についての報告
- ・2022 年度大学祭（橙華祭）および保護者会の実施概要について
- ・2022 年度大学祭（橙華祭）および保護者会の開催結果について
- ・2023 年度入学式 開催概要について

(5) 研究について

- ・開志専門職大学における研究成果物の刊行について
- ・経営情報学会開催に向けた準備進捗状況について
- ・belne 教授第 25 回文化庁メディア芸術功労賞受賞記念祝賀会開催報告
- ・公的研究費等採択状況について
- ・2022（令和 4）年度科研費獲得状況
- ・2023 年度科研費応募ならびに採択状況について
- ・日本ベンチャー学会フォーラム開催について

(6) 入学選考試験について

- ・2023 年度入学選抜試験方法の変更について
- ・2023 年度入学選考試験志願状況について
- ・2024 年度入学選考試験概要について
- ・2025 年度入学選考試験新課程方式移行に向けた入試制度について

(7) 社会連携について

- ・ビジネスプランコンテスト 2022 実施報告について
- ・高雄餐旅大学交流会について
- ・新潟信用金庫様との包括連携協定の締結について
- ・WACE（世界産学連携教育協会）での「臨地実務実習（情報学部）」成果発表
- ・南魚沼市との連携協定について
- ・2023 年度 KAISHI 視覚芸術トリエンナーレについて
- ・KAISHI 視覚芸術トリエンナーレの応募要項について
- ・KAISHI LAB と広報部門、学内外との連携による認知度向上施策の紹介

2) 教授会

■ 事業創造学部

(教授会構成員)

徳田学部長，櫻井副学長，教授，准教授，講師，助教 計 18 名

(準構成員)

助手 1 名

(オブザーバー)

事務局職員 5 名

主な審議・決定事項および報告事項

- ・学生異動（除籍）についての報告
- ・川崎副学長の退任について
- ・徳田学長特命補佐の任期更新について
- ・内部質保証機構について
- ・客員教授の追加について
- ・開志専門職大学における研究成果物の刊行について
- ・3 回目新型コロナワクチン職域接種について
- ・令和 4 年度設置に係る設置計画履行状況報告書について
- ・入試制度の変更について
- ・2022 年度 臨地実務実習委員会（事業創造学部）の委員任命（追加）について
- ・夏季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について

- ・将来計画機構に提出する学部計画について
- ・経営情報学会大会準備状況について
- ・にいがたデジコングランプリ
- ・事業創造学部_中期目標・中期計画・アクションプランについて
- ・開志専門職大学年報編集方針について
- ・教員の異動について
- ・カリキュラム MAP, 追加する主要科目について
- ・2025 年度（令和 7 年度）入学新課程方式移行に伴う入学選考試験について

■ 情報学部

(教授会構成員)

三上副学長兼学部長, 教授, 准教授, 講師, 助教 計 17 名

(準構成員)

助手 2 名

(オブザーバー)

事務局職員 6 名

主な審議・決定事項および報告事項

- ・川崎副学長の退任について
- ・客員教授の追加について
- ・内部質保証機構について
- ・開志専門職大学における研究成果物の刊行について
- ・3 回目新型コロナワクチン職域接種について
- ・令和 4 年度設置に係る設置計画履行状況報告書について
- ・入試制度の変更について
- ・2022 年度 臨地実務実習委員会（事業創造学部）の委員任命（追加）について
- ・将来計画機構に提出する学部計画について
- ・経営情報学会大会準備状況について
- ・にいがたデジコングランプリについて
- ・情報学部_中期目標・中期計画・アクションプランについて
- ・開志専門職大学年報編集方針について
- ・教員の異動について
- ・カリキュラム改定に伴い, 大学案内作成のための広報に関わる情報の承認
- ・2025 年度（令和 7 年度）入学新課程方式移行に伴う入学選考試験について
- ・2022 年度 API 実習アンケート報告 ～情報学部 2 年生のスキルについて～
- ・ICT 活用総合実習配属

■ アニメ・マンガ学部

(教授会構成員)

神村学部長, 教授, 准教授, 講師, 助教 計 16 名

(準構成員)

助手 4 名

(オブザーバー)

事務局職員 7 名

主な審議・決定事項および報告事項

- ・川崎副学長の退任について

- ・客員教授の追加について
- ・内部質保証機構について
- ・開志専門職大学における研究成果物の刊行について
- ・3回目新型コロナワクチン職域接種について
- ・令和4年度設置に係る設置計画履行状況報告書について
- ・入試制度の変更について
- ・2022年度 臨地実務実習委員会（事業創造学部）の委員任命（追加）について
- ・【アニメ・マンガ学部】中期目標・中期計画・アクションプラン作成様式について
- ・belne先生祝賀会について
- ・カナダのコミック&アニメーションアーティスト「NUNUMI」講演およびワークショップについて
- ・将来計画機構に提出する学部計画について
- ・2023年度ビジネスプランコンテストについて
- ・にいがたデジコングランプリについて
- ・野上氏の入職について
- ・中期目標・中期計画・アクションプランについて
- ・開志専門職大学年報編集方針について
- ・アニメ・マンガ学部「臨地実務実習委員会」体制変更の総務会付議について
- ・「2023年度・開志コンテスト（本学部主幹）」（報告・承認事項）
- ・アニメ・マンガ学部「臨地実務実習委員会」体制変更について
- ・2023年度 KAISHI 視覚芸術トリエンナーレについて
- ・2025年（令和7年度）入学選考試験「新課程方式」移行に伴う入学選考試験について

3) 各種委員会活動

(1) 将来計画機構運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

- 櫻井 繁樹（副学長，機構長・委員長）
- 三上 喜貴（情報学部長，委員）
- 徳田 賢二（事業創造学部長，委員）
- 神村 幸子（アニメ・マンガ学部長，委員）
- 後藤 幸功（自己点検・評価委員長，委員）
- 権瓶 拓也（事務局長，委員）
- 北畑 隆生（学長，オブザーバー）
- 矢田 広視（事務局）
- 高野 真司（事務局）
- 草間 裕（事務局）
- 齋藤あゆみ（事務局）

②委員会開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

第1回 2022年4月4日（月）16時00分～17時15分

1) 各学部からの将来ビジョン提出について

- ①事業創造学部の将来ビジョンについて，審議の結果，承認された。
- ②情報学部の将来ビジョンについて，審議の結果，承認された。
- ③アニメ・マンガ学部の将来ビジョンについて，審議の結果，承認された。

- 2) 将来計画：Kaishi Vision 2032 の構成について、資料に基づき説明された。
- 3) 将来計画策定までのスケジュールについて、資料に基づき説明された。
- 4) 各学部長への中期目標・中期計画・アクションプラン作成依頼について、審議の結果、原案の通り承認された。
- 5) 2022 年度将来計画機構ワーキング・グループ構成員等について、原案の通り承認された。

第 2 回 2022 年 11 月 29 日（火）10 時 30 分～11 時 30 分

- 1) 開志専門職大学 将来計画（Kaishi Vision 2032）案
 - ①事業創造学部の将来計画案
 - ②情報学部の将来計画案
 - ③アニメ・マンガ学部の将来計画案
 - ④内部質保証の将来計画案
 - ⑤大学運営・財務の将来計画案上記 5 点について各担当者より説明され、審議の結果、承認された。
- 2) 将来計画に関わるスケジュールについて説明された。

④特記事項

- ・開志専門職大学 将来計画（Kaishi Vision 2032）を作成し公表した。

将来計画機構ワーキング・グループ

- ①ワーキング・グループ名簿（敬称略，所属，ワーキング・グループ役職）
 - 徳田 賢二（事業創造学部長，ワーキング・グループ長）
 - 向 正道（事業創造学部，教務副委員長，ワーキング・副グループ長）
 - 後藤 幸功（情報学部，ワーキング・グループ員）
 - 田代 秀一（情報学部，ワーキング・グループ員）
 - 星 和樹（事業創造学部，ワーキング・グループ員）
 - 成田 兵衛（アニメ・マンガ学部，ワーキング・グループ員）
 - 木村 智哉（アニメ・マンガ学部，ワーキング・グループ員）
 - 権瓶 拓也（事務局，ワーキング・グループ員）
 - 矢田 広視（事務局，ワーキング・グループ員）
 - 高野 真司（事務局，ワーキング・グループ員）
 - 草間 裕（事務局，ワーキング・グループ員）
 - 齋藤あゆみ（事務局，ワーキング・グループ員）

- ②ワーキング・グループ開催回数 3 回

③審議事項および決定事項等

第 1 回 2022 年 7 月 7 日（木）16 時 30 分～18 時 30 分

- 1) 学部長から発信された将来計画作成依頼について、資料に基づき各学部への依頼内容が説明され、引き続き各学部で中期目標・中期計画・アクションプランの作成を検討することが確認された。
- 2) 将来計画機構ワーキング・グループの役割について、将来計画機構ワーキング・グループは専門部会の一つであることが説明され、田代ワーキング・グループ員の「将来計画機構ワーキング・グループの定義について規程上で明確にすべき」との意見を踏まえ、規程の改定等については櫻井将来計画機構長へ相談の上、検討することが説明された。

- 3) 将来計画スケジュールについて、次回のワーキング・グループの開催日が確認された。

第2回 2022年9月8日(木) 14時30分～16時00分

- 1) 第1回将来計画機構ワーキング・グループ議事録(案)について、資料1に基づき確認された。
- 2) 各学部における将来計画の作成状況について、3学部よりそれぞれ作成状況が説明された。その後、評価指標の考え方について質問があり、議論の結果、評価指標の記載については、徳田ワーキング・グループ長が事務局と検討を進めることが確認された。また、学部編のボリューム感や文言の統一についても議論され、徳田ワーキング・グループ長より、各学部のスタンスを尊重し、無理に統一感を図らなくても良いとは考えているが、櫻井将来計画機構長には、上記について報告することが説明された。
- 3) 内部質保証、大学運営・財務の将来計画の作成状況について、それぞれ資料を基に説明された。
- 4) 中期目標・中期計画・アクションプラン 関連委員会等の書き方の統一について、資料に基づき説明され、議論の結果、徳田ワーキング・グループ長と事務局で確認しながら、統一作業を進めていくことが説明された。
- 5) 将来計画構成(C案)について、資料に基づき、各学部において、原案と比較し、正しく転記されているか確認いただくよう説明された。
- 6) 今後の将来計画スケジュールについて、学部編については、各学部で持ち帰り未記入項目や確認項目について検討いただき、10月上旬の次回ワーキング・グループ開催時に提出いただくよう依頼された。
- 7) その他、権瓶ワーキング・グループ員より、引き続き徳田ワーキング・グループ長と連携を図りながら将来計画の作成作業を進めていくことが確認された。また、徳田ワーキング・グループ長より、引き続き、櫻井将来計画機構長や事務局と協議のうえ、評価指標や表現に関する統一について検討していくことが確認された。

第3回 2022年10月13日(木) 13時00分～14時30分

- 1) 第2回将来計画機構ワーキング・グループ議事録(案)について、資料1に基づき確認された。
- 2) 各学部の中期目標・中期計画・アクションプラン進捗状況について、第2回ワーキング・グループ以降の各学部の修正点がそれぞれ説明された。
- 3) 各学部における中期目標・中期計画・アクションプランの関連委員会等について、高野ワーキング・グループ員より、資料2に基づき、関連委員会等の欄については、①各委員会には事務局として関連部署が規程上定められていることから原則委員会名を記載し、事務局は記載していないこと、②部署の所掌に特化した項目に限定し、事務局組織名を記載していること、以上2点について説明された。また、後藤ワーキング・グループ員より、関連委員会等の公開は、担当の把握のしやすさも考慮し、公開をする方向で問題ないとの意見があった。
- 4) 各学部における中期目標・中期計画・アクションプランの評価指標について、議論の結果、徳田ワーキング・グループ長より、評価指標については、引き続き QAPHE 川口代表理事や高山顧問の意見を伺いながら、徳田ワーキング・グループ長と事務局にて検討していくことが確認された。
- 5) 今後の将来計画スケジュールについて、確認された。

(2) 内部質保証機構運営委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

櫻井 繁樹(副学長, 機構長・委員長)

徳田 賢二(事業創造学部長, 副委員長)

後藤 幸功(情報学部, 副委員長)

権瓶 拓也（事務局長，副委員長）
三上 喜貴（情報学部長，委員）
神村 幸子（アニメ・マンガ学部長，委員）
田代 秀一（情報学部，委員）
北畑 隆生（学長，オブザーバー）
矢田 広視（事務局）
高野 真司（事務局）
草間 裕（事務局）
齋藤あゆみ（事務局）

②会議開催回数 6回

③審議事項および決定事項等

第1回 2022年5月17日（火）9時30分～10時30分

- 1) 「設置に係る設置計画履行状況報告書」を総務会へ提出することが承認された。
- 2) 認証評価基本方針について、産業界から職能人を委員に含め、且つ独立性が担保された外部評価委員会を早急に組織することが承認された。
- 3) 自己点検・評価報告書の目次案について承認された。また、自己点検・評価委員会規程の改定は見送られた。

第2回 2022年8月17日（水）10時00分～10時20分

- 1) 「学外評価委員会」の設置について、承認された。
- 2) 学外評価委員会規程（案）について、承認された。
- 3) 学外評価委員会構成員（案）について、承認された。
- 4) 学外評価委員会スケジュール（案）について、承認された。
- 5) FD・SD研修会にQAPHE川口代表理事をお招きし講演いただくことが報告された。

第3回 2022年9月12日（月）～13日（火）メールによる持ち回り開催

- 1) 設置に係る設置計画履行状況報告書 追加書面調査回答案について、承認された。

第4回 2022年9月27日（火）15時00分～16時00分

- 1) 2021年度自己点検・評価報告書（案）を総務会へ提出することについて、承認された。

第5回 2022年10月17日（月）～18日（火）メールによる持ち回り開催

- 1) 学外評価委員会の構成委員変更について、承認された。

第6回 2023年3月8日（水）15時00分～15時30分

- 1) 2021年度開志専門職大学 自己点検・評価に関する外部評価報告書（案）について、承認された。
- 2) 2022年度自己点検・評価報告書 評価項目（案）について、領域V「修学支援」に「専門職大学らしい特徴を含めた修学支援がどのように行われているか。」を追加することが承認された。

④特記事項

- ・学外評価委員会を設置した。
- ・2021年度開志専門職大学 自己点検・評価に関する外部評価報告書を作成した。

・2022 年度自己点検・評価報告書 評価項目が決定した。

(3) 内部質保証機構自己点検・評価委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

後藤 幸功（情報学部，委員長）
原岡 和生（事業創造学部，副委員長）
雑賀 忠宏（アニメ・マンガ学部，委員）
高野 真司（総務部長，委員）
草間 裕（研究推進・IR 課長，委員）
岡田 正幸（事務局）
安達 将太（事務局）
齋藤あゆみ（事務局）

②会議開催回数 12 回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2021 年度版自己点検・評価報告書作成に関する審議および決定
 - ・作成のための配布資料の内容に関する検討と審議
 - ・作成スケジュール修正の承認および内部質保証機構運営委員会への上程に関する審議
 - ・2021 年度自己点検・評価報告書最終内容に関する検討と審議
 - ・2021 年度自己点検・評価報告書の内部質保証機構運営委員会への上程に関する審議
- 2) 2022 年度の自己点検・評価報告書作成に関する審議および決定
 - ・作成スケジュールの承認および内部質保証機構運営委員会への上程に関する審議
 - ・2022 年度自己点検・評価報告書作成評価項目に関する検討と審議
 - ・2022 年度自己点検・評価報告書作成評価項目の内部質保証機構運営委員会への上程に関する審議

④特記事項

2022 年度から自己点検・評価委員会は総務会直下から内部質保証機構直下となり，本委員会における審議結果は内部質保証機構運営委員会において審議し承認される手続きに変更された。配置移動はあったが，活動内容に大きな変更はなく，2022 年度は 2021 年度自己点検・評価報告書を作成し，内部質保証機構から総務会を経て 2022 年 11 月に本学ホームページに公開された。また，年度の後半では 2022 年度自己点検・評価報告書の項目について調査及び審議を行っている。

本学は 2023 年度の自己点検・評価内容を以って 2024 年度に事業創造学部と情報学部が分野別認証評価を受審することとなっている。そのため，2022 年度の自己点検・評価報告書の評価項目は分野別認証評価を考慮した項目に置き換え，分野別認証評価の準備を始めた。

また，2023 年度自己点検・評価報告書作成のためのエビデンス収集方法について，これまでよりもより効率的な収集方法について検討を始めた。

(4) 産官学連携・国際交流委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

美甘 哲秀（事業創造学部，委員長）
成田 兵衛（アニメ・マンガ学部，副委員長）
西川 昌宏（情報学部，副委員長）
土岐智賀子（事業創造学部，委員）
三上 真紀（アニメ・マンガ学部，委員）

大滝 智菜（事務局）
鈴木 菜々（事務局）
安井 智章（事務局）
谷内田真理（事務局）

②会議開催回数 13回

③審議事項および決定事項等

- 1) 第1回 開志コラボセミナーにて第10回と第11回の内容を入れ替えることが決定した。
- 2) 第1回 第10回開志コラボセミナーの講師と開催が決定した。
- 3) 第1回 セミナーテーマ「メタバース」の講師候補が検討された。
- 4) 第1回 開志コラボセミナーの実施方法について検討された。
- 5) 第2回 グリフィス大学との国際交流会が検討された。
- 6) 第3回 第11回開志コラボセミナーの開催方法が検討された。
- 7) 第3回 第12回開志コラボセミナーの講師が決定した。
- 8) 第4回 ランサーズ株式会社との協業について検討された。
- 9) 第4回 第11回開志コラボセミナーの講師と開催が決定した。
- 10) 第5回 Ms.Nunumi によるご講演・ワークショップ開催について検討された。
- 11) 第5回 第12・13回開志コラボセミナーについて検討された。
- 12) 第6回 新潟信用金庫との包括連携協定について審議・承認された。
- 13) 第6回 第12・13回開志コラボセミナーテーマが決定した。
- 14) 第7回 サラマンカ大学との交流について検討された。
- 15) 第8回 第12回開志コラボセミナーの講師が決定した。
- 16) 第9回 国際交流活動の次年度活動案が検討された。
- 17) 第9回 第12回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 18) 第9回 2023年度開志コラボセミナーの計画が検討された。
- 19) 第10回 南魚沼市との連携協定について承認された。
- 20) 第11回 2023年度開志コラボセミナーの開催時期とテーマについて検討された。
- 21) 第12回 TAFE Queensland との MOU について審議・承認された。
- 22) 第13回 第13回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 23) 第14回 第14回開志コラボセミナーの講師が決定した。

④特記事項

- 1) 2022年4月27日（水）第9回開志コラボセミナーが実施された。
- 2) 2022年6月8日（水）国立高雄餐旅大学とのオンライン国際交流会が実施された。
- 3) 2022年7月7日（木）第10回開志コラボセミナーが実施された。
- 4) 2022年10月20日（木）第11回開志コラボセミナーが実施された。
- 5) 2022年11月4日（金）第1回アニメ・マンガ学部教育課程連携協議会が実施された。
- 6) 2022年9月9日（金）第4回情報学部教育課程連携協議会が実施された。
- 7) 2022年12月5日（月）第4回事業創造学部教育課程連携協議会が実施された。
- 8) 2023年2月13日（月）第12回開志コラボセミナーが実施された。
- 9) 2023年3月6日（月）第2回アニメ・マンガ学部教育課程連携協議会が実施された。
- 10) 2023年3月16日（木）第5回情報学部教育課程連携協議会が実施された。
- 11) 2022年3月22日（水）第5回事業創造学部教育課程連携協議会が実施された。

(5) 図書委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

常木 正則（事業創造学部，委員長）
村井さだゆき（アニメ・マンガ学部，副委員長）
小野山博之（情報学部，委員）
高野 真司（総務部長，委員）
谷井 陽子（図書館専門職員，委員）
櫻井 隆一（総務課員，委員）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2022年度委員会活動計画について，審議の結果，承認された。
- 2) 図書館予算図書費について，シラバス掲載図書の購入を優先する事が承認された。
- 3) 電子図書館 KinoDen の利用方法等案内が配信された旨，報告された。
- 4) 蔵書点検結果が報告された。
- 5) 学生図書購入リクエスト申込状況について，5月11日時点の購入が承認された。
- 6) 学生のためのブックガイド作成について，具体化に向け作成を進める事が承認された。
- 7) 雑誌（電子ジャーナル含）とデータベースの新規購読希望を受付ける事が確認された。
- 8) 学生図書購入リクエスト申込状況について，6月8日時点の購入が承認された。
- 9) 学生のためのブックガイド作成について，教員へ寄稿を依頼する事が承認された。
- 10) 学生図書購入リクエスト申込状況について，6月16日時点の購入が承認された。大学図書館蔵書には相応しくないと懸念される書籍1冊は，保留となった。
- 11) 教員推薦図書申込状況について，審議の結果，購入が承認された。
- 12) 次年度以降の購読雑誌及び契約データベースについて，購読料金，年間利用料金についての確認を継続し，予算と購入価格を勘案して選択する旨が承認された。
- 13) 雑誌保管年数について審議され，学術雑誌，マンガ雑誌の保管年数が承認された。
- 14) 図書館利活用促進（案）について，レイアウトの変更等改善案が提案され承認された。
- 15) 学生図書購入リクエストの選書方法について，選書否の理由を付す事が承認された。
- 16) 学生図書購入リクエストについて，相応しくないと懸念される書籍1冊は，選手順を付して全専任教員に購入可否の判定を依頼する事が承認された。
- 17) 教員推薦図書追加申込状況について，審議の結果，購入が承認された。
- 18) 次年度以降の購読雑誌及び契約データベースについて，審議の結果，購読及び契約に向け予算等を確認することが承認された。
- 19) アニメ・マンガ図書館利活用促進計画（案）について，審議の結果，承認された。
- 20) 学生のためのブックガイド作成について，審議の結果，レイアウト変更が承認された。
- 21) 本学図書館の取書方針について，新たに提案された取書方針と文言の追加，修正，削除を行い，本学図書館の取書方針とする事が承認された。
- 22) 学生図書購入リクエストの選書方法について，新たに提案された選書方法と文言の追加，修正，削除を行い，本学図書館の選書方法とする事が承認された。
- 23) 学生図書購入リクエスト申込み分の選書について，審議の結果，承認された。
- 24) 教員推薦図書追加申込状況について，資料に基づき説明され，承認された。
- 25) 各種規程の改定について，図書・情報委員会名の入った規程改定について，承認された。
- 26) 利活用促進案の一つとして紫竹山キャンパス図書館及びアニメ・マンガ図書館のレイアウトが変更されたことが報告された。また紫竹山キャンパス内に出張図書館として図書館からのお知らせ

- や掲示を行っている旨、報告された。
- 27) 学生図書購入リクエスト申込み 3 件を委員長より全専任教員へ購入の可否の検討を依頼する事が承認された。
 - 28) 延滞時の督促に関する申し合わせ（案）について説明され、審議の結果、承認された。
 - 29) 紫竹山キャンパス図書館にて図書館ガイダンスが行われた旨、報告された。
 - 30) 学生図書購入リクエスト申込み 3 件の選定について、審議の結果、承認された。
 - 31) 学生図書購入リクエスト申込みの選定及び募集締切について、リクエストのうち、定期刊行物については、定期刊行物としての継続購入について全専任教員に意見を求める事が承認された。募集締切日についても併せて承認された。
 - 32) 電子図書について、選定理由が説明され、電子図書 72 点を購入する事が承認された。
 - 33) 学生図書購入リクエスト選定について、専任教員による選定締切を 2023 年 1 月 18 日とする事、及び定期刊行物について継続購入する事が承認された。
 - 34) 次年度の学生図書購入リクエスト募集について説明され、購入図書の選定は委員会にて行う事が審議の結果、承認された。
 - 35) KPU 将来計画より、図書委員会のアクションプランについて、審議の結果、提出された原案に沿って将来計画 Kaishi Vision 2032 に取組む事が承認された。
 - 36) 2023 年度教職員オリエンテーション資料および学生オリエンテーション資料の内容が確認された。
 - 37) 2023 年度活動計画及び委員会開催スケジュールについて、審議の結果、承認された。
 - 38) 2023 年度学生図書購入リクエスト募集について、2023 年 4 月 10 日頃に学生に案内する事が確認された。
 - 39) 2023 年度教員推薦図書について、視聴覚資料の申請対象を全学部とする事が承認された。

(6) 情報委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

- 大野 幸夫（情報学部、委員長）2022 年 6 月まで
高嶋 洋一（情報学部、副委員長）2022 年 7 月より委員長
石川 秀才（事業創造学部、委員）2022 年 7 月より副委員長
森岡 淳（アニメ・マンガ学部、委員）
菅原 悠矢（事務局、委員）
櫻井 隆一（事務局）
村木 伸矢（事務局）
安達 将太（事務局）

②会議開催回数 12 回

③審議事項及び決定事項等

- 1) 2022 年度情報委員会構成員について確認された。
- 2) 2022 年度委員会年間スケジュールについて確認された。
- 3) 2021 年度 3 月総務会にて情報セキュリティ基本方針が承認となったことを報告された。
- 4) Internet Explore の利用停止への対応について審議され、案内文に文言を追加し、情報委員会にて確認の上で教職員へメール発信することが全会一致で承認された。
- 5) 情報セキュリティ規程作成スケジュール（案）について確認された。
- 6) 各種規程について、情報委員会・図書委員会関連規程が現状に即した形にて改定された旨報告された。
- 7) 「2021 年度開志専門職大学年報」図書・情報委員会報告について、提出がなされた旨報告された。
- 8) 将来計画 Kaishi Vision2032 について、情報委員会が担当すべき項目は委員会内で検討・対応す

- ることが確認された。
- 9) 情報セキュリティ基本方針（案）について審議され、異議なく全会一致にて承認された。
 - 10) 情報セキュリティ対策基本規程（案）について審議され、異議なく全会一致にて承認された。
 - 11) 情報セキュリティ対策基準（案）について審議され、異議なく全会一致にて承認された。
 - 12) 情報セキュリティガイドブック（案）について審議され、異議なく全会一致にて承認された。
 - 13) 研究におけるアンケート調査で用いる文面について審議され、異議なく全会一致にて承認された。

④ 特記事項

- ・セキュリティ対策支援企業である IT スクエアのコンサルティングを受け、情報セキュリティ規程の策定を進めることとなった。
- ・学生カルテに関わる学生委員会との打ち合わせを実施した。

(7) 教務委員会

① 委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

田代 秀一（情報学部，委員長）
向 正道（事業創造学部，副委員長）
木村 智哉（アニメ・マンガ学部，委員）
遠田 孝之（事務局）
淡路 雅博（事務局）
三上 真紀（事務局）
水澤 駿介（事務局）
今井 泰子（事務局）
須藤 麻衣（事務局）
西條 海人（事務局）

② 会議開催回数 12 回

③ 審議事項および決定事項等

- 1) 第 1 回：不正行為対応手順について再検討することとされ，当委員会内に検討チームが発足した。
- 2) 第 1 回：GPA 算出方法について再検討することとされ，当委員会内に検討チームが発足した。
- 3) 第 1 回：ゴールデンウイーク明けの授業実施形態について，感染者等の公欠該当者に対する十分な補填措置が行えるよう体制を整備することが決定した。
- 4) 第 2 回：英語ネイティブ学生の英語科目履修について，英語が母国語の学生に限り，教授会で審議・決議することで単位および成績を認定することが決定した。
- 5) 第 2 回：40 人を若干上回るクラスの扱いについて，以下 4 項目を満たした中で運用することが決定した。
 - ・教育の質保証の重要性に鑑み，厳格な成績評価を徹底する。
 - ・学習支援員を確保し，教育の質，学生との対話の質を確保する。
 - ・この措置をとる必要が生じた場合には，事前に文部科学省にも相談して指示や助言を求める。
 - ・本学の内部質保証機構運営委員会と連携し，結果を確認する。
- 6) 第 2 回：不正行為対応手順について決定し，定期試験実施要項へ追記することとした。
- 7) 第 2 回：2022 年度定期試験要項が決定した。
- 8) 第 3 回：非常時の休講に関する細則について審議され，継続検討事項とすることが決定した。
- 9) 第 3 回：GPA 算出方法について決定し，記載先について継続検討事項とすることが決定した（第 7 回委員会に「開志専門職大学 履修・試験・成績評価に関する細則」へ記載することを決定）。

- 10) 第3回～第4回：欠席届に係る課題について、継続審議事項とすることが決定した。
- 11) 第4回：悪天候等に伴う（前回の「非常時の」より改定）休講に関する細則について審議され、引き続き継続検討事項とすることが決定した。
- 12) 第4回：「履修・試験・成績評価に関する細則」の改定について、継続審議事項とすることが決定した。
- 13) 第4回：第2回にて決定した不正行為対応手順について、細則化へ進めることが決定した。
- 14) 第5回：悪天候に伴う休講に関する細則の案について、細則ではなくガイドラインとして発行することとして危機管理委員会へ提起。同委員会で承認された。
- 15) 第5回：感染者数増に伴うオンライン授業へ移行する目安について決定し、危機対策本部で確認の上全教員向けにメールで発信した。
- 16) 第6回：2023年度学事歴案について審議され、継続検討事項とすることが決定した。
- 17) 第7回：「公認欠席制度に関する細則」の新規制定について、細則案が決定した。
- 18) 第7回：「学生の試験等における不正対応に関する細則」の新規制定について、細則案が決定した。
- 19) 第7回：「履修・試験・成績評価に関する細則」の改定について、改定案が決定した。これら決定を受け、「公認欠席制度に関する細則」、「学生の試験等における不正対応に関する細則」の新設、「履修・試験・成績評価に関する細則」の改定案を総務会へ提案し、承認された。
- 20) 第9回：キャンパスガイド2023年度版の記載について、「欠席に係る記載箇所」および「他学科科目の履修・聴講」の文面を確認・決定した。
- 21) 第10回：キャンパスガイド2023年度版に記載する忌引きの場合の公欠日数に関して、「原則」の接頭語を付し、個々に対応するよう決定した。
- 22) 第10回：欠席届・公欠願・試験答案の取り扱いについて、文書取扱規定上の「1年以上保存以外の軽易な文書」と位置付けることが決定した。
- 23) 第11回：インフルエンザ等感染症による公欠対応について、その証明書類とする「診断書等」には、医療機関の診療明細書等の「インフルエンザ罹患が証明できる書類」を含むことが決定した。
- 24) 第12回：就職活動における追試験の取扱いについて、「採否に大きな影響があり、日程変更が難しい事柄」と限定をしたうえで認めるものとして決定した。
- 25) 第12回：定期試験・レポート保管期間の運用ガイドについて、定期試験実施要項記載文案が決定した。

(8) 学生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

上野 衆太（情報学部，委員長）
 星 和樹（事業創造学部，副委員長）
 belne（アニメ・マンガ学部，委員）
 遠田 孝之（事務局）
 淡路 雅博（事務局）
 三上 真紀（事務局）
 阿部 朋子（事務局）
 今井 泰子（事務局）
 和平 勝明（事務局）
 石丸 香織（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 第 1 回 退学規程の改定について、「学生委員会所属の教員と面談」を「学生委員会の指名した教員と面談」とした。
- 2) 第 1 回 古泉財団奨学金の推薦候補者が 2 名決定した。
- 3) 第 2 回 進級時奨学金制度の新設に伴い、規程が審議され続検討することになった。
- 4) 第 2 回 学生カルテの記載を促すため、「個人情報保護方針・取扱い」との整合性が確認された。
- 5) 第 2 回 5 月に各学部において「第 1 回フォロー面談」が実施されていることに伴い、面談の実施を促すとともに、その情報共有がされた。
- 6) 第 3 回 障害者差別解消法の施行に伴い、私立大学は 2024 年 4 月からの合理的配慮等の義務化に合わせ、制度を整える必要がある事が事務局から報告されるとともに、学生委員会以外の教員も含めた検討チームを立ち上げることが報告された。
- 7) 第 4 回 7 月に各学部において「第 2 回学生フォロー面談」が実施されていることに伴い、面談の実施を促すとともに、その情報共有がされた。
- 8) 第 4 回 自己点検・評価・AC 対応チームについて調査検討チームの割り当てが決定した。
- 9) 第 5 回 大学祭について事務局より報告がなされるとともに、保護者会も大学祭と同日開催を計画していることが報告された。大学祭の体験ブースは学生委員会の委員が各学部と連携し実施する事が決定した。
- 10) 第 5 回 進級時奨学金制度について、各学部学務課より GPA 順位にて有資格者を選定し、各学部学生部会にて選定された学生を学部長へ推薦することが承認された。
- 11) 第 6 回 ハンデキャップ（心身共に）のある学生が学務課職員や教員とは別に相談する窓口の設置について、その必要性が議論された。
- 12) 第 7 回 平和中島財団奨学金の推薦候補者が 1 名決定した。
- 13) 第 7 回 次年度新入生準備事項について、入学前オリエンテーション、入学前課題、新入生オリエンテーションなどの計画策定について、各委員へ依頼がなされた。
- 14) 第 7 回 学生意識調査（満足度調査）の実施について検討がなされた。
- 15) 第 8 回 学生表彰制度について検討がなされ、継続検討となった。
- 16) 第 9 回 創業活動目的の休学制度の新設について事務局より提案があり制度の検討がなされた。
- 17) 第 9 回 メンタルに問題を抱える学生が多いことが委員より報告され、メンタルケアの必要性が検討された。公認心理師の資格を持つ看護師が配属されることとなった。
- 18) 第 10 回 SA（ステューデント・アシスタント）制度の新設について、事務局より提案があり、制度の検討がなされ、審議の上承認された。1 月 18 日（水）の総務会にて承認された。
- 19) 第 10 回 2023 年度進級時奨学金について制度の検討がなされ、奨学金の受領方法について、減免（後期学費からの差引）が適切であるとの方針が決定した。
- 20) 第 10 回 2023 年度の大学祭は、情報学部の臨地実務実習とのスケジュールの重複回避のため、6 月 25 日（日）となることが報告された。
- 20) 第 11 回 2023 年度の新入生オリエンテーションの取組状況について共有した。
- 21) 第 12 回 学生意識調査の結果を共有し、学生、教職員へのフィードバックの方法を決定した。

(9) 入試・広報委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

- 宮元万葉美（情報学部、委員長）
- 渡辺 康英（事業創造学部、副委員長）
- 松澤 孝紀（事業創造学部、委員）
- 柄沢 直之（情報学部、委員）
- 堀越 謙三（アニメ・マンガ学部、委員）
- 横山 昌吾（アニメ・マンガ学部、委員）

権瓶 拓也 (事務局)
中原 英伸 (事務局)
濱田 昌宏 (事務局)
柳沼つぐみ (事務局)
皆川 詩子 (事務局)
木田 晴香 (事務局)
田辺 夏奈 (事務局)
石田 雄大 (事務局)
北川 健介 (事務局)
加藤真規子 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2022年度 入試・広報委員会の年間計画について審議し、確認された。
- 2) 2023年度 入学試験日程および入試概要について審議された。
- 3) 入試問題作成部会および入試問題検討部会について内容を審議し、確認された。
- 4) 2023年度 入試概要について検討課題等の内容が審議された。
- 5) 学校推薦型選抜 指定校および指定校の選定について審議された。
- 6) 入学選考試験区分別 各種評価表等の作成について審議された。
- 7) 2023年度 入試制度 (オンライン入試) について審議された。
- 8) 2023年度 入試制度 (学校推薦型選抜 公募型 小論文試験) について審議された。
- 9) 2023年度 入試制度 (外国人留学生選抜) について審議された。
- 10) 2023年度 入試制度の変更について審議し、確認された。
- 11) 2023年度 総合型選抜 A・B 日程および外国人留学生選抜 A・B・C 日程の評価方法について審議された。
- 12) 2023年度 入試問題公正部会 (小論文作成部会) の組織体制変更と今後のスケジュールについて審議し、決定した。
- 13) 外国人留学生選抜 A・B・C 日程の課題作文問題の作成について審議し、決定した。
- 14) 2023年度 学校推薦型選抜 公募型・指定校型の評価方法について審議し、決定した。
- 15) 2023年度 入学試験区分別合否判定配点について審議し、決定した。
- 16) 2023年度 合否判定会議スケジュールの一部変更について審議し、決定した。
- 17) 2023年度 学校推薦型選抜 指定校型 (追加募集) について審議し、決定した。
- 18) 2024年度 入学選考試験概要について、審議された。
- 19) 2025年度 (令和7年度) 新課程方式移行に伴う入学選考試験について審議された。
- 20) 2023年度 一般選抜 個別試験型および共通テスト利用型評価表について審議された。
- 21) 2023年度 3月17日・27日総合型選抜 専願型 (追加募集) について審議し、確認された。
- 22) 2023年度 オープンキャンパス開催日程について審議し、決定した。
- 23) 2023年度 FD/SD 委員会主催研修における入試広報担当概要について審議された。
- 24) 2024年度 入試問題公正部会 (検討部会及び作成部会) 担当者選出について審議し、決定した。

(10) FD・SD 委員会

①委員名簿 (委員会役職, 氏名, 所属)

堀川桂太郎 (情報学部, 委員長)
松澤 孝紀 (事業創造学部, 副委員長)

雑賀 忠宏 (アニメ・マンガ学部, 委員)
江口 五郎 (事務局)
水澤 駿介 (事務局)
須藤 麻衣 (事務局)
白井真結美 (事務局)
西條 海人 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

1) 2022年度FD・SD研修会の内容検討および実施について審議した。

研修会の実施頻度について、他大学の研修実施状況の平均回数などを参照し、2022年度より「各学期にFD研修1回(計4回)+SD研修1回=年間5回の開催を基本とする」旨を決定した。運用方針として、研修受講とアンケート回答を教職員に促し、継続的に状況を把握することとした。

2) 研修ポータルサイト

FD/SD研修を含むFSDS活動について、情報共有のためのポータルサイトを開設することを確認し、運用開始した。

3) 授業評価アンケートの制度改定

3学部×4学期×科目数と重複する質問が多いため、アンケート機会と価値向上のためスキームを見直し、2023年度から運用開始する旨、教授会・総務会での承認を得た。

4) ベストティーチャー表彰の見直し

前年度に決定した当該制度の廃止について再確認し、教授会・総務会での承認を得た。

④特記事項

1) 2022年度FD・SD研修会実施

・第1回FD・SD研修会

実施日: 5月18日(水)

テーマ: 「研究活動」

講師: 事業創造学部 近藤正幸 先生

事業創造学部 西村伸也 先生

事務局 研究推進・IR課 草間裕 課長

参加率: 88.1%

・第2回SD研修会

実施日: 6月15日(水)

テーマ: 「開志専門職大学事務局職員としての働き方」

講師: 学校法人新潟総合学院 常務理事 開志専門職大学 事務局長 権瓶拓也 様

参加率: 89.1%

・第3回FD研修会

実施日: 9月21日(水)

テーマ: 「アクティブラーニング」

講師: 佐藤浩章 顧問

参加率: 70.0%

・第4回FD・SD研修会

実施日: 10月19日(水)

テーマ: 「分野別認証評価」

講師：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 専務理事 川口昭彦 様
参加率：61.1%

・第5回 FD 研修会

実施日：11月23日（水）

テーマ：「著作権」

講師：一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会 事務局長 中川文憲 様
参加率：67.2%

・第6回 FD・SD 研修会

日時：3月15日（水）

テーマ：「学生フォロー」

講師：一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 シニア産業カウンセラー 安藤ますみ 様
参加率：65.3%

2) 情報学部 教育プログラム意見交換会 (FD 活動) 実施

・第1回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：4月27日（水）

参加率：77.7%

・第2回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：5月18日（水）

参加率：72.2%

・第3回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：6月15日（水）

参加率：88.8%

・第4回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：7月20日（水）

参加率：88.2%

・第5回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：9月21日（水）

参加率：88.2%

・第6回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：10月19日（水）

参加率：76.4%

・第7回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：11月16日（水）

参加率：70.5%

・第8回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：12月21日（水）

参加率：88.2%

・第9回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：1月18日（水）

参加率：82.3%

・第10回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日時：2月22日（水）

参加率：88.2%

・第11回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会

日 時：3月15日（水）

参加率：88.2%

(11) 臨地実務実習委員会

事業創造学部

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西村 伸也（事業創造学部，委員長）

福田 稔（事業創造学部，副委員長）

石川 秀才（事業創造学部，委員）

明珍 儀隆（事業創造学部，委員）

渡辺 康英（事業創造学部，委員）

土岐智賀子（事業創造学部，委員）

松澤 孝紀（事業創造学部，委員）

東城 歩（事業創造学部，委員）

市川 昌史（事業創造学部，委員）

江口 五郎（学務部部長，事務局）

遠田 孝之（事業創造学部 学務課課長，社会連携推進課課長，事務局）

安井 智章（事業創造学部 社会連携推進課 課員，事務局）

谷内田真理（事業創造学部 社会連携推進課 課員，事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

第1回 2022年4月13日（水）10：50～11：50

1）新規商品開発・販売実習Ⅰ

（ア）実習がスタートし，運用ルールが報告され，履修対象が決定した。

2）新規商品開発・販売実習Ⅱ

（ア）実習がスタートし，成果報告会，外部講師招聘の調整が行われていることが報告された。

3）企業内実習Ⅲ

（ア）企業用の成果物補足ツールとコマシラバス案が報告された。

4）その他

（ア）学務課実施の各学年別オリエンテーションにてビジネスマナー講座を実施したことが報告され，継続的に研修を学生に実施することが決定した。

（イ）4/7（木）新入生オリエンテーションにて臨地実務実習のガイダンスを行ったことが報告された。

第2回 2022年5月11日（水）10：50～11：50

1）新規商品開発・販売実習Ⅰ

（ア）オンライン実習時のカメラオンにて他大学の実施状況を確認することが決定した。

（イ）第14 - 15週の実施方法について新規商品開発・販売実習Ⅱと連携することが決定した。

2）新規商品開発・販売実習Ⅱ

（ア）第11週に外部講師の招聘を検討していることが報告された。

3）企業内実習Ⅲ

（ア）受け入れ先企業の開拓状況が報告され，教職員で実習先へ実習内容の説明を行う方針が決定した。

4）その他

(ア) 2022 年度事業創造学部臨地実務実習の各担当教員が確認された。

第 3 回 2022 年 6 月 1 日 (水) 10:50~11:50

1) 新規商品開発・販売実習 I

(ア) 成果報告会要項が説明され評価基準を学生に事前開示することが決定した。

2) 新規商品開発・販売実習 II

(ア) メンター会要項とメンター依頼企業が確認された。

(イ) 成果報告会の要項が確認され、学生の動画作成について詳細を教職員で詰めていくことが決定した。

3) 企業内実習 I

(ア) 2022 年度の実習スケジュールが決定した。

(イ) 出席不足学生の教員対応が決定した。

4) 企業内実習 II

(ア) 学生オリエンテーションおよびエントリー方法が説明され、エントリーにて学生に自己紹介動画を作成させることが決定した。

(イ) 企業内実習 II の副担当教員を土岐委員が担当することが提案され決定した。

5) 企業内実習 III

(ア) 県外実習先との夏季休暇期間を利用した集中型での実習実施が検討された。

6) その他

(ア) 第 3・4 学期実習にて教職員が連携し、実習先企業の開拓を行うことが決定した。

(イ) 実習中のフィールドワーク・アンケート実施について総務課との連携にてガイドラインを検討することが決定した。

(ウ) 実習中のオンラインツール使用時のカメラオンについて、弁護士の回答が共有され、リスクについて事務局より配属先・教員に周知することが決定した。

(エ) 実習態度に問題のある学生対応について教職員で意見交換を行い、対応策を検討することが決定した。

(オ) 委員会における助手の業務について検討することが決定した。

第 4 回 2022 年 7 月 6 日 (水) 10:50~12:20

1) 新規商品開発・販売実習 I

(ア) 成果報告会のスケジュールと学生評価基準が報告された。

(イ) 成果報告会と同日開催の教授会に伴う、担当教員の動きについて確認された。

(ウ) 振り返り会が 8/4 に決定し、配属先企業の参加状況と振り返り会質問内容が報告された。

2) 新規商品開発・販売実習 II

(ア) 第 11 週メンター会の実施報告がされた。

(イ) 成果報告会のスケジュールと学生評価基準が報告された。

(ウ) 第 15 週は 2 年生の実習成果報告会に参加することが決定した。

(エ) 実習振り返り会の計画について報告された。

3) 企業内実習 I

(ア) 実習準備スケジュールが報告された。

(イ) コマシラバスに各回欠席課題を記載し、学生に配布することが決定した。

4) 企業内実習 II

(ア) 学生オリエンテーションおよび選考エントリー方法が報告された。

(イ) 企業オリエンテーションが計画中であることが報告された。

5) 企業内実習 III

- (ア) 県外実習先との打ち合わせ状況が報告された。
- (イ) 実習準備スケジュールが報告された。

第 5 回 2022 年 8 月 3 日 (水) 10:50~12:10

- 1) 新規商品開発・販売実習 I
 - (ア) 成果報告会の実施状況と今後のスケジュールが報告された。
- 2) 新規商品開発・販売実習 II
 - (ア) 成果報告会の実施状況と今後のスケジュールが報告された。
 - (イ) 実習の課題について意見交換を行い、改善について委員会のテーマとして継続して検討していくことで決定した。
- 3) 企業内実習 I
 - (ア) 第 1 回学生オリエンテーション実施報告と、最終プレゼンテーション課題が決定した。
 - (イ) 第 2 回学生オリエンテーションの予定が共有された。
- 4) 企業内実習 II
 - (ア) 学生オリエンテーションにて市川委員の事前講義があることが報告された。
 - (イ) 夏季休暇中の集中型実習予定と運用ルールについて共有された。
- 5) 企業内実習 III
 - (ア) 実習時間を 8 時間で実施することが決定した。
 - (イ) 成果報告会を 12/23 に実施することが決定した。
 - (ウ) 8/9 に学生オリエンテーションの実施計画が報告された。
- 6) その他
 - (ア) 第 1・2 期実施の企業・大学実習振り返り会を踏まえ各実習担当教員間でしっかりコミュニケーションを図り進める旨が合意された。
 - (イ) カリキュラム検討会議にて石川委員・松澤委員が臨地実務実習タスクフォースとして検討することが決定した。

第 6 回 2022 年 9 月 7 日 (水) 10:50~12:15

- 1) 新規商品開発・販売実習 I
 - (ア) 学生の成績評価と落単者について報告がされた。
 - (イ) 8/4 の実習振り返り会の報告がされ、要望と課題に対し改善を検討することが決定した。
- 2) 新規商品開発・販売実習 II
 - (ア) 学生の成績評価と落単者について報告がされた。
 - (イ) 8/4 の実習振り返り会の報告がされ、要望と課題に対し改善を検討することが決定した。
- 3) 企業内実習 I
 - (ア) 9/1 の企業・学生オリエンテーション実施の報告がされた。
- 4) 企業内実習 II
 - (ア) 実習の準備状況が報告された。
 - (イ) 9/6 の企業オリエンテーション実施の報告がされた。
- 5) 企業内実習 III
 - (ア) 9/6 実施の企業オリエンテーションにて企業より頂戴した要望が共有された。
- 6) その他
 - (ア) 新型コロナウイルス対応について企業内実習 III 実習開始日が夏季休暇明けのため関係各所の連携強化を行うことが決定した。
 - (イ) 新潟信用金庫より実習先の紹介があったことが報告された。

第 7 回 2022 年 10 月 5 日 (水) 10:50~11:50

1) 企業内実習 I

- (ア) 配属先事前訪問と第 1 回に向けた準備進捗が報告された。
- (イ) 企業からの実習日の振替は原則不可となったことが決定した。

2) 企業内実習 II

- (ア) 成果報告会の評価基準を検討することが報告された。

3) 企業内実習 III

- (ア) 今後の企業対応、成果報告会、学生がインターンシップ参加で実習を欠席する場合の対応等、今後の検討事項が報告された。

4) その他

- (ア) カリキュラム改定に向けた意見交換を行い、以下 4 項目の検討を進めることが決定した。
 - ・実習科目数の減に伴うメリット、デメリット
 - ・専任教員全員が実習を担当する上で検討すべき事項
 - ・受入企業を安定的に確保していくためにカリキュラム改定に際して検討すべき事項
 - ・検討のために、企業や学生へのヒアリングやアンケートの必要性

第 8 回 2022 年 11 月 2 日 (水) 10:50~12:20

1) 企業内実習 I

- (ア) 企業訪問の記録を Teams 内に格納することが決定した。
- (イ) 学生の自家用車通勤時の事故を受けて、学務課から全学生へ、自家用車利用の申請を促す案内を出してもらう旨の依頼を行うことが決定した。

2) 企業内実習 II

- (ア) 実習先での配属学生の問題行動発生対応状況が報告された。
- (イ) 企業訪問のチェックシートを作成することが決定した。
- (ウ) 成果報告会の成績評価案が提案・検討された。

3) 企業内実習 III

- (ア) 実習の振替依頼の対応が報告された。
- (イ) 実習中における学生同士のトラブルについて学生指導・企業対応を行うことが決定した。
- (ウ) 実習先担当者と配属学生のトラブルについて学生の希望に合わせて対応を行ったことが決定した。

4) その他

- (ア) 各実習に対応した教職員連絡網作成が提案され活用することが決定した。
- (イ) 次年度各実習の主担当・副担当教員が決定した。

第 9 回 2022 年 12 月 7 日 (水) 10:50~12:20

1) 企業内実習 I

- (ア) 成果報告会のスケジュールおよび学生・企業への提示内容が報告された。

2) 企業内実習 II

- (ア) 成果報告会の日程変更に対し、変更日の重複する通常授業への対応が決定した。

3) 企業内実習 III

- (ア) 企業担当者と学生間のトラブルについて収束報告がされた。
- (イ) 成果報告会スケジュールと実習終了後の公欠対応について報告された。
- (ウ) 企業との実習振り返り会の日程が決定した。

4) その他

- (ア) 新型コロナウイルスへの感染者状況を鑑みて、学生状況の即時共有について検討することが決

定した。

(イ) 教職員の新型コロナウイルスへの罹患に対するリカバリー対応と、業務関係者の連絡方法について決定した。

(ウ) 次年度新実習について 300 時間で検討されていることが報告された。

(エ) 新実習のカリキュラム内容について以下が列挙された。

【企業の懸念点に対しクリアすべき点】

- ①学生の主体性・マナー・スキルの欠如
- ②今以上にゴールが不明瞭になり、曖昧な対応が多くなる可能性
- ③時間を持って余すことで学生のモチベーション低下の懸念
- ④実習担当者（企業）の労力増

【上記に対し、カリキュラムに盛り込む点】

- ①事前学習，実習前半終了時のフォローアップ，実習後半終了時の事後指導の必要
- ②実習開始前に企業と打ち合わせを行い，実習を通じて解決すべき課題を事前設定
- ③対面とオンライン併用とすることで企業負担を軽減

第 10 回 2023 年 1 月 11 日（水）10：50～12：15

1) 新規商品開発・販売実習 I

(ア) 次年度実習スケジュールと学生選考のエントリー方法が報告された。

(イ) 実習計画を 1 日 8 時間の 10 週間計画で実施することが決定した。

(ウ) エントリー条件に自己紹介動画作成をさせることが決定した。

2) 新規商品開発・販売実習 II

(ア) 次年度実習スケジュールと学生選考のエントリー方法が報告された。

(イ) 中間報公会・成果報告会の計画が報告された。

3) 企業内実習 I

(ア) 成果報告会及び、実習終了の報告がされた。

(イ) 企業との実習振り返り会計画が共有された。

4) 企業内実習 II

(ア) 成果報告会実施計画が報告された。

(イ) 悪天候による休講日の補講対応・公欠者対応が報告された。

5) 企業内実習 III

(ア) 悪天候での成果報告会オンライン実施対応の報告がされた。

(イ) 企業との実習振り返り会実施の報告がされた。

(ウ) 次年度県外受入先との打ち合わせ内容が報告された。

第 11 回 2023 年 2 月 1 日（水）10：50～11：50

1) 新規商品開発・販売実習 I

(ア) 「新規企画書（商品開発・販売計画の概要）の作成」を実習のゴールとすることが決定した。

(イ) 実習運営の細かな内容を検討することが決定した。

2) 新規商品開発・販売実習 II

(ア) 「販売計画を含む新規企画書（簿記会計の理論を活用した収支計画の概算）の作成」を実習のゴールとすることとし、成果物に動画を含めることが決定した。

(イ) 前年度実習の様子を踏まえ、会計・簿記の要素を実習に加えることが決定した。

3) 企業内実習 I

(ア) 企業との実習振り返り会にて出た課題が共有された。

4) 企業内実習 II

(ア) 成果報告会の実施報告と休講対応が報告された。

5) 企業内実習Ⅲ

(ア) 企業との実習振り返り会にて出た課題が共有された。

(イ) 2/16 に成績評価ミーティングを行うことが決定した。

第 12 回 2023 年 3 月 1 日 (水) 10:50~12:50

1) 新規商品開発・販売実習Ⅰ

(ア) 実習のスケジュールとその詳細が報告された。

(イ) 学生オリエンテーションにて外部講師の招聘と指導内容が報告された。

2) 新規商品開発・販売実習Ⅱ

(ア) 学生オリエンテーションの計画案が報告された。

(イ) 実習のスケジュールとその詳細が報告された。

3) 企業内実習Ⅰ

(ア) 学生の成績評価の結果が報告され、決定した。

(イ) 2023 年度の実習方針と準備スケジュールが報告された。

4) 企業内実習Ⅱ

(ア) 企業との実習振り返り会で出た課題に対する検討内容が報告された。

(イ) 学生の成績評価の結果が報告され、決定した。

5) 企業内実習Ⅲ

(ア) 学生の成績評価の結果が報告され、決定した。

6) その他

(ア) 次年度実習の受入先開拓状況が報告された。

(イ) 福田副委員長より実習を通じた社会人基礎力や学生の能力伸長に関する研究活動の進捗報告と協力要請がされ、決定した。

④特記事項

1) 以下 5 つの臨地実務実習が実施された。また学内にて実習成果報告会も開催された。

「新規商品開発・販売実習Ⅰ」2022 年 4 月 13 日~7 月 28 日

「新規商品開発・販売実習Ⅱ」2022 年 4 月 12 日~7 月 27 日

「企業内実習Ⅰ」2022 年 10 月 12 日~12 月 14 日

「企業内実習Ⅱ」2022 年 8 月 29 日~2023 年 1 月 24 日

「企業内実習Ⅲ」2022 年 8 月 29 日~2023 年 12 月 23 日

2) 実施された 5 つの臨地実務実習にて実習振り返り会が実施された。

「新規商品開発・販売実習Ⅰ」2022 年 8 月 3 日

「新規商品開発・販売実習Ⅱ」2022 年 8 月 2 日

「企業内実習Ⅰ」2023 年 1 月 19 日

「企業内実習Ⅱ」2023 年 2 月 7 日

「企業内実習Ⅲ」2023 年 1 月 26 日

情報学部臨地実務実習委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

磯西 徹明 (情報学部, 委員長)

鈴木 源吾 (情報学部, 副委員長)

堀川桂太郎 (情報学部, 副委員長)

上野 衆太 (情報学部, 委員)
西川 昌宏 (情報学部, 委員)
柄沢 直之 (情報学部, 委員)
PANN YU MON (情報学部, 委員)
淡路 雅博 (事務局)
宮本真由美 (事務局)
金子 茜 (事務局)
鈴木 菜々 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等 (○印は重要項目)

第1回 2022年4月6日(水) 16:00~17:00

- 1) ○インターンシップフォーラム(文部科学省主催)について、臨地実務実習のアウトプットとして今年度応募することが決定
- 2) ○実習先への教員配属について以下のように決定
 - ・原則1人あたり3社で割り当てる(小野山先生, 三上先生は2社)
 - ・担当学生数は1人あたり6~10名
 - ・基本的には前年度の継続, 開拓企業を担当, 変更要望があった場合は委員会に委譲
- 3) ○臨地実務実習オリエンテーションの開催日程が決定(5/28, 6/1)
- 4) 学生の希望調査と配属の考え方について確認
 - ・選考(公募)がある企業を希望する学生が選考に落ちた場合, 希望しない企業に配属される可能性があることを理解した上で希望をだしてもらう
 - ・事前面談は原則できないが企業から強い要望があった際には可能とする場合もある

第2回 2022年5月18日(水) 16:30~17:30

- 1) ○2年生オリエンテーション(5/28)に向けての企業開拓, 当日の準備事項の確認
 - ・オリエンテーション内容
三上学部長挨拶, 実習先説明(1社3分), 実習までのスケジュール, シラバス説明
 - ・臨地実務実習先の企業担当者について今年度は招待なし
 - ・当日録画したものを後日動画配信
 - ・公募がある企業(DMM, KDDI)についてはオリエンテーション前に学生へ周知
- 2) ○3年生オリエンテーション(6/1)に向けての企業開拓, 当日の準備事項の確認
 - ・オリエンテーション内容
前年度同様
- 3) 協定書締結状況について確認
 - ・佐渡市, エクスウェア株式会社以外の企業は実習受け入れ受諾済み
- 4) 臨地実務実習シンポジウムの会場および日程について確認
 - ・紫竹山キャンパスでの実施は学年が増えたことにより, 授業で使用するため難しい
 - ・代替案として, 2023年2月中旬に新潟県民会館実施を検討中
以下候補日を教授会で報告し, 異議がなければ決定する
 - ① 2023年2月16日(木)
 - ② 2023年2月14日(火)

第3回 2022年6月1日(水) 16:00~16:30

- 1) 学生オリエンテーション後の情報共有, 実習準備の進め方について確認
 - ・2年生, 3年生(1回目)ともに臨地実務実習先希望アンケート締切 6/10(金)
※教授会(6/22)で状況を報告
 - ・6/27 教員への学生配属の公開(異議申し立て等の対応)
 - ・7/4 学生へ配属先公開
 - ・7/11 企業へ学生配属公開
- 2) ○WACEへの改訂論文・プレゼン動画投稿準備(PANN委員)について確認
 - ・WACE 4th International Research Symposium @金沢工業大学 8/31-9/2の論文が採択
Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at "Professional University" in Japan:Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University
 - ・論文の改訂とプレゼン動画の撮影メ切は6/30(木)まで
 - ・論文発表会は, 8/31(水)~9/2(金)の3日間, PANN委員発表日未定
 - ・論文発表者以外の参加メ切は8/15(月). 参加費は1日1万円程度
- 3) 学生の単位取得状況(臨地実務実習前提科目)について確認
 - ・臨地実務実習が履修できるか微妙な学生情報や各学生の単位取得状況を6/15(水)教育プログラム意見交換会で共有

第4回 2022年7月6日(水) 13:30~14:30

- 1) ○臨地実務実習Ⅰ状況確認と共有
臨地実務実習Ⅰ:実習先企業27社, 学生57名
 - ・7/4 学生へ配属先公開. 学生からは異議なしの状態. 7/11 企業へ学生配属決定を報告し実習準備を進める
- 2) ○臨地実務実習Ⅱ状況確認と共有
臨地実務実習Ⅱ:実習先企業26社, 学生68名
 - ・担当教員の学生選択方法については, 委員会へ委譲5名, 委員会へ委譲せず自分で選択9名
- 3) 学生割り当て状況課題の確認
 - ・株式会社ホロラボの突然の辞退について
事前情報もなく突然の辞退. 協定書締結後でもあり再発防止のため原因解明していく
 - ・単位認定の問題で実習直前にしか学生のアサインが決定できないことについては, 事前に判定会議をし実習履修可否を検討する. 教育プログラム意見交換会で案を提示し, 教授会で報告
 - ・課題がある学生の受入れ企業の不足
チアリー, スピードパーク新潟などNSG系列の企業の増員は難航. 新潟人工知能研究所はこれ以上受入れ人数を増やすことが難しい状況. 教員, 事務局で受入れいただける企業を開拓し, 増やしていく必要がある
 - ・学生の青田買い問題
一部企業が配属解禁前に学生と個別で話を進めていた. 企業が事前面談について拡大解釈してしまった可能性がある. 次年度以降は実習におけるルールを決め説明した上で実習に臨んでいただく
- 4) WACE 投稿・参加予定状況確認
 - ・大学予算で学会参加可能だが現在参加予定者はPANN委員以外は磯西委員長のみ.
- 5) 今後の進め方の確認
 - ・事前学習
 - 2年生対象ビジネスマナー講座(進行中)
 - 1年生対象Office講座(進行中)

- ・直前オリエンテーションの日程決定
臨地実務実習Ⅰ 9月15日(木) 10:00~12:00
臨地実務実習Ⅱ 9月16日(金) 10:00~12:00
- ・臨地実務実習シンポジウム 2022 (ⅠとⅡの合同シンポジウム)
2023年2月16日(木) 新潟県民会館 小ホール
- 6) 今後の事務手続きスケジュールの確認
 - ・企業への配属決定報告は7月末までに担当教員から連絡
 - ・実習計画書の作成は9/9(金)までに担当教員から事務局に提出
※教員と実習先とで調整
 - ・学生の実習承諾書提出メ切は9/9(金)までに学生から事務局に提出
 - ・宿泊が必要な実習先の実習先住所の確認
原則オリテ資料の住所で宿舍選定を行う。7/28(木)までに実習先ごとの宿舍決定、7/29(金)に事務局から学生へ宿舍情報と応援制度を周知
 - ・応援制度利用の申込み
8/23(火)まで、事務局に申込書提出
- 7) その他事項の確認
 - ・成績発表日の検討
一・二学期の成績発表 9月8日(木)
教員の成績登録締め切り 8月30日(火)
 - ・実習期間について
一部の実習先で2月後半まで実習期間となっているが、シンポジウムが2/16(木)、4学期の成績入力が2/18(土)までのため、企業と調整する必要がある

第5回 2022年8月3日(水) 13:30~14:30

- 1) 実習準備状況の確認
 - ・学生の承諾書提出状況
現時点で12名が未提出。未提出者について担当教員へ情報共有
 - ・協定書の締結状況
現時点で5社が未締結
 - ・学生の単位取得見込み(2・3年生)
現状変わりなし
 - ・直前オリエンテーションの準備
コンプライアンスとして、未成年学生の飲酒や学生同士の実習内容の情報交換(情報セキュリティの問題)を含め、次回教授会で式次第を報告できるよう準備
- 2) 事務局共有事項の確認
 - ・遠隔地実習生の交通費補助に年末年始の分も含め計3往復分(実習初日最終日の往復分、学園祭参加の往復分、年末年始の往復分)支給したいが、県内実習生の交通費も含めて予算内でおさまるか検討
 - ・臨地実務実習シンポジウム(2/16)の会場は現在小ホール(300席)で予約済みだが在校生だけで250席であり実習先企業の席が足りない可能性がある。また間隔をあけて着席できないのでコロナウイルス感染対策の観点から会場を大ホール(1階のみ1,136席)に変更
 - ・8/8 情報経営イノベーション専門職大学(IU)を訪問し情報交換をおこなった(訪問者:三上学部長、権瓶局長、淡路情報学部 社会連携推進課課長、遠田事業創造学部 社会連携推進課課長、磯西委員長)

第 6 回 2022 年 9 月 7 日 (水) 13:30~14:40

- 1) ○ 2022 年度臨地実務実習 (I・II) について確認
 - ・履修予定者の状況確認
臨地実務実習 I : 57 名, 臨地実務実習 II : 67 名
- 2) 広報について確認
 - ・実習期間中に入試広報課が実習先に訪問し取材をおこなう予定。各学年から計 3 社を選定する。候補企業は株式会社新開トランスポートシステムズ (2 年), 株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟 (2 年), 株式会社博進堂 (2 年), NTT テクノクロス (3 年), 株式会社ジェイ・エス・エス (3 年)
- 3) 実習に伴う交通費支給について確認
 - ・県外実習生に対して基本 2 往復分の新幹線チケットを配布する。(当初 3 往復分の予定だったが予算の都合上 2 往復分で決定)。どのタイミングで使用するかは学生から希望調査をおこなう
- 4) リモート実習の教室割り当てについて確認
 - ・事務局より以下 2 案提出。担当教員に希望調査をおこなう。(メ切: 来週中)
 - (ア) 1 企業に 1 教室を割り当て
昨年度のように 1 教室を 2 企業で使用 (パーティションで 2 区画仕切り) することはしない。
※教室数に制限あり
 - (イ) 申請があった企業に 1 区画を割り当て
昨年度同様 1 教室をパーティションで 2 区画に分ける。ただし昨年度この方法で企業情報が漏れるという声があがったため企業情報が他企業に漏れることが無いよう会議をおこなう場合は「会議室」設定された教室でおこなう
- 5) その他確認
 - ・○ WACE IRS 2022 と研究発表報告
Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at “Professional University” in Japan:
Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University
Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi
8/30 (火) 金沢工業大学 (オンライン) にて WACE IRS 2022 が開催された。(コロナ増加によりオンラインに変更)
本学からは磯西委員長, PANN 委員の 2 名が参加
 - ・落第者の対応 (臨地実務実習履修できなかった学生)
実習が履修できない学生は実習期間中長期の空白期間が発生。その間の該当学生に対しての諸々の伝達についてはどのポジション (担任, 企業担当教員, 事務局, 各委員会) になるのかは教育プログラム意見交換会にて詳細を決定とする
 - ・9/21 総務会にて, 第 4 回 WACE 国際会議 2022 @金沢工業大学への参加と論文発表について報告

第 7 回 2022 年 10 月 5 日 (水) 13:30~14:30

- 1) 2022 年度臨地実務実習 I・II 開始にあたっての状況確認
 - ・事務手続き (学生・企業) は問題なく進行中
 - ・3 学期から各実習先のスケジュールに従って順次実習を開始しており, 問題なく進行中。コロナウイルス陽性者については公欠対応。無症状の場合はオンラインで実習をしているケースもあり。
 - ・学生の欠席状況の管理
「Cam トレ」は時間数を入力しないと記録が残せない (0 時間と入力できない) ため, 欠席状況

管理方法について継続検討

- 2) 臨地実務実習シンポジウム (2/16) 準備について確認
 - ・午前開始だと企業が参加しづらい (県外企業が多いため) ため 13:00~18:00 で実施
 - ・プログラムは昨年同様, 基調報告, パネルディスカッション, ポスターセッション
 - ・ポスターセッションについては, 午前は 1 年生向け, 午後は企業向けとする. またバーチャル展示については要検討
- 3) 大学年報・自己点検評価報告書の執筆について確認
 - ・大学年報案を事務局が作成し, 委員長を中心に委員で確認・加筆修正
 - ・自己点検評価報告書
磯西委員長と後藤委員長にて調整の上, 必要なドキュメントを提供
- 4) 新規開拓等について確認
 - ・CEC 新潟情報サービス: 最上社長, 豊外取締役他ご来学予定 9/26
 - ・栗山米菓: 事業創造学部の実習先 (池田会長ご推薦) のため, 事業創造学部を通して進めていく
 - ・ミラプロ: 前向きにご検討いただいている
- 5) 広報関連の確認
 - ・WACE 発表 (済)
 - ・三菱電機 / 札幌市立大学特別講義 (済)
- 6) 臨地実務実習シンポジウム開催時間の確認
13:00~18:00 実施で確定
- 7) ○実習中の大学講義の受講の是非について確認
 - ・単位を落とした科目を実習中に該当時間だけ空けてもらい授業を受ける場合は実習先に個別相談の上, 調整・運用する
 - ・臨地実務実習と ICT 活用総合実習を同時に履修する場合についての対応は, 教育プログラム意見交換会等で相談

第 8 回 2022 年 11 月 2 日 (水) 13:30~14:30

- 1) 臨地実務実習 I のまとめ準備案について確認
 - ・アンケート: 教員向け, 企業向け. 提出期限 11 月中とし, 堀川副委員長を中心に内容を検討し教員に通知
 - ・ポスター作成: フォーマット (昨年と同様). A1 版 2 枚にまとめる. 提出期限 11 月中. アンケートとともに教員に通知
- 2) ○臨地実務実習 I の成績に関わる情報共有会議 (各教員・企業の判定結果を基にした横通しによる公平性の確認) について確認
 - ・12/9 (金) 2 限 対面実施
 - ・成績は 12/2 (金) 提出依頼, 結果を事前に共有
- 3) ○臨地実務実習シンポジウム 2022 (I・II 合同シンポジウム) について確認
 - ・昨年度と同様な構成
 - ・日時と場所: 2023 年 2 月 16 日 (木) 13:00~18:00 @県民会館大ホール
ポスターセッションについてはギャラリー A・B
 - ・パネルディスカッションのゲストについては候補者を 1 週間以内に磯西委員長へ報告
- 4) ○入試広報課による実習中の取材企業 (6 社) が決定
 - ・臨地実務実習 I: 株式会社博進堂, 株式会社新開トランスポートシステムズ, 株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟
 - ・臨地実務実習 II: フラー株式会社, NTT テクノクロス株式会社, 株式会社ジェイ・エス・エス
- 5) シンポジウム報告書送付の計画について確認

- ・ 11 月中：2021 年度実習生・保護者宛に送付
 - ・ 12 月中：2021 年度実習先に 2022 年度シンポジウムの案内と一緒に送付
 - ・ 12 月中：2022 年度実習先に 2022 年度シンポジウムの案内と一緒に送付
 - ・ 12 月中：実習お受入れでコンタクトのあった企業に 2022 年度シンポジウムの案内と一緒に送付
 - ・ 12 月中：キャリアセンターでコンタクトのあった企業に 2022 年度シンポジウムの案内と一緒に送付
- ※シンポジウム冊子だけだと全体像が分かりづらいため、臨地実務実習概要資料（磯西委員長作成）も一緒に送付

第 9 回 2022 年 11 月 30 日（水）13：30～14：30

- 1) 臨地実務実習Ⅰのまとめについて確認
 - ・ ポスター，アンケートの提出状況の確認（期限 11 月末）
ポスター，アンケート：本日メ切のためこの後確認予定
 - ・ 実習時間が 100 時間に満たない学生について
2 年生 2 名それぞれ 99 時間，95 時間 30 分。情報共有会議で担当教員に状況を確認
- 2) ○ 2 年生の成績（臨地実務実習Ⅰ）に関わる情報共有会議について確認
（各教員・企業の判定結果を基にした横通しによる公平性の確認）
 - ・ 12/9 2 限（10：50-12：20）@ 1F フューチャーセンター（事務局：宮本・金子）
 - ・ 成績提出は 12/7 まで，淡路課長へ
- 3) 臨地実務実習Ⅱの状況の確認
 - ・ 夜遅くまでのバイト等が原因で実習に身が入らず，合格にできない学生がいる
 - ・ 学生のレベルが低く，対応に苦慮しているというクレームが実習先から入っている。担当教員に確認するなどして実態を把握する。同じ企業で実習している学生や企業に迷惑をかけないように，実習途中に不合格の勧告を出すルールを作れないか検討。
※実際に不合格にするかは別として，実習中に不合格になる可能性があることを学生に事前に説明する必要がある
 - ・ ポスター作成は実習の終了と同時に提出してもらうようなスケジュール感
 - ・ 実習時間が 150 時間に満たない学生について
3 年生 2 名それぞれ 102 時間，84 時間。
- 4) 臨地実務実習シンポジウム 2022 の準備の確認
 - ・ 構成は昨年と同様
昨年：基調報告，パネルディスカッション，ポスターセッション，企業からの講評，実習総括
 - ・ 招待パネリストの選定（以下，現時点の候補者）
シスココンサルティング大井社長，グラフ原田社長，トラス・テック島社長，ベジ・アビオ田中取締役，ネクスコ・エンジニアリング新潟松木執行役員，BSN アイネット落合執行役員，チアリー福原本部長，富士フィルム神丸様，アイビーシステム若桑会長，博進堂清水専務，新開トランスポート様，MGNET 武田社長
→ BSN アイネット，MGNET を候補として，今年のパネルディスカッションの討論ポイントを 1 週間以内に提案し議論したい
 - ・ 動画配信は準備が進んでいる
 - ・ 基調報告資料，パネルディスカッションの Web 掲載については今年度も実施
 - ・ メタバース展示については今年度は未実施（メタバース空間に説明者がいないと効果が小さいが当日説明者をおけないため）
 - ・ 昨年ポスターセッションで学生が何をすればいいのか理解できていなかった。また時間が短く他の実習先ポスターを網羅できなかったため，やり方について検討が必要

第 10 回 2023 年 1 月 13 日 (金) 11:00~12:00

1) ○臨地実務実習シンポジウム準備の確認

- ・分担：全体統括 磯西委員長
副統括 鈴木副委員長, 堀川副委員長
事務局責任者 淡路学務・社会連携推進課課長
- (ア) 司会：鈴木副委員長
- (イ) 学長挨拶：北畑学長
→学長出席が 15 時までのため、学長登壇は開会の挨拶に変更できないか打診
- (ウ) 基調報告：(リーダー・発表) 磯西委員長
→アンケート集計・分析・まとめ：Ⅰ堀川副委員長, Ⅱ鈴木副委員長
- (エ) パネルディスカッション：(リーダー・司会) 上野委員
→各学年取りまとめ：堀川副委員長, 鈴木副委員長
・テーマ決定, メンバー選出 (企業, 学生, 教員)
・テーマ案の投稿について：チャットで議論
・上野委員を中心に早急に進め, 1 月教授会で委員会としての候補を提示できるよう準備
- (オ) ポスターセッション：(リーダー) 西川昌宏委員, PANN 委員
・ポスターのリスト作成・掲示等含む
・ポスターセッションのデモの要望聴取と準備
→優秀ポスターを選出するかどうか, 選出するとしたら教員と企業からの投票は等検討
- (カ) 企業の講評：(リーダー) 柄沢委員
・依頼内容検討
- (キ) 総括講評：三上学部長
→磯西委員長から三上学部長へ依頼
- (ク) 学生への周知
→シンポジウムの公式開始時間は 13 時. 午前中もポスター閲覧可ということで学生へ周知
- (ケ) その他準備
 - ・事務局
当日シンポジウムアンケート (学生, 企業)
参加者 (企業, 来賓) 確認・連絡
当日のオンライン配信, 基調報告・パネルディスカッション・ポスターの PDF 配信
ポスター等の運搬
 - ・担当教員
実習先企業への出席確認 (案内発送済み)
担当教員には以下 2 点改めて依頼
→出席される企業がある場合は事務局に連絡
→意見交換のための会食打診
翌日の合同企業説明会に出席する企業については宿泊交通費は大学負担

第 11 回 2023 年 2 月 1 日 (水) 13:30~14:30

1) ○今後のスケジュール確認

- ・臨地実務実習Ⅰ (2 年生) のまとめ
ポスター：公開はシンポジウム当日 (2/16) から. 各企業からの公開承認は 2/10 (金) までに取得
- ・臨地実務実習Ⅱ (3 年生) のまとめ
ポスター：1 次締切 2/3 (金)
→最終締切 2/10 (金) ※企業から公開承認とる

学生向けアンケート締切 2/3 (金)

企業向けアンケート締切 2/3 (金) ※ 2/3 までに未提出企業がある場合は担当教員に督促依頼 (鈴木副委員長)

- ・ 3 年生成績共有会議 : 2/21 (火) 2 限 (10 : 50-12 : 20) @フューチャーセンター
※上記会議に向けた成績提出締切 2/17 (金) 淡路課長まで
- ・ 成績登録締切 : 2/28

2) ○ 2022 年度臨地実務実習シンポジウム確認

プログラム案 2023/2/16 (木) 10 : 30-18 : 00 @新潟県民会館 大ホール
<学生のみ>

10 : 30-10 : 45 ポスターセッションの学生向け指導 (2・3 年生)
西川委員, PANN 委員

10 : 45-12 : 00 ポスターセッション (1~3 年生)
2 年生 27 社 57 名, 3 年生 26 社 66 名 (ポスター53 × 2 枚)

<以降, 企業も参加>

13 : 00- 総合司会 鈴木副委員長

13 : 00-13 : 05 開会のあいさつ 三上学部長

13 : 05-13 : 50 基調報告「臨地実務実習の意義と狙い」 磯西委員長

13 : 50-14 : 00 学長挨拶 北畑学長

14 : 10-15 : 40 パネルディスカッション「臨地実務実習の意義と課題」

コーディネーター 上野委員

教員パネリスト 堀川副委員長

企業パネリスト インフォコーパス 紫尾社長

BSN アイネット 落合執行役員

学生パネリスト 2 年生 熊倉一哉 (インテック)

田邊千夏 (BSN アイネット)

3 年生 渡邊響 (シスココンサルティング)

高橋朋宏 (東日本 NS ソリューションズ)

15 : 50-17 : 00 ポスターセッション ※ギャラリーA・B

17 : 10-17 : 40 企業講評

エクスウェア 滝本社長

MGNET 武田社長

もう 1 名の枠あり※柄沢委員選出予定

17 : 40-17 : 50 総括講評 三上学部長

- ・ YouTube 配信あり (淡路課長)
- ・ 基調報告／パネルディスカッション資料／ポスターは全て企業の許可をとり PDF で公開する (鈴木副委員長)
- ・ メディアへの広報 (淡路課長)
- ・ 参加者企業リスト作成・管理・渉外 (淡路課長)
- ・ 当日アンケート (事務局 鈴木・金子)

3) その他確認

- ・ WACE 論文投稿 (PANN 委員)

カナダで実施予定

※学生の成績や実習評価表の結果に学会発表に用いる際には倫理委員会で承認を得る必要がある

- ・ シンポジウムに関する連絡事項 (事務局)

- (ア) 業者との最終打合せ予定日：2/8（水）14：00-15：00
※委員で都合がつく方は参加
- (イ) 業者には1月教授会資料のプログラム案伝達済み
- (ウ) 会場レイアウト等、昨年を踏襲するよう依頼済み
- (エ) 発表データは教員＋ゲスト側PC1台にまとめる。学生側手元端末から表示
※PC操作は吉田先生に依頼
- (オ) シンポジウム登壇者の氏名、肩書、業者への提供：2/8（水）
- (カ) 配信URLはシンポジウム案内送付先企業（2021年のみの実習企業除く）に送付

第12回 2023年3月1日（水）13：30～14：30

- 1) 2022年度臨地実務実習シンポジウム報告
 - ・参加者数：1年生43名、2年生56名、3年生63名
→1年生不参加者リスト作成、担当教員から学生へ指導
 - ・学生アンケート、企業アンケートについては添付資料に基づき報告
→未回答企業へ再度対応依頼
- 2) 2023年度協力企業の見積もりについて確認
 - ・次年度受入れ学生数（見込み）：臨地実務実習Ⅰ57名、臨地実務実習Ⅱ72名
→今後、不足分を正値に見積もっていく必要あり
- 3) ○2023年度の実行体制検討と今後の進め方の確認
 - ・学年担当制から機能分担制へ変更
 - (ア) 企業開拓・教員配属チーム：磯西委員長、西川委員
 - (イ) 学生配属・オリエンテーションチーム：堀川副委員長、上野委員、PANN委員
 - (ウ) 学内外発表・評価チーム（※シンポジウム含む）：堀川副委員長、鈴木副委員長、PANN委員、柄沢委員
 - ※その他適宜分担・支援
→3/22教授会でアナウンスするため、3/17までに決定
- 4) WACE2023投稿と学会（カナダ）への参加について確認
 - ・採択された場合はPANN委員が現地参加予定
- 5) その他確認
 - ・臨地実務実習シンポジウム報告書（博進堂に発注）
→事務局対応
 - ・カリキュラム改定に関わる事項
臨地実務実習Ⅰ、Ⅱの単位を細分化すべきか、配当時期を変更するか今後検討
※新しい科目追加、配当時期を変更する場合は7月頃までに決定する必要あり
 - ・学内ポスター掲示計画（ポスターセッション）
枚数が多いため1年（3月～翌2月）を7回に分けて全ポスターを1Fフロアに掲示
 - ・2022年度協定書締結企業で2023年度継続する場合は協定書再締結必要なし
→第15条 有効期間を以下のように変更したため
「有効期間満了の1ヶ月前までに、甲乙いずれからも書面による申し出がない場合は、この協定を同一条件で更新することができるものとする。」

④特記事項

- 1) 臨地実務実習委員会主催／関連イベント
 - (ア) 事前準備講座
 - ・ビジネスマナー講座：2022年5月11日～7月20日（全10回）

※最終テスト（ロールプレイング）：直前オリテ 9 月 15 日（木）13：00～15：00 実施

第 1 回 5/11（水）挨拶，態度，自己紹介

第 2 回 5/18（水）言葉遣い（敬語）

第 3 回 5/25（水）

第 4 回 6/1（水）身だしなみ

第 5 回 6/15（水）職場の基本マナー

第 6 回 6/22（水）電話応対・訪問のマナー

第 7 回 6/29（水）ビジネス文書・オンライン会議

第 8 回 7/6（水）実習後のマナー（お礼状）

第 9 回 7/13（水）

第 10 回 7/20（水）総まとめ

(イ) 臨地実務実習Ⅰ学生オリエンテーション ※臨地実務実習Ⅰ履修対象者

2022 年 5 月 28 日（土）10：00～12：30 米山キャンパス 1F ロビー

- ・臨地実務実習の進め方（実習の目的，概要，実習の流れ，履修上の留意点）
- ・実習企業紹介と実習概要の説明（1 社 3 分）：実習担当教員→ 27 社
- ・実習開始までのスケジュール説明
- ・実習希望先調査について

(ウ) 臨地実務実習Ⅱ学生オリエンテーション ※臨地実務実習Ⅱ履修対象者

2022 年 6 月 1 日（水）13：30～16：30 米山キャンパス 1F ロビー

- ・臨地実務実習の進め方（実習の目的，概要，実習の流れ，履修上の留意点）
- ・実習企業紹介と実習概要の説明（1 社 3 分）：実習担当教員→ 26 社
- ・実習開始までのスケジュール説明
- ・実習希望先調査について

(エ) 臨地実務実習Ⅰ学生直前オリエンテーション ※臨地実務実習Ⅰ履修対象者

2022 年 9 月 15 日（木）10：00～15：00 米山キャンパス 1F ロビー

- ・科目のねらい
- ・実習にあたっての注意・確認事項（機密情報取扱い，情報セキュリティ，新型コロナウイルス等感染予防等）
- ・日報の書き方，日報テスト入力
- ・今後の予定
- ・ビジネスマナー講座最終テスト（ロールプレイング）

(オ) 臨地実務実習Ⅱ学生直前オリエンテーション ※臨地実務実習Ⅱ履修対象者

2022 年 9 月 16 日（金）9：30～12：40 米山キャンパス 1F ロビー

- ・科目のねらい
- ・実習にあたっての注意・確認事項（機密情報取扱い，情報セキュリティ，新型コロナウイルス等感染予防等）
- ・今後の予定
- ・ビジネスマナー講座（まとめ）
- ・キャリアセンターから連絡（実習中の就活について等）

(カ) 臨地実務実習Ⅰ（150 時間）

期間：2022 年 9 月 22 日（木）～11 月 18 日（金）

・実習先企業：27 社

株式会社ジェイ・エス・エス，株式会社幻の酒，Adam Innovations 株式会社，富士フィルム
ビジネスイノベーションジャパン株式会社，リコージャパン株式会社新潟支社，株式会社新開
トランスポートシステムズ，株式会社シアンス，株式会社 BSN アイネット，モリパワー株式

会社, 株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟, 株式会社スピードパーク新潟, 株式会社グラフ, シスココンサルティング株式会社, 株式会社新潟人工知能研究所, 佐渡市, 新潟市総務部 ICT 政策課, 株式会社チアリー, 株式会社ベーシック, 株式会社インテック, 株式会社博進堂, 株式会社ミロク情報サービス, 株式会社 Dream Advance, ソリマチ株式会社, 株式会社データ・エージェンシー, 株式会社 LEApass, エルスピーナビエインズ株式会社, 株式会社インフォコーパス

・参加学生数：57 名

(キ) 臨地実務実習Ⅱ (450 時間)

期間：2022 年 9 月 22 日 (木) ～2023 年 1 月 31 日 (火)

・実習先企業：26 社

フラー株式会社, シスココンサルティング株式会社, 株式会社ジェイ・エス・エス, 中部テレコミュニケーション株式会社, 株式会社ドッツ, 東日本 NS ソリューションズ株式会社, 株式会社情報技術センター, 新潟大学医歯学総合病院, Socialups 株式会社, 株式会社ウィルファインド, 株式会社プロッセル, 株式会社ガゾウ, 株式会社チアリー, ドクターメイト株式会社, NEC (日本電気株式会社), 株式会社 MGNET, エクスウェア株式会社, 株式会社 BSN アイネット, NTT テクノクロス株式会社, モリパワー株式会社, 株式会社アイビーシステム, 株式会社スピードパーク新潟, 株式会社ベジ・アピオ, 株式会社グラフ, 株式会社トラス・テック, 株式会社新潟人工知能研究所

・参加学生数 66 名

(ク) 2 年生 (臨地実務実習Ⅰ) 成績共有会議

2022 年 12 月 9 日 (金) 10:50～12:20 開志未来創造研究センター

(ケ) 臨地実務実習シンポジウム

2023 年 2 月 16 日 (木) 13:00～18:00 新潟県民会館大ホール ※ギャラリー A・B

・開会の挨拶 開志専門職大学 副学長 事業創造学部 櫻井 茂樹教授

・基調報告 情報学部臨地実務実習委員長 磯西 徹明教授

・パネルディスカッション

司会 情報学部 上野 衆太 教授

学生 情報学部 2 年 熊倉 一哉, 田邊 千夏

情報学部 3 年 渡邊 響, 高橋 朋宏

教員 情報学部 堀川 桂太郎教授

招待パネリスト 株式会社インフォコーパス 代表取締役社長 紫尾 淳一

株式会社 BSN アイネット 執行役員技術開発部長 落合 里美

・ポスターセッション ※ギャラリー A・B

実習先企業 45 社個々にポスターを作成して学生が発表

・企業様からの講評

エクスウェア株式会社 代表取締役社長 滝本 賀年様, 株式会社 MGNET 代表取締役社長

武田 修美様, シスココンサルティング株式会社 代表取締役社長 大井 広行様

・実習総括 情報学部長 三上 喜貴教授

(コ) 3 年生 (臨地実務実習Ⅱ) 成績共有会議

2023 年 2 月 21 日 (火) 10:50～12:20 開志未来創造研究センター

2) 臨地実務実習に関する広報

大学ウェブサイト

・2022/9/7 <情報学部>情報学部「臨地実務実習」の成果が国際会議にて発表されました【第 4 回 WACE 国際会議】

- <https://kaishi-pu.ac.jp/topics/0831-0902wace/>
- ・2022/10/27 <開志のまなび>情報学部 2022 年度 臨地実務実習レポート
株式会社新開トランスポートシステムズ編－「電子かんばん装置」の設計と制作－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report1/
 - ・2022/11/3 <開志のまなび>情報学部 2022 年度 臨地実務実習レポート
株式会社ジェイ・エス・エス編－アプリの企画・開発・設計－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report2/
 - ・2022/12/2 <開志のまなび>情報学部 2022 年度 臨地実務実習レポート
NTT テクノクロス株式会社編－AI ソフトウェア「AI 発芽検査 ㊿」の開発－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report3/
 - ・2022/11/29 <開志のまなび>情報学部 2022 年度 臨地実務実習レポート
株式会社新開トランスポートシステムズ編－実習終了 最終報告会－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report4/
 - ・2022/12/28 <開志のまなび>情報学部 2022 年度臨地実務実習レポート
株式会社ジェイ・エス・エス編－会社説明会の運営業務－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report6/
 - ・2023/1/13 <開志のまなび>情報学部 2022 年度臨地実務実習レポート
NTT テクノクロス株式会社編－電力の可視化・予測のソフトウェア開発－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report7/
 - ・2023/2/7 <開志のまなび>情報学部 2022 年度臨地実務実習レポート
NTT テクノクロス株式会社編－実習終了 最終報告会－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report8/
 - ・2023/2/13 <開志のまなび>情報学部 2022 年度臨地実務実習レポート
株式会社ジェイ・エス・エス編－実習終了 最終報告会－
https://kaishi-pu.ac.jp/topics/joho_2022report9/
 - ・2023/3/16 <開志のまなび> 2022 年度情報学部「臨地実務実習シンポジウム」レポート
<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/230216symposium/>

アニメ・マンガ学部臨地実務実習委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

KENTOO（アニメ・マンガ学部，委員長 ～2022 年 12 月）

日高トモキチ（アニメ・マンガ学部，副委員長 ～2022 年 12 月，委員長 2023 年 1 月～）

西村 潤子（アニメ・マンガ学部，副委員長 2023 年 1 月～）

森岡 淳（アニメ・マンガ学部，委員）

三上 真紀（事務局）

大滝 智菜（事務局）

西條 海人（事務局）

②会議開催回数 12 回

③審議事項および決定事項等

第 1 回 2022 年 4 月 13 日（水）9：30～10：30

1）臨地実務実習受入れ先について

- ・2022 年度以降実施予定の各臨地実務実習の受入れ先について，進捗状況を確認
- ・実習先候補を科目別にリスト作成，共有することが決定

- ・各コースの学生が印刷・広告実習Ⅰにおいて実施可能なスキルについて、第2回臨地実務実習委員会までに各委員がリスト化し、開拓企業を検討、当該企業への提案にも同リストを活用する

第2回 2022年5月11日(水) 9:30~10:30

陪席者：雑賀 忠宏講師

- 1) 文化啓発施設運営実務Ⅰ 現状報告
 - ・4月15日実習開始、5月11日時点で欠席者1名
 - ・4月29日、新潟市マンガ・アニメ情報館・新潟市マンガの家の実習が休校(学生のコロナウイルス感染疑いの為)、補講実施日を調整中
 - ・りゅーとびあのみ、先方都合により4月29日予定であった実習を5月6日に実施
- 2) 印刷・広告実習Ⅰ 実習内容(各コース)
 - ・各コースの学生が作成可能な制作物、使用可能なツールを確認
 - ・各コースの学生が可能な項目について、日高副委員長・西村委員は文書化し、KENTOO委員長に送信、一元化後、KENTOO委員長より各委員へ文書で共有することが決定
- 3) 印刷・広告実習Ⅰ 受入れ先企業開拓
 - ・印刷・広告実習の担当教員である青木健一先生も企業開拓する
 - ・各委員、青木先生、社会連携推進課職員が企業訪問する
 - ・各委員スケジュールの調整は委員会 teams 上のファイルで一覧化する
- 4) 実習までのスケジュールリング(オリエンテーション含む)
 - ・2022年度内に企業開拓を実施、2023年度4~6月には実習先を決定
 - ・2023年6月~7月にオリエンテーションを実施

第3回 2022年6月8日(水) 9:30~10:30

- 1) 受入先企業開拓 企業担当教員について
 - ・2年次後期以降の臨地実務実習における実習先確保の為、各候補企業の営業担当教員が発表され、当該担当教員が候補企業開拓を進めることが決定
- 2) 臨地実務実習運営スケジュール
 - ・2022年度デジタルペイント実務Ⅰ、文化啓発施設運営実務Ⅱの学生向け直前オリエンテーションを7月26日(火)に実施、企業確保等の準備を進める

第4回 2022年7月13日(水) 9:30~10:30

- 1) りゅーとびあホールスポンサーについて
 - ・りゅーとびあホールスポンサーになることが決定
 - ・文化啓発施設運営実務Ⅰ・文化啓発施設運営実務Ⅱのいずれも受け入れて頂けるよう、交渉を進める
- 2) 文化啓発施設運営実務Ⅱ進捗報告
 - ・対象38名の受入れ施設について、充足されている状況
 - ・時間割の都合上、コースにより実習施設数が異なる
 - ・キャラクターデザインコース：5施設、アニメ・マンガコース：3施設
 - ・7月18日週より、学生への希望調査を実施予定
- 3) デジタルペイント実務Ⅰ進捗報告
 - (ア) 株式会社ファンタジスタ
 - ・指導担当者が決定、ソフトウェアは指導担当者が使い慣れている「3dsMax」を使用する
 - (イ) 株式会社新潟アニメーション
 - ・7月12日訪問、実習の日程などの概要、日誌の書き方、出席登録などを確認した

4) その他の報告事項

- ・デジタルペイント実務Ⅰの学生実習先希望調査を7月7日(木)より実施
- ・文化啓発施設運営実務Ⅱ・デジタルペイント実務Ⅰの学生オリエンテーションを7月26日(火)に実施, 当該科目担当教員・臨地実務実習委員が参加・運営することが決定

第5回 2022年8月10日(水) 9:30~10:30

1) デジタルペイント実務Ⅰ進捗報告

(ア) 株式会社ファンタジスタ

- ・2022年8月22日~8月31日実施, 3dsMAXを使用
- ・科目全体での報告会は実施しないことが決定

(イ) 株式会社新潟アニメーション

- ・8月10日, 新潟アニメーション指導担当者が実習場所の下見を行う

(ウ) イラスト実務実習進捗報告

- ・打ち合わせ後, カリキュラムの提案内容を送信したが返信が無い状態, 11月ごろより次年度の教室手配が始まる為, 夏季休業期間に入る前に再度お伺いする

第6回 2022年9月14日(水) 9:30~10:30

1) デジタルペイント実務Ⅰについて

(ア) 株式会社ファンタジスタ

- ・非常に丁寧な指導, 作業工程を学ぶ実習であるため, 学生一人一人の様子を確認しながら進める必要があり, 一人で指導頂くのは負担が大きかった
- ・学生の感想は, 全体的に前向きなものであった

(イ) 株式会社新潟アニメーション

- ・当日無断欠席をした学生がおり, 次年度に向けての課題となった
- ・音楽を聴いたり, スマートフォンを操作したりしながら実習を受ける学生がいた
- ・退勤時の挨拶をしない学生がいた為, ビジネスマナー講習にさらに時間をかけるべきである

2) アニメ・マンガ学部臨地実務実習 現状の課題について

(ア) 欠席・公欠の取扱い

- ・統一ルールは作らず, 担当教員より受入企業に相談し, 企業に決定頂く
- ・目安として, 大学での単位認定は2/3以上の出席が必要としていることを企業に伝える

(イ) 配属先決定・学生への通知方法

- ・デジタルペイント実務Ⅰは学生の希望が3DCGに偏った為, 希望通りにならない学生がいた
- ・文化啓発施設運営実務Ⅰ・Ⅱは, 配属先の希望を取った上で, 希望通りにならない可能性があること, GPA順で希望を通していくことを予め伝えることとした

第7回 2022年10月7日(金) 10:00~11:00

1) 臨地実務実習 科目チームについて

- ・シラバス上の担当教員・臨地委員以外の教員割振りを決定

2) 臨地実務実習 各科目チームの企業開拓スケジュール

- ・2023年度実習実施科目は実習先開拓完了が2022年12月末までを目標と決定
- ・上記以外の詳細なスケジュールに関しては各科目チームに委ね, 各科目チームは各臨地実務委員担当へ報告することが決定

3) 臨地実務実習 科目チーム 管理・運営体制

- ・各科目チームに臨地実務実習委員を配置することが決定
- ・科目チーム, 臨地実務実習委員, 臨地実務実習委員会の報告経路を作り, 以下の通り実施するこ

ととした

(ア) 科目チーム

- ・科目担当教員とサポートメンバーで実習先開拓～実習開始までを進める
- ・実際の実習は科目担当教員で実施
- ・各科目チーム担当の臨地実務実習委員へ進捗報告・相談を行う
- ・科目チーム担当の臨地実務実習委員から臨地実務実習委員会の方針を受け、活動を行う

(イ) 臨地実務実習委員

- ・担当科目チームの進捗管理を行う
- ・臨地実務実習委員会にて、担当科目チームの進捗・相談事項の報告を行う
- ・臨地実務実習委員会にて決定された方針を担当科目チームへ伝達する

第 8 回臨地実務実習委員会 2022 年 11 月 9 日（水）9：30～10：30

1) 臨地実務実習 科目チーム 進捗報告

- ・臨地実務実習の実習先開拓について、各臨地実務実習科目チームの進捗報告がなされた

(ア) 文化啓発施設運営実務Ⅰ・Ⅱ

- ・新規開拓先：新潟市美術館，新潟県立万代島美術館，北方文化博物館，新潟市新津美術館，新潟市水族館マリニピア日本海

(イ) イラスト実務実習

- ・11 月 14 日（月），新潟まんが事業協同組合事務局長の田中栄二様とカリキュラム内容について打合せ予定

(ウ) デジタルペイント実務

- ・新潟アニメーションより受入承諾を得た

(エ) アニメ制作実務

- ・アンサースタジオ（3DCG 部門），サンライズ（制作進行），Wish（仕上げ）が承諾済み

(オ) キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ・Ⅱ

- ・企業にインターンシップの代用として臨地実務実習を依頼出来ないか検討中

第 9 回 2022 年 12 月 14 日（水）9：30～10：30

1) 臨地実務実習 科目チーム 進捗報告

- ・各科目チームより進捗報告がなされた

2) 文化啓発施設運営実務Ⅰ 配属先決定方法

- ・2022 年度第 6 回アニメ・マンガ学部臨地実務実習委員会では、学生に事前に伝えた上で、学生に希望を取り、GPA 順に希望を通すとの方針であったが、施設ごとに実習内容が大きく異なる為、学生の希望だけではなく、適性に合わせて配属先を決定する必要がある
- ・「教員の主観が配属先決定に関わっている」と学生が感じることは、学生の不満につながり好ましくない。あくまで教員の感情に寄らず、機械的に振り分けたことが明確に学生に伝わる必要がある

第 10 回 2023 年 1 月 13 日（金）11：00～12：00

陪席者：青木 健一助教

1) 株式会社博進堂 訪問報告

- ・印刷・広告実習Ⅱにて、2024 年 1 月 29 日（月）～3 月 15 日（金）の約 40 日間に渡り、博進堂さまに実習受入を依頼
- ・上記 40 日間を 5 期に分け、各 4～6 名の学生を派遣
- ・ゲーム制作実習、キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ、アニメ制作実務Ⅰと実習期間が重なる

可能性があるため、学生派遣スケジュールに留意する

2) 臨地実務実習 科目チーム 進捗報告

第 11 回 2023 年 2 月 8 日 (水) 9:30~10:30

- 1) 臨地実務実習 科目チーム 進捗報告
- 2) 臨地実務実習科目 学生履修計画について
- 3) 2023 年度 在学生・新入生オリエンテーションについて
- 4) 臨地実務実習 成果報告会について

第 12 回 2023 年 3 月 8 日 (水) 9:30~10:30

- 1) 臨地実務実習 科目チーム 進捗報告
 - (ア) 文化啓発施設運営実務 I・II
 - ・対象学生の実習先は全員分確保済み、各施設と協定書取り交わし・内容調整を進める
 - (イ) デジタルペイント実務 I・II, アニメ制作実務 I・II
 - ・前回委員会より現状維持
 - (ウ) 印刷・広告実習 I・II
 - ・株式会社世阿弥 Entertainment は、オンラインであれば最大 30 人まで受入可能、10 名までであれば臨地実習も可能
 - ・他の実習先の確保状況により、内容・人数調整する旨を先方に伝えている
 - ・入試広報委員会・入試広報課と連携し、オープンキャンパスで配布するグッズ制作が出来ないか検討中
 - (エ) キャラクターイラスト・マンガ実務 I・II
 - ・株式会社アクアスターは 3 名確保済み
- 2) 臨地実務実習科目 学生履修計画
 - (ア) 2023 年度 在学生・新入生オリエンテーション
 - ・企業就職を目指す学生が多いアニメ・キャラクターデザインコースについては、学生・新人が即戦力で作画やキャラクターデザインに就けることはほぼ無いという現実、臨地実務実習・専門職就職の厳しさを伝える
 - ・履修計画については、コース毎に説明をする
 - ・2 単位科目は対象学生全員が履修できるように実習先を確保する
 - (イ) 臨地実務実習 成果報告会
 - ・報告会ではなく卒業展示とあわせての実施、オープンキャンパスとあわせての実施を職場会・教授会で提案する

④特記事項

- 1) 以下、3 つの臨地実務実習が実施された
 - (ア) 文化啓発施設運営実務 I
期間：2022 年 4 月 15 日 (金) ~8 月 5 日 (土)
 - (イ) デジタルペイント実務 I
期間：2022 年 8 月 22 日 (月) ~9 月 12 日 (月)
 - (ウ) 文化啓発施設運営実務 II
期間：2022 年 9 月 22 日 (木) ~2023 年 1 月 27 日 (金)

(12) 倫理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

三上 喜貴（情報学部，委員長）
西村 伸也（事業創造学部，副委員長）
宮元万菜美（情報学部，委員）
星 和樹（事業創造学部，委員）
横山 昌吾（アニメ・マンガ学部，委員）
木村 智哉（アニメ・マンガ学部，委員）
高山 裕司（新潟総合学院顧問，委員）
高野 真司（総務部長，事務局）
草間 裕（研究推進・IR 課長，事務局）

②会議開催回数 なし

③審議事項および決定事項等 なし

④特記事項

研究完了報告書：1 件

1) 申請者名：近藤 正幸（事業創造学部）

課題名：起業教育の効果に関する研究－臨地実務実習の事例

承認番号：005-21101201

事由：研究責任者（島田 健太郎）退職の為

(13) 危機管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

北畑 隆生（学長，委員長）
櫻井 繁樹（副学長・学長代行，委員）
三上 喜貴（副学長・情報学部長，委員）
徳田 賢二（事業創造学部長，委員）
神村 幸子（アニメ・マンガ学部長，委員）
上野 衆太（学生委員長，委員）
田代 秀一（教務委員長，委員）
権瓶 拓也（事務局長，委員）
江口 五郎（学務部長，委員）
高野 真司（総務部長，委員）
濱田 昌宏（入試広報課長，委員）

②会議開催回数 10 回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された（2022 年 4 月 20 日）
- 2) 新型コロナウイルス発生時の対応フロー図および個別マニュアルの更新について決定された（2022 年 4 月 20 日）
- 3) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された（2022 年 6 月 8 日）
- 4) 対面授業により入構する学生への新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について決定された

- (2022年6月8日)
- 5) 夏季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された(2022年7月20日)
 - 6) 濃厚接触者の待機期間の見直し及び抗原検査キットの配布ルールについて決定された(2022年8月2日)
 - 7) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された(2022年8月31日)
 - 8) 大学祭での新型コロナウイルス感染症対策について決定された(2022年8月31日)
 - 9) 自然災害等発生時における休講措置に関するガイドラインが決定された(2022年8月31日)
 - 10) 自然災害等危機管理マニュアルについて決定された(2022年8月31日)
 - 11) 感染者の自宅療養期間の短縮及び抗原検査キットの配布ルールについて決定された(2022年9月16日)
 - 12) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された(2022年11月15日)
 - 13) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された(2023年1月31日)
 - 14) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された(2023年3月13日)

④特記事項

なし

(14) ビジネスプランコンテスト実行委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

西川 浩平(情報学部, 委員長)
成田 兵衛(アニメ・マンガ学部, 副委員長)
渡辺 康英(事業創造学部, 委員)
明珍 儀隆(事業創造学部, 委員)
大和田 翔(情報学部, 委員)
青木 健一(アニメ・マンガ学部, 委員)
江口 五郎(大学事務局, 委員)
濱田 昌宏(大学事務局, 委員)
遠田 孝之(大学事務局)
水澤 駿介(大学事務局)

②「開志ビジネスプランコンテスト 2022」イベント当日概要

2022年6月25日(土) 13:30~16:30

紫竹山キャンパス S406 を中心に, 4F を全面的に用いて実施. 参集者, 約 120 名.

[参集者 内訳]

審査員: 6 名

北畑隆生様(開志専門職大学 学長 審査員長)
権瓶拓也様(開志専門職大学 事務局長)
野見山智様(日本政策金融公庫 支店長)
佐藤光歳様(事業創造キャピタル 代表取締役)
渋谷修太先生(フラー株式会社 代表取締役会長, 開志専門職大学 情報学部講師)
土田裕之様(公益財団法人にいがた産業創造機構 産業創造グループ ディレクター)

企業審査員: 16 社 20 名

見学企業: 4 社 6 名

新聞・報道: 1 社

学生：約 40 名
教職員：約 40 名

[開志ビジネスプランコンテスト応募対象]

2022 年度は 2 部門に分け、募集対象者を下記の通り設定した。

募集期間：2022 年 2 月 25 日（金）～5 月 20 日（金）

【高校生部門】部門

- ・現在高校に在学中であること
- ・一次審査を通過した場合、本選会場に来校、来校が困難な場合は、インターネット経由でスマートフォンなどから本選に参加できること。

【大学生】部門

- ・チームエントリー（応募）の場合、チーム内に開志専門職大学の学生が 1 人以上いること、かつ代表者が開志専門職大学の学生であること。
- ・個人エントリー（応募）の場合、開志専門職大学の学生であること。

[開志ビジネスプランコンテスト受賞者]

応募ビジネスプラン数：【高校生】部門 13 件、【大学生】部門 25 件

グランプリ：

高校生部門 日谷百花（代表）、奥村瑠里、若山海希（京都先端科学大学附属高等学校）

大学生部門 岡本隆也（代表）（情報）、伊藤真人（情報）、川俣涼（情報）、阿部義斗（情報）

会長賞：

高校生部門 播磨柚葉（トキワ松学園高等学校）

大学生部門 中嶋遼大（代表）（事創）、稲垣諒（情報）

理事長賞：

高校生部門 高橋美月（東京学芸大学附属国際中等教育学校）

大学生部門 羽田郁矢（代表）（情報）、上田和史（情報）、大上真弘（情報）

聴衆賞：羽田郁矢（代表）（情報）、上田和史（情報）、大上真弘（情報）

開志特別賞：岡野一真（事創）

企画書優良賞：

高校生部門 小山裕人（新潟県立長岡商業高等学校）

大学生部門 福田修牙（事創）

構想「大」賞：

高校生部門 弘本桃子（上智福岡高等学校）

大学生部門 仁保希隆（事創）

③特記事項

（ア）2023 年の実行委員長はアニメ・マンガ学部、2024 年の実行委員長は事業創造学部とし、以降持ち回りで実施していく。

(15) 学外評価委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

【学外評価委員会】

鈴木 寛（東京大学公共政策大学院教授、委員長）

鈴木 滋彦（静岡県立農林環境専門職大学及び同大学短期大学部学長、副委員長）

後藤 治（学校法人工学院大学理事長、委員）

仙石 正和（事業創造大学院大学名誉学長・名誉教授，新潟大学名誉教授，委員）
細田 泰（学校法人成城学園理事，委員）
守屋 秀之（専門学校桑沢デザイン研究所教務学生課長，委員）
吉田 至夫（株式会社新潟クボタ代表取締役社長，委員）

【大学】

北畑 隆生（学長）
櫻井 繁樹（副学長，学長代行）
三上 喜貴（副学長，情報学部長）
徳田 賢二（事業創造学部長，内部質保証担当学長特命補佐）
神村 幸子（アニメ・マンガ学部長）
後藤 幸功（情報学部，自己点検・評価委員長）
田代 秀一（情報学部，教務委員長）
高山 裕司（学校法人新潟総合学院顧問）
権瓶 拓也（事務局長）
矢田 広視（法人企画部長）
江口 五郎（学務部長）
高野 真司（総務部長）
草間 裕（研究推進・IR 課長）
齋藤あゆみ（研究推進・IR 課員）

②会議開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

第1回 2022年12月11日（日）13時30分～15時30分

- 1) 学外評価委員会の概要，活動スケジュール及び実地調査について説明した。
- 2) 大学側より2021年度自己点検・評価報告書の概要について説明した後，委員各位から意見等が述べられた。

第2回 2023年2月24日（金）10時30分～11時30分

- 1) 「2021年度 開志専門職大学 自己点検・評価に関する外部評価報告書（案）」が審議され，全員一致で承認された。

④特記事項

- ・「2021年度 開志専門職大学 自己点検・評価に関する外部評価報告書」を受領し大学ホームページにて公開した。

4) 各種センター・LAB活動

(1) キャリアセンター

①構成員名簿（敬称略，所属，役職）

センター長：平川 秀樹（情報学部，教授）
副センター長：江口 五郎（学務部，部長）

[紫竹山キャンパス：事業創造学部]

土岐智賀子（事業創造学部，講師）
遠田 孝之（社会連携推進課，課長）

谷内田真理（社会連携推進課）

小林真由美（社会連携推進課）

[米山キャンパス：情報学部]

平川 秀樹（情報学部，教授）

淡路 雅博（社会連携推進課，課長）

鈴木 菜々（社会連携推進課）

[古町ルフルキャンパス：アニメ・マンガ学部]

belne（アニメ・マンガ学部，教授）

三上 真紀（社会連携推進課，課長）

西條 海人（社会連携推進課）

②活動状況報告

[キャリアセンター全体]

3 学部におけるキャリアセンター活動の状況を共有し，他学部の活動から参考にする情報を得るために，

3 学部合同の会議を開催。

日時：2023 年 1 月 16 日（月）13：30～

会場：紫竹山キャンパス 7 階会議室

参加者：平川センター長，江口副センター長，belne センター員，土岐センター員，遠田社会連携推進課長，淡路社会連携推進課長，三上社会連携推進課長，鈴木社会連携推進課員，西條社会連携推進課員，谷内田社会連携推進課員

議題：

1 期生の 2024 年 3 月卒業を前に，以下を大学方針として各学部別の取組みの共有。

①大学として就職希望者全員が就職先を確保できるという実績及び体制の構築

②対外アピールにつながる就職先の確保と実績

③学部横断の情報共有や連携による相乗効果

[紫竹山キャンパス 事業創造学部]

(1) 学内で行われる学生のキャリア教育の支援

■「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を必修科目とし，1～3 年次に配置。

■以下の全員対象面談で進路希望の確認，希望に向けて取り組むべきことの確認を行った。

【2024 卒（3 年生）対象】

2022 年 5 月 9 日～6 月 6 日 第 2 回キャリア面談（対象 57 名）

2022 年 10 月 3 日～10 月 31 日 第 3 回キャリア面談（対象 51 名）

2023 年 1 月 26 日～2 月 10 日 第 4 回キャリア面談（対象 47 名）

【2025 年卒（2 年生）対象】

2022 年 11 月 1 日～11 月 30 日 第 1 回キャリア面談（対象 49 名）

■ 2025 年卒対象にリテラシー，コンピテンシー2 つの観点から測定し，自身の現状を客観的に把握することができるテスト「PROG」の開設会を 2022 年 5 月 9 日に実施。

(2) 学生の就職活動，起業活動，作家活動開始，進学のための活動支援

■学生個々人の活動に合わせ，個別面談，書類添削，面接練習を行った。

■センター職員が把握した学生の進捗状況を教員と共有できるよう，事業創造学部 専任教員の意見交換会，教授会に向けた共有を行った。志望業界等によって教員による個別指導や面接対策なども行われた。

(3) 学生のキャリア形成のための各種講座の実施

日時	講座名	講師
2022年5月13日(金)	自己分析/自己PR作成講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年5月16日(月)	自己分析/業界・企業研究セミナー	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年5月20日(金)	ES作成講座	(株)広報しえん 支援部 佐藤裕晃 様
2022年5月27日(金)	夏のIS合説 徹底研究	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年6月6日(月)	就活メイク講座	(一社)日本パーソナルイメージスタイル協会副理事 相田亜希子 様
2022年6月10日(金)	夏のインターンシップ活用術	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様 新潟日報社(株)総務部 桑原健太郎様 L & B コンサルティンググループ 人事部 岡部夕依様 (株)スミック工事課 課長 清野忠孝様
2022年7月8日(金)	面接対策& IS先での自己PR講座	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年7月15日(金)	放送業界の新卒採用1次面接官が教える, 1次面接突破の秘訣!	(株)放送技術社 事業部長 米田健 様
2022年8月25日(木)	自己分析・自己発見のための職務適正テスト	(株)広報しえん 支援部 佐藤裕晃 様
2022年8月26日(金)	一般常識 模擬試験	(株)広報しえん 支援部 佐藤裕晃 様
2022年9月28日(水)	夏休みの経験から自己PRの種を見つけよう	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年10月5日(水)	就活準備スタートアップガイダンス	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年10月12日(水)	業界・企業研究 ゲスト講話「広報の仕事と求められる資質」	PR コンサルタント 藤田実穂 様
2022年10月19日(水)	自己分析/業界・企業研究セミナー	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年10月26日(水)	自己分析/自己PR作成講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年11月2日(水)	履歴書・ES作成講座	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年11月16日(水)	面接対策講座	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年12月14日(水)	履歴書・ES添削	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年12月21日(水)	2年生対象 プレ就活スタートアップセミナー	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2023年1月19日(木)	模擬面接会・就活解禁に向けたガイダンス	(株)リクルート就職支援担当 二宮麻衣子 様 (株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様 (株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様, 佐藤裕晃 様 (株)リーフフロント 宮本美穂 様
2023年1月25日(水)	SPI理解講座 言語・非言語 Webテスト受検会	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様

日時	講座名	講師
2023年3月28日(火)	進級生オリエンテーション(新3年生)	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様 (株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様 (株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様 (株)リーフランド 宮本美穂 様 (株)放送技術社 新潟事業部長 米田健 様 (株)アドハウスパブリック オールブランディングワークス事業部 マネージャー 若林美由紀 様 (株)NSG ホールディングス 人事本部 部長 池田岳倫 様

(4) 臨地実務実習先及びインターンシップ・オープンカンパニーの情報収集と企業連携

- 臨地実務実習先 78 社へ夏季インターンシップ情報および求人情報の依頼を行った。
- 実習先よりお寄せいただいた情報は 2024 卒学生向けに Teams を通じて発信を行ったほか、求人検索ナビ登録により学内システムで閲覧できる状態とした。

(5) 企業の求人やインターンシップ・オープンカンパニー情報の収集及び企業開拓

- 臨地実務実習先をのぞく過去の接触企業 296 社へ 2023 年 1 月に求人情報の依頼を郵送・メールを用いて行った。
- 企業よりお寄せいただく求人情報は求人検索ナビへの登録を行い、学内システムで閲覧できる状態とした。

(6) キャリア形成に係る情報の収集及び管理に関する事項

- (株)マイナビ「キャリアリサーチ Lab」や(株)リクルート就職未来研究所「就職白書」より全国の学生の活動状況を把握し、本学の学生の進捗の参考とした。
- 学生の活動を後押しできるデータ等は 2022 年 6 月から 2023 年 3 月まで毎月発行の「キャリアセンター通信」を用いて学生向けに共有した。

(7) その他学生のキャリア形成及び進路決定に関する事項

なし

[米山キャンパス 情報学部]

(1) 学内で行われる学生のキャリア教育の支援(2024 年卒対象)

- 一人一人にあわせた支援を行うため、進路希望調査を実施。
 - ・2022 年 3 月 30 日～4 月 8 日 進路希望調査①
 - ・2022 年 9 月 16 日～10 月 7 日 進路希望調査②
- 以下の全員対象面談で進路希望の確認、希望に向けて取り組むべきことの確認を行った。
 - ・2022 年 6 月 16 日～6 月 27 日 個別面談①
 - ・2023 年 2 月 20 日～3 月 9 日 個別面談②
- 夏期インターンシップへの参加促進を目的に、参加状況の調査を実施。

- ・2022年5月23日～5月27日 インターンシップ参加・申込状況ヒアリング
- ・2022年7月5日～7月8日 インターンシップ参加・決定状況ヒアリング
- ・2022年9月16日～10月7日 インターンシップ参加実績ヒアリング

(2) 学生の就職活動, 起業活動, 作家活動開始, 進学のための活動支援

- ・学生の個々の活動に合わせ, 個別面談, 書類添削, 面接練習を行った.
- ・公務員希望者に対し, (株)クレアールと連携し, 学生に公務員試験対策講座を特別割引価格で提供.
- ・就職希望者へのサポートとして, 大学主催 企業説明会を13社, 合同企業説明会(19社)を実施.

(3) 学生のキャリア形成のための各種講座の実施

日時	講座名	講師等
2022年4月14日(木)	就職支援セミナー① 就職活動スタートアップ講座	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年4月21日(木)	就職支援セミナー② スタートアップガイダンス	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年4月28日(木)	就職支援セミナー③ 夏の自由応募型インターンシップ活用講座	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年5月12日(木)	就職支援セミナー④ 企業研究・業界研究講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年5月19日(木)	就職支援セミナー⑤ 企業研究講座	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年5月26日(木)	就職支援セミナー⑥ 自己分析・自己PR講座	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年6月2日(木)	就職支援セミナー⑦ 自己分析講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年6月9日(木)	就職支援セミナー⑧ 応募書類作成講座	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年6月16日(木)	就活身だしなみ講座<男子①>	Bridal Hair&Make-up propose
2022年6月16日(木)	就職支援セミナー⑨ エントリーシート講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年6月23日(木)	就活身だしなみ講座<女子>	Bridal Hair&Make-up propose
2022年6月23日(木)	就職支援セミナー⑩ 言語・非言語 Web テスト受検会①	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年6月27日(月) ～2022年7月1日(金)	適性診断「MATCH plus」受検①	キャリアセンター職員
2022年6月30日(木)	就職支援セミナー⑪ 一般常識 模擬試験	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年7月4日(月)	「自己PR」添削①	キャリアセンター職員
2022年7月7日(木)	就職支援セミナー⑫ インターンシップ マナー講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年7月11日(月)	就活身だしなみ講座<男子②>	Bridal Hair&Make-up propose
2022年7月13日(水)	個別企業研究会・インターンシップ説明会	(株)インフォコーパス
2022年7月14日(木)	就職支援セミナー⑬ グループディスカッション講座	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年7月21日(木)	就職支援セミナー⑭ 就活総まとめ!ダイジェスト講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年8月25日(木)	自己分析・自己発見のための職務適正テスト	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年8月26日(金)	一般常識 模擬試験	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様

日時	講座名	講師等
2022年9月3日(土)	キャリア相談会	鈴木茂樹先生
2022年9月16日(金)	キャリアセンターオリエンテーション ＜臨地実務実習中の就職活動について＞	キャリアセンター職員
2022年9月16日(金)	個別企業説明会	(株)ジェイ・エス・エス (株)ビット・エイ
2022年10月4日(火)	就職支援セミナー⑮ 面接対策講座	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022年10月18日(火)	就職支援セミナー⑯ エントリーシート＜自己PR＞講座	(株)広報しえん 支援部 野瀬山知巳 様
2022年11月4日(金)	「自己PR」添削②	キャリアセンター職員
2022年11月9日(水)	就職支援セミナー⑰ エントリーシート＜学生時代に力を入れたこと＞講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022年11月12日(土)	学内企業研究会	(株)RY・コーポレーション キヤノンイメージングシステムズ(株) パーソルプロセス&テクノロジー(株)
2022年11月18日(金)	「学生時代に力を入れたこと」添削	キャリアセンター職員
2022年11月19日(土)	学内企業研究会・WEBテスト模擬受験会	(株)ガゾウ (株)ウイング
2022年11月29日(火) 2022年12月6日(火) 2022年12月13日(火) 2022年12月20日(火)	キャリアデザイン講座(全4回)	ランサーズ(株) (株)ベネッセコーポレーション
2022年12月3日(土)	学内企業研究会	(株)メビウス デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株) ソリマチ(株)
2022年12月16日(金)	適性診断「MATCH plus」受検②	キャリアセンター職員
2022年12月23日(金) ～2023年1月10日(火)	進路調査③	キャリアセンター職員
2023年1月29日(日)	学内企業研究会・WEBテスト模擬受験会	(株)PKUTECH (株)アイ・シー・アイ
2023年2月7日(火)	新4年生向け 就活説明会	キャリアセンター職員
2023年2月7日(火)	就職活動用 証明写真撮影会	キャリアセンター職員
2023年2月17日(金)	学内合同企業説明会	19社
2023年3月28日(火)	新2年生向け キャリアセンター説明会	キャリアセンター職員
2023年3月29日(水)	新3年生向けキャリアセンター説明会	キャリアセンター職員
2023年3月30日(木)	新4年生向けキャリアセンター説明会	キャリアセンター職員

(4) 臨地実務実習及びインターンシップ・オープンカンパニーの情報収集と企業連携

- ・臨地実務実習先企業の学内企業説明会を実施。
- ・お寄せいただいたインターンシップ・オープンカンパニーの情報を2024卒学生向けにTeamsを通じて発信、求人検索ナビ登録により学内システムで閲覧できる状態とした。

- (5) 企業の求人やインターンシップ・オープンカンパニー情報の収集及び企業開拓
- ・各企業からお寄せいただいたインターンシップ・オープンカンパニー情報を、Teams を通じて発信。求人情報については求人検索ナビへの登録を行い、学内システムで閲覧できる状態とした。
 - ・2023 年 2 月に合同企業説明会を開催。IT 系企業を中心に 19 社にご参加いただいた。
- (6) キャリア形成に係る情報の収集及び管理に関する事項
- ・(株)マイナビ「キャリアリサーチ Lab」や(株)リクルート就職未来研究所「就職白書」などから全国の学生の活動状況を把握し、本学の学生の進捗の参考とした。
- (7) その他学生のキャリア形成及び進路決定に関する事項
- なし

[古町ルフルキャンパス アニメ・マンガ学部]

(1) 学内で行われる学生のキャリア教育の支援 (25 卒)

- 「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を必修科目とし、1～3 年次に配置。
- 一人一人にあわせた支援を行うため、進路希望調査を実施。
 - ・2022 年 7 月 6 日～7 月 12 日 進路希望調査①
 - ・2023 年 1 月 30 日～2 月 3 日 進路希望調査②
- 以下の全員対象面談で進路希望の確認、希望に向けて取り組むべきことの確認を行った。
 - ・2023 年 2 月 28 日～3 月 13 日 個別面談

(2) 学生の就職活動、起業活動、作家活動開始、進学のための活動支援

- ・学生の個々の活動に合わせ、個別面談、ポートフォリオ指導を行った。
- ・資格取得に向け、学内説明会、対策講座を実施した。
- ・就職活動に関する意識付けのため、大学主催で企業説明会を行った。

(3) 学生のキャリア形成のための各種講座の実施

日時	講座名	講師
2022 年 4 月 28 日 (木)	業界セミナー「企業就職の具体的なイメージを掴む」	アニメ・マンガ学部教員 ・深井先生 ・belne 先生 ・森岡先生
2022 年 5 月 24 日 (火)	自己分析／自己 PR 作成講座	(株)リクルート就職支援担当 阿部麻子 様
2022 年 6 月 27 日 (月)	ビジネスマナーセミナー社会常識とは	(株)マイナビ新潟キャリアサポート課 稲越早紀 様
2022 年 7 月 21 日 (木)	資格試験説明会	(株)サーティファイ事業推進部 井上央務 様
2022 年 9 月 21 日 (水)	ビジネスマナーセミナー	アニメ・マンガ学部教員 ・belne 先生 ・キャリアセンター職員
2022 年 10 月 13 日 (木)	ポートフォリオ制作 know-how 講習会①	アニメ・マンガ学部教員 ヨシカワゴエモン先生
2022 年 11 月 9 日 (水)	学内企業説明会(株) ENGI	(株) ENGI 採用担当 和泉裕子 様
2022 年 11 月 16 日 (水)	ポートフォリオ制作 know-how 講習会②	アニメ・マンガ学部教員 ・深井先生 ・belne 先生 ・森岡先生

日時	講座名	講師
2023年1月13日(金)	就職筆記対策講座	(株)広報しえん 支援部 佐藤裕晃 様
2023年1月17日(火)	適性診断 match + 受験講座	(株)マイナビ新潟キャリアサポ- ト課 稲越早紀 様
2023年3月29日(木)	進級生オリエンテーション(新 3年生)	キャリアセンター職員

- (4) 臨地実務実習先及びインターンシップ・オープンカンパニーの情報収集と企業連携
- ・臨地実務実習先企業と学生による、作品制作の連携やインターンシップ情報の提供などを行った。
 - ・お寄せいただいたインターンシップ・オープンカンパニーの情報を2025卒学生向けにキャンパスプランや、学内掲示を行い、いつでも閲覧可能な状態とした。
- (5) 企業の求人やインターンシップ・オープンカンパニー情報の収集及び企業開拓
- ・お寄せいただいたインターンシップ・オープンカンパニーの情報を2025卒学生向けにキャンパスプランや、学内掲示を行い、いつでも閲覧可能な状態とした。
 - ・2022年11月19日に学内企業説明会を実施。また求人や、インターンシップ情報については、就職支援会社との連携や、各教員の紹介などから収集し随時学生へ告知並びに、学内掲示を行った。
- (6) キャリア形成に係る情報の収集及び管理に関する事項
- ・(株)マイナビ「キャリアリサーチ Lab」や(株)リクルート就職未来研究所「就職白書」などから全国の学生の活動状況を把握し、本学の学生の進捗の参考とした。
 - ・2022年11月8日に新潟県が主催する、新潟県企業とのオンライン情報交流会へ参加した。
 - ・就活やキャリア形成等に関するオンラインセミナーに複数回参加した。
- (7) その他学生のキャリア形成及び進路決定に関する事項
なし

(2) 創業支援センター

① 構成員名簿(敬称略, 所属, 役職)

- センター長 : 福田 稔 (事業創造学部, 准教授)
副センター長 : 東城 歩 (事業創造学部, 助教)
センター員 : 市川 昌史 (事業創造学部, 助手)
事務局 : 江口 五郎 (学務部, 部長)
遠田 孝之 (事業創造学部, 学務課, 課長, 社会連携推進課, 課長)
小林真由美 (社会連携推進課)

② ミッション

在学生・卒業生に、建学の精神の2番目にある「挑戦」の場を提供。
創業支援機関等と連携し、優れた事業計画を持つ支援対象者に、専門家による助言と創業環境の提供等を行う。

③ 活動状況報告

- 1) 「開志専門職大学 創業支援に関する規定」施行 (2022.4.1)
- 2) 創業支援に関する活動構想の学長説明 (2022.4.5)
- 3) 事業創造キャピタルとの打ち合わせ実施 (2022.4.12)

- 4) 開志エンジェルファンドについて事業創造キャピタルと打合せ (2022.4.18)
- 5) 開志エンジェルファンドについて事業創造キャピタルと打合せ (2022.5.12)
- 6) NSG ホールディングスへ創業支援センター活動構想を説明 (2022.5.12)
- 7) 事務局長及びメンター教員と「開志エンジェルファンド:ビジョン」に関する打合せ (2022.5.14)
- 8) 教授会にて創業支援センター活動構想を報告 (2022.5.17)
- 9) 創業支援センターフロー概念図策定 (2022.5.17)
- 10) メンター教員と「開志エンジェルファンド基本設計 (起業時用)」素案作成 (2022.5.20)
- 11) 日本政策金融公庫へ創業支援センター活動構想を説明 (2022.5.24)
- 12) 事務局・愛宕商事と創業支援センターのコワーキングスペースについて整備準備開始 (2022.5.30)
- 13) 支援先 WelcalJapan との定期面談実施 (2022.6.27)
- 14) 日本政策金融公庫へ新潟信用金庫との包括連携協定締結を事前説明 (2022.7.14)
- 15) 新潟信用金庫と包括連携協定の素案について協議 (2022.7.15)
- 16) 情報学部ビジコン入賞者への創業支援センター説明会実施 (2022.7.21)
- 17) 学長へ開志エンジェルファンドの進捗を説明 (2022.7.23)
- 18) 新潟信用金庫へ包括連携協定提案のため訪問 (2022.7.22)
- 19) 新潟信用金庫との包括連携協定に関して 3 学部教授会にて創業支援センター近況報告実施 (2022.7.27)
- 20) 学生向けセンター説明資料整備 (2022.8.1)
- 21) 「センター・LAB 連絡会」にて状況報告 (2022.8.2)
- 22) 創業支援センターのコワーキングスペース整備完了 (2022.8.8)
- 23) 事業創造学部教授会にて創業支援センター近況報告実施 (2022.8.24)
- 24) 産学連携の協力推進に関する覚書 (案) 策定 (2022.9.6)
- 25) 新潟信用金庫との包括連携協定を総務会にて協議 (2022.9.21)
- 26) 支援先株式会社 LacuS と定期面談実施 (2022.9.29)
- 27) 支援先 WelcalJapan との定期面談実施 (2022.9.29)
- 28) 新潟信用金庫との「産学連携の協力推進に関する覚書 (上程案)」策定 (2022.10.4)
- 29) 「産学連携の協力推進に関する覚書」を総務会にて審議了承 (2022.10.19)
- 30) 創業支援センターパンフレット素案作成 (2022.11.2)
- 31) 支援先 WelcalJapan との定期面談実施 (2022.12.7)
- 32) 総務会にて支援先株式会社 LacuS 及び株式会社あまむすびの融資獲得を報告 (2023.2.15)
- 33) 教授会にて融資獲得の報告 (2023.2.22)
- 34) 支援先 WelcalJapan との定期面談実施 (2023.2.22)
- 35) IPC 財団からインタビュー取材を受ける (2023.2.27)
- 36) 支援先株式会社 LacuS と定期面談実施 (2023.3.14)

(3) イノベーション力研究所

① 構成員名簿 (敬称略, 所属, 役職)

イノベーション力研究所

向 正道 (事業創造学部, 所長)

星 和樹 (事業創造学部, 副所長)

「イノベーション力研究」編集委員会

向 正道 (事業創造学部, 編集委員長)

近藤 正幸 (事業創造学部, 編集副委員長)

徳田 賢二 (事業創造学部, 編集委員)

星 和樹（事業創造学部，編集委員）
草間 裕（事務局）
安達 将太（事務局）
和平 勝明（事務局）

②活動状況報告

- (1) 「イノベーション力研究」編集委員会の規程作成と編集委員会の設置を行う（2022年9月21日）。
- (2) 「イノベーション力研究」投稿規程，執筆要項の作成を行う。合わせて，投稿申込書，査読方法等の内規を定める。（2022年12月14日）
- (3) 2022年度「イノベーション力研究」投稿申し込み開始する（2022年12月14日）
- (4) 「イノベーション力研究」第一巻について，14件の投稿があった（2023年3月31日）。

論文 4 件

研究ノート 2 件

調査報告 3 件

事例研究 2 件

調査報告 1 件

書評 2 件

合計 14 件

(4) 開志未来創造研究センター

①構成員名簿（敬称略，所属，役職）

西川 昌宏（情報学部准教授，センター長）

西川 浩平（情報学部講師）

PANN YU MON（情報学部助教）

淡路 雅博（事務局）

②運営会議

第1回運営会議 2022年4月23日（土） 2022年度活動計画

第2回運営会議 2023年3月15日（水） 2022年度活動報告

③ミッションと活動

専門職大学の「研究」は，産業界での活用を出口とする実践的な開発研究，コンサル，産学共同教育による人材育成など多様な活動が考えられる。未来創造研究センターは，共創の場の提供やワークショップ運営などによりこれらの活動を支援する。また，その取り組みや成果を視覚化することで「見せる」センターとして，科学技術の啓発や情報発信を行う。

④ 2022 年度活動

I. 基本方針

コロナ禍のため，2021年度に引き続き学内での運営試行，展示試作を行うことで，今後のブラッシュアップにつなげる。その中で以下の課題につき取り組む。

- 1) 研究センターのステークホルダーに合わせた展示コンテンツの充実
- 2) 「未来社会ビジョン」の検討開始

II. 活動内容

- 1) 大学紹介，研究・授業成果物展示の充実（通年）
 - ・「情報の歴史」年表のデジタル化

- ・ディスプレイ, 体験デモ機材購入
 - ・数理・データサイエンスセンター紹介, 文科省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」認定紹介パネル作成
 - ・WACE (世界産学連携教育協会) での「臨地実務実習成果発表」紹介パネル作成
- 2) オープンキャンパス対応 (11 回)
- 4/23 (土), 5/21 (土), 6/25 (土), 7/9 (土), 7/30 (土), 8/6 (土), 9/10 (土), 10/1 (土), 11/6 (日), 12/3 (土), 3/25 (土)
- 3) 公開講座 (オンライン開催 3 回)
- 11/17 (木) メタバース空間作成講座 24 名参加
- 11/28 (月) 画像生成 AI のはじめかた 22 名参加
- 11/30 (水) もの作りイベント HACK U NSG 説明会 (大学内) 2 名申込
- 4) サークル活動支援
- Ⅲ. 次年度に向けての振り返り

「研究センターのステークホルダーに合わせた展示コンテンツの充実」については, 所期の目標を達成した。2023 年度では, 「臨地実務実習Ⅱ」や「ICT 活用総合実習」の成果等を加え, より充実させる。「未来社会ビジョン」については, 策定に向けての方法についての検討を行った。2023 年度も継続して取り組む。

(5) KAISHI LAB

①構成員名簿 (敬称略, 所属, 役職)

磯西 徹明 (情報学部, LAB 長)

田代 秀一 (情報学部, 副 LAB 長)

小野山博之 (情報学部, 委員, 准教授)

大和田 翔 (情報学部, 委員, 指導助手)

天城 和哉 (KAISHI LAB・キャリアセンター顧問)

淡路 雅博 (事務局)

金子 茜 (事務局)

②会議開催回数 11 回

③審議事項および決定事項等

- 1) 第 27 回 (2022 年 4 月 13 日 (水) 開催)
 - ・本年度より新たに, KAISHI LAB 長に磯西 徹明教授, 運用メンバーに小野山 博之准教授が就任
 - ・KAISHI LAB 運用にあたり, 本年度の行動計画表を作成することを決定。
- 2) 第 28 回 (2022 年 5 月 11 日 (水) 開催)
 - ・今回より, 天城 和哉顧問が KAISHI LAB 運用メンバーに就任したことが報告された。
 - ・立ち上げ時, デザイナーに用意していただいた KAISHI LAB のロゴについて, 使用ルールの共有・確認が行われた。
 - ・本運用メンバーとは別に, KAISHI LAB 委員会が存在するため, 来年度の書類上の整備・差別化と, 委員会メンバーの役割について, 権瓶事務局長へ確認の依頼を行ったことを本議会にて報告。
 - ・昨年度から引き続いて作業が行われている KAISHI LAB ホームページについて, セキュリティ上の問題がないかを確認の後, 正式公開することを決定。加えて KAISHI LAB PR 動画を撮影する。
- 3) 第 29 回 (2022 年 6 月 8 日 (水) 開催)

- ・行動計画表に基づき、昨年度の振り返りと今年度の行動計画を確認。
以下は本項目にて決定した計画。
 - Works エリアの一部機材（フライス盤，ボール盤）の移設。
 - KAISHI LAB 内展示スペースの設置
 - 学生によるコンペ形式の作品製作
 - 金沢工業大学内施設の見学
 - DMM .make AKIBA の見学
 - ・小野山准教授によるオープンキャンパス・社会貢献イベントのメニュー提案が行われる。本議会をもって「メガローバ」一式の導入を決定。
 - ・予算執行手続きについての共有・確認が行われる。
 - ・学生からの使用要望に応え、開館時間の延長を決定。
12 時～18 時半までの開館時間を 9 時～20 時まで延長。9～10 時に関してはフリースペースのみを開放とし、18 時～20 時は学生アルバイトを雇用することで対応する。
 - ・KAISHI LAB 公式ウェブサイトは、大学公式サイトの直下において運用されることが決定。
- 4) 第 30 回（2022 年 7 月 13 日（水）開催）
- ・第 29 回にて決定した学生アルバイトの面接について、淡路社会連携推進課長，金子社会連携推進課員にて実施することが決定。
 - ・DMM.com.make AKIBA 様とのコラボワークショップの実施を決定。
2022 年 8 月 27 日（土）開催の『ミニチュアオンエアランプ制作講座』がこれに該当。
 - ・作品展示として、磯西 LAB 長の IoT 実習成果物発表ポスターを館内に貼付したことを報告。これに伴い、1F ロビーモニターにて KAISHI LAB 映像を放映することを決定。
 - ・各施設見学の日程が決定。
2022 年 8 月 29, 30 日（月・火）金沢工業大学 夢考房
磯西 LAB 長，淡路社会連携推進課長，大和田指導助手が見学
2022 年 9 月 1, 2 日（木・金）DMM.com.make AKIBA
大和田指導助手，金子社会連携推進課員が見学
- 5) 第 31 回（2022 年 9 月 15 日（水）開催）
- ・8 月より，学生アルバイト 3 名（事業創造学部 1 名，情報学部 2 名）の稼働が開始。
 - ・8 月 27 日（土）開催『ミニチュアオンエアランプ制作講座』実施報告が行われる。人数などの詳細については別項目にて記載。
 - ・大和田指導助手，金子社会連携推進課員より，他施設見学の報告を実施。
 - ・小野山准教授によるメガローバ体験イベントの実施予定について計画を報告。
- 6) 第 32 回（2022 年 10 月 13 日（木）開催）
- ・9 月定例会にて報告された小野山准教授によるメガローバ体験イベントについて，12 月 3 日（土），12 月 10 日（土）に実施されることが決定。
告知については 10 月より実施。
 - ・Web サイトの進捗・改善状況の確認が行われる。確認を行った事項は以下の通り。
 - KAISHI LAB サイトと学校本サイトの連携
 - 予約サイトの確認
 - その他表現の修正
 - ・2022 年度上期の総括と下期の計画を確認。
この項目にて確認されたのは以下の事項。
 - Adobe 系ソフト，CAD ソフトについての講座を検討していたが，講師が見つからず未実施。
 - CNC 旋盤の講習を検討中。未実施。
 - 光造形 3D プリンタについて，材料費が高額である事，使用手順が高度である事，使用上の問題

(廃液処理について・PLA 3D プリンタのように手軽に扱えないこと・処理を間違えると健康被害がでること) のクリアが難しい為、学生に対して自由使用を禁止とすることを決定。

ただし、授業や実習にて必要になった場合のみ、スタッフが付き添いの元、共同作業という形で使用を許可。

- ・本年度の使用予算の内訳を運用メンバーにて確認。
余剰分について、どのように使用するかを今後検討。
- ・学生アルバイトの効果的な活用について検討。可能であればホームページの改善や、機材講習の実施、資料作成などを依頼する。

7) 第 33 回 (2022 年 11 月 9 日 (水) 開催)

- ・学生アルバイトの状況報告を行う。情報学部 2 名の学生は実習期間中であるため、事業創造学部の学生 1 名が、週 3 で稼働している状態である。継続してアルバイト追加募集の掲示を行っていることを決定。
- ・学生アルバイト料について、支払いの遅延が発生していたため、直ちに支払手続きを行ったことを報告。
- ・「ミライのプログラミング _ ミラプロ」様とのコラボを企画することを決定。
- ・大和田指導助手の退職が共有される。それに伴い、上期総括と下期計画の見直しを実行することを決定。
- ・学生アルバイトの効果的な活用について、授業カリキュラムとの並行実施が難しい為、新規募集については、来年に入り、改めて行うことを決定。

8) 第 34 回 (2022 年 12 月 14 日 (水) 開催)

- ・学生のデジタルミシン使用要望に応え、刺繍用パーツの購入を決定。
- ・臨地実務実習・学園祭が終了したことによる利用者の減少が見受けられたため、学生へのアプローチを推進する。
- ・小野山准教授によるイベント「ロボットで自動運転技術を体験しよう」が終了。当日の様子を振り返りと報告を行う。
- ・3 月の DMM 電子工作入門講座の開講予定を共有。
- ・本会議にて Web サイト構築・修正を完了したことを確認、正式公開とする。
- ・下期計画のアップデートが完了。大和田指導助手の後任への引継ぎ作業を開始。
- ・今年度の余剰分の予算にて、新規プロジェクトの購入を決定。

9) 第 35 回 (2023 年 1 月 11 日 (水) 開催)

- ・ミライのプログラミング _ ミラプロ様とのコラボワークショップを 12 月 17 日 (土) に実施。当日の報告を行う。
- ・新規学生アルバイトの希望者 3 名との面接予定を報告。
- ・本会議時点で後任が未決定であったため、資料ベースでの引継ぎを決定。大和田指導助手により、退職前に事故が発生しやすい機材について、ピックアップしていただく。
- ・2023 年 1 月 18 日 (水) に磯西 LAB 長より、総務会にて KAISHI LAB の報告が行われる。その場にて報告されたことは以下の通り。
 - KAISHI LAB と広報部門、学内外との連携による認知度向上施策の概要
2021 年、2022 年度の連携事案を学校本サイトの記事ベースにて紹介。本年度の事案は下記の「広報一覧」を参照。
 - 大学公式 Web サイト内 KAISHI LAB 特設サイトの紹介。
KAISHI LAB サイトの構造・内容を紹介。
 - 学外 (ミライのプログラミング _ ミラプロ様) との連携事例紹介。
2022 年 12 月 17 日 (土) 開催のミラプロ様との連携講座を例に外部連携事例を紹介。

10) 第 36 回 (2023 年 2 月 8 日 (水) 開催)

- ・予算の上限をひと月 7 万円とした上で、新規アルバイト 5 名を採用とする。
- ・KAISHI LAB に限らず、大学施設全体での外部貸出規程が作成されていないため、大学で規程を作成していただくよう、教授会等で提案。
- ・4 月 1 日より後任の男性技術職員が 1 名入職することが共有される。
- ・12 月会議時に決定していた備品の購入について、全て入着したことを報告。
- ・倉庫内にて雨漏りの発生を確認。状況を報告。

11) 第 37 回 (2023 年 3 月 8 日 (水) 開催)

- ・学生アルバイトの状況報告を行う。
 - 学生アルバイト 1 名について、退職希望があり、契約満了にて退職。
 - 3 月より新規学生アルバイト 1 名の稼働が開始。
- ・「ミライのプログラミング_ミラプロ」様、「笑足(わらかし) ネット」様の 2 社とのコラボイベントを開催。当日の報告を行う。
- ・DMM.make AKIBA 連携 電子工作入門講座の準備状況について報告を行う。
- ・来年度の運用体制について報告が行われる。現メンバー+新規技術職員にて運用されることが報告される。

2022 年度 KAISHI LAB 開催行事・講習一覧

4 月

12 日 (火)	3D プリンタ講習 (1 名)
18 日 (月)	レーザーカッター講習 (2 名)
	UV プリンタ講習 (2 名)
	3D プリンタ講習 (1 名)
25 日 (月)	3D プリンタ講習 (3 名)
	レーザーカッター講習 (2 名)

5 月

17 日 (火)	3D プリンタ講習 (1 名)
----------	-----------------

6 月

11 日 (土)	KAISHI LAB ホームページ・PR 動画撮影
----------	---------------------------

7 月

4 日 (月)	UV プリンタ講習 (1 名)
	レーザーカッター講習 (1 名)
5 日 (火)	PR 動画 正式公開
11 日 (月)	3D プリンタ講習 (1 名)
18 日 (月)	3D プリンタ講習 (1 名)
29 日 (金)	3D プリンタ講習 (1 名)

8 月

9 日 (火)	3D プリンタ講習 (1 名)
	UV プリンタ講習 (1 名)
	レーザーカッター講習 (1 名)
27 日 (土)	DMM コラボ講座「ミニチュアオンエアランプ制作講座」 (高校生 1 名, 在学生 5 名, 職員 1 名)

9月

16日(金)	3Dプリンタ講習(1名)
	UVプリンタ講習(1名)
	レーザーカッター講習(1名)

10月

24日(月)	レーザーカッター講習(2名)
--------	----------------

11月

16日(水)	UVプリンタ講習(1名)
28日(月)	ホームページ 正式公開

12月

10日(土)	ロボットで自動運転技術を体験しよう 小中高生6組(14名)+企業見学1名
17日(土)	ミラプロ×KAISHI LAB 3Dプリンタ体験イベント 17組(30名)

3月

4日(土)	ミラプロ×笑足ネット×KAISHI LAB ワークショップ(7名)
31日(金)	電子工作入門講座(40名)

授業の支援

IoT実習(第3学年 第1期 毎週木, 金4, 5限開催 4月14日~6月9日 全15回)
IoT演習(第2学年 第2期 毎週木, 金4, 5限開催 6月16日~8月4日 全15回)

オープンキャンパス(製作体験, 体験授業を実施した回のみ記載)

4月23日(土)	オリジナルプレート製作体験
7月9日(土)	オリジナルプレート製作体験
7月30日(土)	オリジナルプレート製作体験
8月6日(土)	オリジナルプレート製作体験 IoTデバイス体験授業(磯西LAB長)

臨地実務実習支援

株式会社スピードパーク新潟
臨地実務実習Ⅰ:10月3日(月)~11月4日(金)
臨地実務実習Ⅱ:10月3日(月)~2023年1月17日(火)

学校見学

6月29日(水)(AM・PM 全2回)	燕市立 吉田中学校 KAISHI LAB 製作体験
7月7日(木)	燕市立 小池中学校 KAISHI LAB ツアー
10月4日(火)	新潟市立 新津第一中学校 KAISHI LAB ツアー
10月5日(水)	新潟市立 潟東中学校 KAISHI LAB 製作体験
10月20日(木)	私立 新発田中央高等学校 KAISHI LAB 製作体験

広報一覧

KAISHI LAB ホームページ

<https://kaishi-pu.ac.jp/kaishi-lab/>

大学ホームページ

<開志専門職大学× DMM.com >電子工作・ミニチュアオンエアランプ制作講座 inKAISHI LAB を開催しました。(2022年4月6日(水)) (開催は2021年度)

<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/033031/>

<開志のまなび> IoT システムで社会課題を解決! 「IoT 実習」最終発表(ポスターセッション)を開催しました【情報学部3年生】(2022年6月15日(水))

<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/0602-0609/>

<高校生対象・参加無料> 8/27(土) KAISHI LAB ワークショップ開催! お申込受付中【情報学部 KAISHI LAB × DMM.com コラボイベント】(2022年7月11日(月))

<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/8-27kaishi-lab/>

<小・中・高校生対象・参加無料> 12/10(土) KAISHI LAB ワークショップ開催! 「ロボットで自動運転技術を体験しよう」お申込受付中【情報学部 KAISHI LAB】(2022年11月24日(木))

<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/12-10kaishi-lab/>

情報学部 KAISHI LAB ワークショップを開催しました! 【12/10(土)「ロボットで自動運転技術を体験しよう」・12/17(土)子ども向けプログラミング教室 ミラプロ様ご協力のワークショップ】(2023年1月12日(木))

<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/kaishi-lab1210-1217/>

<お知らせ>新世代のクリエイターを育てる, 先進的なものづくり空間. 『KAISHI LAB (カイシラボ)』の特設サイトがオープンしました! 【米山キャンパス 7F】(2022年11月28日(月))

<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/kaishi-lab/>

YouTube

開志専門職大学 情報学部 米山キャンパス KAISHI LAB CREATIVITY IS BORN HERE. (2022年7月5日(火))

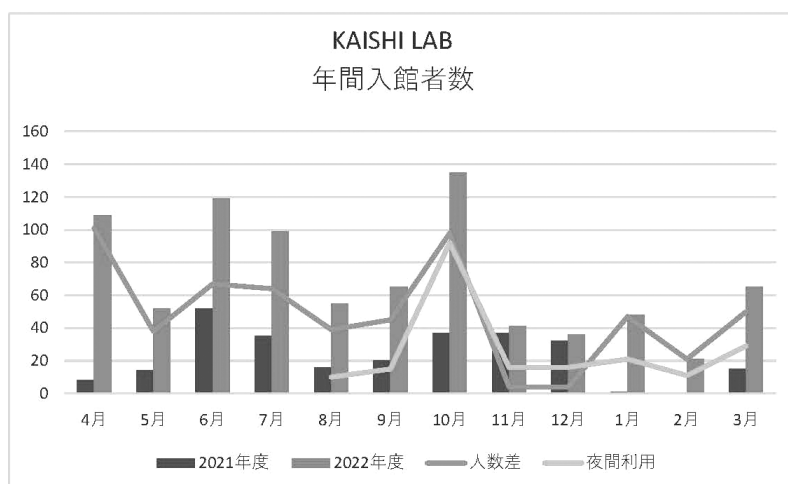
<https://www.youtube.com/watch?v=7sVL24FOW6o>

ショートバージョン (2022年12月23日(金))

<https://www.youtube.com/watch?v=UiCwuWl9pcg>

年間入館者数統計

	2021年度	2022年度	夜間利用	人数差
4月	8	109		101
5月	14	52		38
6月	52	119		67
7月	35	99		64
8月	16	55	10	39
9月	20	65	15	45
10月	37	135	92	98
11月	37	41	16	4
12月	32	36	16	4
1月	1	48	21	47
2月	0	21	11	21
3月	15	65	29	50



(6) 数理・データサイエンスセンター

①構成員名簿（敬称略，所属，役職）

鈴木 源吾（情報学部，センター長）
 平川 秀樹（情報学部，副センター長）
 田代 秀一（情報学部，センター員）
 原岡 和生（事業創造学部，センター員）
 柄沢 直之（情報学部，センター員）
 吉田 貴裕（情報学部，センター員）
 淡路 雅博（事務局）

②数理・データサイエンスに関する教育の推進

- ・情報学部におけるカリキュラムに対し，文科省による体系的な数理・データサイエンス教育を認定する制度である，数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定（応用基礎レベル）を専門職大学として初めて取得した。
- ・大学の完成年度以降に向けて，数理・データサイエンス系科目に関するカリキュラムの改善案を提案した。
- ・学外有識者（元 BSN アイネット技術顧問の板垣正敏氏）と数理・データサイエンスに関する教育等について情報交換を実施した（1月17日）。

③数理・データサイエンスに関する学生支援の実施

- ・学生への支援を開始し，数理・データサイエンス系科目に関する質問・隣地実務実習・進路などの相談（23件），補習の支援（2科目），情報発信（5件）を実施した。

④数理・データサイエンス教育基盤の整備

- ・学生の支援・実習での活用などのため，GPU搭載のデスクトップ PC1台・ノート PC2台と，データサイエンスに関する教科書・専門書籍・資格試験に関する書籍（58冊）を購入した。

⑤数理・データサイエンスに関する社会貢献

- ・新潟県データサイエンス人材育成協議会の委員として，協議会に参加し，本学の教育プログラムについて発表した（12月3日）。
- ・東北地区私学教育研修会にて高校教員を対象に，データサイエンス教育に関する講演を実施した（7

月 29 日).

⑥数理・データサイエンスに関する共同研究推進

- ・数理・データサイエンスに関する共同研究を推進し、スマート農業（トマト栽培）を実践する株式会社 ベジ・アビオとのデータ分析に関する協力関係の構築に貢献した。
- ・株式会社 MGNET とのものづくりに関するデータ整備に関する協力関係の構築に貢献した。

(7) 新潟視覚芸術研究所 (RIVNA)

①構成員名簿 (敬称略, 所属, 役職)

- 神村 幸子 (アニメ・マンガ学部, 所長)
- 堀越 謙三 (アニメ・マンガ学部, 副所長)
- 成田 兵衛 (アニメ・マンガ学部, 研究員)
- 村井さだゆき (アニメ・マンガ学部, 研究員)
- 木村 智哉 (アニメ・マンガ学部, 研究員)
- 横山 昌吾 (アニメ・マンガ学部, 研究員)
- 雑賀 忠宏 (アニメ・マンガ学部, 研究員)
- 青木 健一 (アニメ・マンガ学部, 研究員)

②活動内容

1) kick off シンポジウム「アニメ中間素材アーカイブの現状と課題」の企画開催

新潟視覚芸術研究所 (RIVNA) 設立に伴い、アニメ業界喫緊の課題である中間素材のアーカイブ化に関するシンポジウム「アニメ中間素材アーカイブの現状と課題」を、産官学各界の専門家を招聘して開催した。

○日時：2022 年 6 月 4 日 (土) 13:30~17:00

○会場：開志専門職大学 紫竹山キャンパス S405・406

(〒 950-0914 新潟県新潟市中央区紫竹山 6-3-5)

○登壇者

椎名ゆかり……文化庁参事官 (芸術文化担当) 付 芸術文化調査官 (メディア芸術担当)

石田美紀……新潟大学 アニメ・アーカイブ研究センター共同代表

山口洋三……福岡アジア美術館 学芸課長

清水英利子, 飯沢洋子……トムス・エンタテインメント ライセンスビジネス部アーカイブ課

進行：木村智哉……本学アニメ・マンガ学部 准教授

○申込者数

- ・一般対面参加：13 名
- ・一般ウェビナー参加：53 名
- ・学生対面参加：57 名
- ・学生ウェビナー参加：7 名

○当日参加者概

- ・対面参加者用アンケート回収枚数：45 枚
- ・ウェビナーアクセス者数：58 人

2) オンライントークイベント「「にいがたマンガ大賞」がマンガ文化へ果たしてきた役割——ウェブ時代における地域発マンガ大賞のありかた」の企画開催

開志専門職大学アニメ・マンガ学部内に設置された新潟視覚芸術研究所（RIVNA）による研究発信活動の一環として、1998年より新潟で開催されてきた「にいがたマンガ大賞」が果たしてきた意義をめぐり、オンラインでのトークイベントを開催した。

同賞の審査に携わるマンガ家や編集者を招いてのトークイベントでは、マンガを描き発表する場が多様化していくウェブ時代において、特定の地方自治体が主催となってマンガ大賞を開催し続けてきたことの意義や、数多くの意欲ある投稿作へ目を通すことの面白さ、描き手の育成をはじめとするマンガ文化のなかで果たしてきたその役割などが議論された。

○日時：2023年3月26日（日） 15：00～17：00

○登壇者

魔夜 峰央（マンガ家、「にいがたマンガ大賞」最終審査員）

石川 兼司（マンガ家、JAM日本アニメ・マンガ専門学校講師、「にいがたマンガ大賞」実行委員会副会長）

豊田 夢太郎（ミキサー編集室編集長、「にいがたマンガ大賞」2次審査員）

belne（マンガ家、「にいがたマンガ大賞」2次審査員、開志専門職大学アニメ・マンガ学部教授）

企画および司会：雑賀 忠宏（マンガ研究者、開志専門職大学アニメ・マンガ学部講師）

○参加者：35名

6. 大学の公開と広報

1) 講演会等

開志コラボセミナー 年間 4 回開催

〈2022 年〉

- ・ 4 月 27 日 (水) 15:00~17:00 第 9 回開志コラボセミナー
「ソーシャルメディアの動向と地域のビジネス促進の可能性」
講師：LINE 株式会社 公共戦略室 室長 福島直央 氏
- ・ 7 月 7 日 (木) 15:00~17:00 第 10 回開志コラボセミナー
「あなたは新潟をどのように活性化しますか？ SDGs・デジタル田園都市国家構想・地域人材育成の観点から」
第 1 部：RESAS で見てみると…ビッグデータが示す新潟の実像
第 2 部：SDGs, DX, 人材育成…皆さんの取り組みを成功に導くには
講師：株式会社日経 BP 総合研究所 プロデューサー 高津尚悟 氏
- ・ 10 月 20 日 (木) 14:00~15:30 第 11 回開志コラボセミナー
「メタバースがもたらす新しい社会の展望」
講師：東京大学名誉教授 東京大学先端科学技術研究センター サービス VR プロジェクトリーダー 廣瀬通孝 氏

〈2023 年〉

- ・ 2 月 13 日 (月) 15:00~17:00 第 12 回開志コラボセミナー×第 3 回アグロフードセミナー
※新潟食料農業大学との共同開催
「新潟におけるスマート農業の取り組み」
第 1 部 招待講演
 - ①スマート農業の現状と課題
講師：新潟県農林水産部 農業総務課 政策室 主査 平山喜健 氏
 - ②スマート農業の現状と方向性
講師：新潟食料農業大学 食料産業学部 食料産業学科 ビジネスコース 斎藤順 氏
- 第 2 部 パネルディスカッション「スマート農業の未来」
モデレーター：開志専門職大学 情報学部 小野山博之 氏
パネリスト：新潟県農林水産部 農業総務課 政策室 主査 平山喜健 氏
新潟食料農業大学 食料産業学部 食料産業学科 ビジネスコース 斎藤順 氏
株式会社ベジ・アビオ 代表取締役 山崎瑤樹 氏
ウォーターセル株式会社 代表取締役社長 齋藤達也 氏

2) 広報活動

(1) 各種広報物の作成

- ・ 大学案内パンフレット ・ 学部案内パンフレット ・ 募集要項 ・ 入試ガイド
- ・ オープンキャンパス案内 DM ・ 出張講義リーフレット 等

(2) ホームページの管理・運営

- ・ リニューアルによる大学情報の充実
- ・ 動画での情報発信
- ・ 入学選考試験概要等の入試情報の発信
- ・ 学部学科情報, 在校生の様子, オープンキャンパス, 入学選考試験等の大学情報の発信
- ・ 教育研究上の目的, 授業科目等の教育情報公開に係る情報発信

- ・大学トピックス，ニュース掲載 年間 167 本
- ・大学公式 SNS 設置および情報発信（Instagram，Facebook，X（旧 Twitter），YouTube，LINE）
- ・SEO（内部・外部）施策の充実

(3) オープンキャンパスの実施

年間 11 回開催

4 月（1 回），5 月（1 回），6 月（1 回），7 月（2 回），8 月（1 回），9 月（1 回），10 月（1 回），11 月（1 回），12 月（1 回），3 月（1 回）

(4) 進路相談会等への参加

- ・会場ガイダンス
（ブース参加）25 会場※オンライン参加 1 会場含む
- ・高校内ガイダンス 74 校※オンライン参加 11 校含む
- ・高校出張講義 7 講座
- ・大学見学の受入れ 10 団体

(5) メディア広報

TVCM

- ・認知拡大 入試告知 CM 11/1（火）～12/16（金）

新聞広告

- 入試告知広告 10/8（土）新潟日報半 5 段
- 入試告知広告 10/22（土）新潟日報半 5 段
- 入試告知広告 11/18（金）日刊工業新聞半 5 段「大学特集」
- 入試告知広告 11/27（日）新潟日報全 15 段「きぼうの息吹」
- 入試告知広告 2/5（日）秋田魁新報，山形新聞，新潟日報
（新潟のみ全 5 段，秋田・山形は半 5 段）

パブリシティ掲載

- ・年間 30 件（TV，新聞，WEB 等）

(6) その他

高校訪問

8 月，9 月，11 月に新潟県内主要校を中心に実施。

中学校上級学校訪問受け入れ

- ・6 月 29 日（水）燕市立吉田中学校 60 名
- ・7 月 7 日（木）燕市立小池中学校 58 名
- ・7 月 12 日（火）五泉市立五泉中学校 30 名
- ・10 月 4 日（火）新潟市立新津第一中学校 47 名
- ・10 月 4 日（火）阿賀野市立水原中学校 5 名
- ・10 月 5 日（水）新潟市立潟東中学校 22 名
- ・11 月 15 日（火）新潟大学付属長岡中学校 16 名

中学校出張講義

- ・10月4日（火）新潟市立関屋中学校 20名対象

小学校の社会科見学受け入れ

- ・7月8日（金）新潟市立紫竹山小学校 8名

国際交流会の実施

- ・6月8日（水）国立高雄餐旅大学（台湾）

7. 研究活動

1) 事業創造学部事業創造学科

氏名：徳田 賢二

1 研究題目

市場流通・消費システム 仕組み・機能, 2. 地域・都市経済の構造, 政策, 制度, 3. イノベーション
地域・企業・産業

2 論文

1. 徳田賢二, 単著, 循環型地場産業の創造～持続可能な地域・産業づくりに向けて, イノベーション力研究, 2023年;第1号:p125~130(書評)(発刊済)

3 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 燕三条地場産業センター「職人紹介展示プロジェクト」の推進

4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載, 毎日新聞, 伊勢志摩スカイライン:「e-POWER ROAD」◀伊勢志摩スカイライン名称変更 日産が命名権購入, 2022・11・20
2. 技術報告, 文部科学省 中卒認定試験問題(国語), 京都先端科学技術大付属中学, 豊島岡中学など多数中高, 多くの中高入試で拙著「値段がわかれば社会がわかる」が試験問題(国語)として採用された。

5 公的機関や職能団体における活動

1. 審議会, 川崎市農業振興計画推進委員会 副座長
2. 研究所, 財団法人川崎市産業振興財団・新産業政策研究所 客員研究員
3. 研究所, 専修大学社会科学研究所 研究参与

6 学会活動

1) 所属学会

1. 行動経済学会
2. 日本経済政策学会
3. 企業と社会フォーラム

氏名：櫻井 繁樹

1. SDGs・地球環境問題, ものづくり産業も含めた地球社会の将来を展望する文理融合・包括的な資源・エネルギー政策

2 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. KYOTO DAIRI PROJECT (KDP) 懇話会における代表世話人としての参画
2. KYOTO DAIRI PROJECT (KDP); 実行委員長として京都 200 年継承事業の推進

3 公的機関・法人や職能団体における活動

1. 政令都市レベル, KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム(京都市主催); KYOTO DAIRI PROJECT 実行委員会委員長
2. 国レベル, 「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ(2025年日本国博覧会協会主催); 京都大学大学院総合生存学館アートイノベーション産学共同講座コアメンバー

4 学会活動

1) 所属学会

1. AusIMM(豪州鉱産物資源学会) Fellow 会員
2. SME(米国資源学会) 正会員
3. 資源・素材学会 正会員
4. 日本ベンチャー学会 正会員

2) 学会・学術団体等の役職

1. 異業種交流研究会・幹事
- 5 学外兼務講師
 1. 京都大学防災研究所アートイノベーション産学共同研究部門特任教授. 2022/4/1-
 2. 京都光華女子大学 客員教授. 2021/4/1-

氏名：近藤 正幸

1 研究題目

グローバルなイノベーション・ネットワーク
起業家教育

2 論文

1. KONDO Masayuki. 単著. Global innovation network from the viewpoint of international patent creation - The case of Japanese companies centered on Thailand. Conference Booklet, ASIALICS 2022. June 29-30, 2022 ; 28-28 (予稿) (発刊済)
2. KONDO Masayuki. 単著. Asia Shift of Global Innovation and Japanese Company Innovation in Asia. Conference Booklet, ASIALICS 2022. June 29-30, 2022 ; 87-87 (予稿) (発刊済)
3. 近藤正幸. 単著. 日本企業のアセアン各国を拠点としたイノベーション・ネットワーク. アジア経営学会第 29 回全国大会予稿集. 2022 年 9 月 10 日 -11 日 ; 15-16 (予稿) (発刊済)
4. 近藤正幸. 単著. 脱日本の起業・イノベーション (試論). 研究・イノベーション学会第 37 回年次学術大会講演要旨集. 2022 年 10 月 29 日 -30 日 ; 60-63 (予稿) (発刊済)
5. 近藤正幸. 単著. 日本企業のインドを拠点とするグローバル・イノベーション・ネットワーク. 研究・イノベーション学会第 37 回年次学術大会講演要旨集. 2022 年 10 月 29 日 -30 日 ; 973-978 (予稿) (発刊済)
6. 近藤正幸. 単著. ドイツ企業のインドを拠点とするグローバル・イノベーション・ネットワーク・タイ拠点との比較を交えて-. 研究・イノベーション学会第 37 回年次学術大会講演要旨集. 2022 年 10 月 29 日 -30 日 ; 979-983 (予稿) (発刊済)
7. 近藤正幸. 単著. グローバル・イノベーション・ネットワークにおける特許創出と意匠創出の相異：日本企業のタイ拠点における事例. 日本知財学会第 20 回年次学術研究発表会予稿集. 2022 年 11 月 2, 5-6 日 ; 243-246 (予稿) (発刊済)
8. KONDO Masayuki. 単著. Thailand-based Global Innovation Networks of Japanese Companies, German Companies and US Companies. Proceedings of IEEM 2022. December 7-10, 2022 ; PDFbook でページ番号無し (4 頁分) (予稿) (発刊済)
9. KONDO Masayuki. 単著. Asia Shift of Global Innovation and Owners of Innovation Results. Abstract Volume, the 17th IFEAMA International Conference. March 28-30, 2023 ; 15 (要旨) (発刊済)

3 学会等研究発表

1. KONDO Masayuki. Global innovation network from the viewpoint of international patent creation - The case of Japanese companies centered on Thailand. ASIALICS 2022. オンライン. June 29-30, 2022. 一般発表 (筆頭)
2. KONDO Masayuki. Asia Shift of Global Innovation and Japanese Company Innovation in Asia. ASIALICS 2022. オンライン. June 29-30, 2022. 一般発表 (筆頭)
3. 近藤正幸. 日本企業のアセアン各国を拠点としたイノベーション・ネットワーク. アジア経営学会第 29 回全国大会. 大阪市. 2022 年 9 月 10 日 -11 日. 一般発表 (筆頭)
4. 近藤正幸. 脱日本の起業・イノベーション (試論). 研究・イノベーション学会第 37 回年次学術大会. オンライン. 2022 年 10 月 29 日 -30 日. 一般発表 (筆頭)
5. 近藤正幸. 日本企業のインドを拠点とするグローバル・イノベーション・ネットワーク. 研究・イノベーション学会第 37 回年次学術大会. オンライン. 2022 年 10 月 29 日 -30 日. 一般発表 (筆頭)

6. 近藤正幸. ドイツ企業のインドを拠点とするグローバル・イノベーション・ネットワーク-タイ拠点との比較を交えて-. 研究・イノベーション学会第 37 回年次学術大会. オンライン. 2022 年 10 月 29 日-30 日. 一般発表 (筆頭)
 7. 近藤正幸. グローバル・イノベーション・ネットワークにおける特許創出と意匠創出の相異: 日本企業のタイ拠点における事例. 日本知財学会第 20 回年次学術研究発表会. オンライン. 2022 年 11 月 2, 5-6 日. 一般発表 (筆頭)
 8. KONDO Masayuki. Globalizing Innovations in their Own Ways in the Age of Uncertainty. ASIALICS 2022. オンライン. June 29-30, 2022. 招待講演
 9. KONDO Masayuki. Thailand-based Global Innovation Networks of Japanese Companies, German Companies and US Companies. IEEM 2022. クアラルンプール. December 7-10, 2022. 一般発表 (筆頭)
 10. KONDO Masayuki. Asia Shift of Global Innovation and Owners of Innovation Results. the 17th IFEAMA International Conference. ハノイ. March 28-30, 2023. 一般発表 (筆頭)
- 4 外部資金受入
〔科研費〕
1. 2020 年度. 基盤研究 (C). 日本企業の現地頭脳活用とイノベーション・ネットワークのアジア戦略. 近藤正幸. 継続
- 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
1. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2022 年 5 月 11 日. アジアの発明者, 日本企業はもっと生かせ. 2022 年 5 月 11 日
 2. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2022 年 10 月 5 日. 海外の頭脳活用に日本の活路. 2022 年 10 月 5 日
 3. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2022 年 10 月 19 日. 経済と科学, 振興は両にらみで. 2022 年 10 月 19 日
 4. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2022 年 11 月 9 日. ASEAN との技術連携の深化を. 2022 年 11 月 9 日
 5. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2022 年 12 月 21 日. imec に学ぶ企業との関係構築. 2022 年 12 月 21 日
 6. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2023 年 1 月 18 日. 国際学会, アジアが世界をひきつける. 2023 年 1 月 18 日
 7. 講演. NBS 第 48 回 21 世紀中小企業勉強会. 世界の頭脳活用競争の中での日本企業の戦略. 2022 年 8 月 31 日
- 6 公的機関や職能団体における活動
1. 国レベル. 一般財団法人海外産業人材育成協会 (AOTS) の令和 3 年度 (繰越)・令和 4 年度 技術協力活用型・新興国市場開拓事業 (インフラ海外展開支援) 審査委員会委員長
- 7 学会活動
- 1) 所属学会
 1. 研究・イノベーション学会
 2. 日本ベンチャー学会
 3. アジア経営学会
 4. 日本知財学会
 - 2) 学会等の役職
 1. 研究・イノベーション学会評議員
 2. Member of Editorial Board, International Journal of Foresight and Innovation Policy
 3. Member of Editorial Board, DLSU Business & Economics Review, De La Salle University

4. Honorary Advisor, Asian Journal of Technology Innovation
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 研究・イノベーション学会. 研究・イノベーション学会第 36 回年次学術大会のセッションの座長. オンライン. 2022 年 10 月 29 日 -30 日
 2. The 17th ASIALICS International Conference. Member of Scientific Committee. オンライン. June 29-30, 2022
 3. IEEM 2022. Co-Chairperson, Technology and Knowledge Management 1. Kuala Lumpur. December 7-10, 2022
- 8 学外兼務講師
 1. 東京電機大学大学院非常勤講師 (総合技術特別講義). 2022 年 10 月 27 日

氏名：常木 正則

- 1 研究題目

大学における国語教育
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 人文学教育学会
 2. 新潟大学教育学部国語国文学会

氏名：西村 伸也

- 1 研究題目

設計方法論：創造的な建築デザインの仕組み
 まちづくり研究：実践的まちづくりの方法とその教育効果
 学校研究：小中学校の COVID-19 等感染症に対抗する空間設計方法の研究
 町家研究：町家の平面構成・配置の特性とダシアイ・ヒアワイの使われ方
 海外居住：カンを持つ中国の民家の空間特性
 海外居住：天井（テンジン）を持つ中国民居の空間構成とその使われ方
 海外居住：ベトナムの伝統的な住居の住まい方とその温熱環境特性
 海外居住：モンベルにある民家の depse の役割と配置計画の特性
- 2 論文
 1. 大屋信孝／棒田恵／西村伸也／寺田慎二. 共著 (コレスポ). 教科教室型 S 中学校における生徒の居場所選択と教室間移動に関する研究. 日本建築学会技術報告集. 2022
 2. 西村伸也／棒田恵／上野陽子／北山達也／山下真／寺田慎二. 共著 (筆頭). 荻ノ島集落における集団形成と環境維持の仕組みに関する研究. 日本建築学会技術報告集. 2022
 3. 許倩／棒田恵／西村伸也／齊藤雅也／呉イェンハン／甲賀達郎／澁谷日菜. 共著 (コレスポ). 小・中学校における COVID-19 への対応に関する調査研究 その 1：国・各地域の感染防止ガイドラインの特徴. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 2022
 4. 甲賀達郎／棒田恵／西村伸也／齊藤雅也／呉イェンハン／澁谷日菜／許倩. 共著 (コレスポ). 中学校における COVID-19 への対応に関する調査研究 その 2：新潟県と札幌市の小・中学校の対応行動と課題. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 2022
 5. 澁谷日菜／棒田恵／西村伸也／齊藤雅也／呉イェンハン／甲賀達郎／許倩. 共著 (コレスポ). 小・中学校における COVID-19 への対応に関する調査研究 その 3：新潟県の授業と普通教室に関する課題について. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 2022
 6. 小林勉／棒田恵／西村伸也／宮田桂／川上陸. 共著 (コレスポ以外). 北陸地方の廻船ルート沿いの町家に関する研究 軒先廻りと屋根の形状比較. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 2022

7. Wu Yanhan/Satoshi Boda/Shinya Nishimura. 共著 (コレスポ以外). A study on characteristics of Tianjing of rural dwellings in Pinghe, Fujian, China The role of the spacial composition in Tianjing. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 2022
 8. 川上陸/棒田恵/宮田桂/小林勉/西村伸也. 共著 (コレスポ以外). 三国町町家の外観特性に関する研究～屋根形状, 軒先廻り, 下屋に着目して～. 2022
- 3 外部資金受入
〔科研費〕
1. 2021. 基盤研究 (C). 小中学校の新型コロナウイルス等感染症を防ぐ為に環境・行動特性から捉える建築計画研究. 研究代表者. 継続
 2. 2017. 基盤研究 (B). 蒸暑地の住居での半屋外空間が持つ社会的持続性と環境的持続性を両立させる仕組の解明. 研究分担者. 継続
- 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践
1. ポケットパーク管理実行委員会の立ち上げと運営. ポケットパークの維持管理・計画と施工 - 三条市
 2. 栃尾雁木のまちづくり, 環境形成とまちづくり (建築家・市民・大学・建設業) - 長岡市
 3. 新潟市: 信濃川沿岸の高度規制
 4. 朱鷺メッセのライトアップ
 5. 新潟市設計事務所: 信濃川沿岸を敷地に持つ集合住宅計画
 6. 新潟市: 新潟 2km の広告規制
 7. 新潟市西区の I 邸建設計画
 8. 新潟市古町 5 番町の再開発計画・新潟市商店街協働組合
- 5 公的機関や職能団体における活動
1. 県レベル. 新潟建築賞審査委員長
 2. 政令都市レベル. 新潟市景観審議会委員長
 3. 市町村レベル. 柏崎市都市景観審議会委員長
 4. 市町村レベル. 村上市都市計画審議会委員長
 5. 法人や職能団体. 朱鷺メッセ施設管理委員会委員長
 6. 法人や職能団体. 新潟県建築設計事務所協会顧問
- 6 学会活動
- 1) 所属学会
 1. 日本建築学会
 2. MERA Men-Environment Research Association
 - 2) 学会等の役職
 1. 日本建築学会・建築評価委員会委員
 2. 日本建築学会・建築審査部門委員
 3. 研究計画調書アドバイザー・MaST アドバイザー (新潟大学)

氏名: 原岡 和生

1 学内部活動等の実績

1. 古津瑛陸. Japan Business Model Competition (第 9 回). 全国大会. 入賞. 3 位. オンライン. 5 月 14 日
2. 水落 優宝 ほか. 第 14 回販促コンペ. 全国大会. 出場. 二次予選通過. 紙上発表. 10 月号

2 研究題目

ランキング学 (社会におけるランキングの使い方・使われ方に関する学際的研究)
音楽情報処理
企業戦略・ビジネスモデル・組織論・ビジネスイノベーション

アントレプレナー実践

3 論文

1. 原岡和生. 単著. ビジネスモデル差異の定量的表現に関する研究. 開発工学. 2022; 42 (発刊予定)
2. 古津瑛陸, 大平涼介, 原岡和生. 共著 (コレスポ). フードシェアリングサービスの挑戦. 開発工学. 2022; 42 (原著論文) (発刊予定)

4 学会等研究発表

1. 松澤孝紀, 東城歩, 土岐智賀子, 原岡和生. コーオプ型教育プログラムにおける実践と課題. 京大大学第 28 回大学教育研究フォーラム. オンライン. 2022/3/17. 一般発表 (口述・ポスター)
2. 原岡和生. ビジネスモデル差異の定量表現に関する研究. 第五回研究発表大会. 紙上研究会. 2022/11/1. 一般発表 (筆頭)

5 企業経営等の実践

1. ミクロマクロリンク株式会社. 音楽アプリ特許, 書籍出版
2. ミクロマクロリンク株式会社. 楽譜出版, 音楽教室運営

6 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. 新潟日報. 地元密着が時代の要請 (新年の経済記事特集として). 2022 年 1 月 3 日
2. 作品発表. 楽譜出版 (衛藤公雄全作品集の一端として). 爽やかなる調べ JASRAC2200938-201. 2022 年 2 月 2 日
3. 作品発表. 楽譜出版 (衛藤公雄全作品集の一端として). 湧きいづる力 JASRAC2200939-201. 2022 年 2 月 2 日
4. 作品発表. 楽譜出版 (衛藤公雄全作品集の一端として). 潮流 JASRAC2200940-201. 2022 年 2 月 2 日
5. メディア掲載. 販促会議. 授業で学生たちが挑戦! 専門職大学でなぜ販促コンペに取り組むのか. 2022 年 9 月号
6. メディア掲載. アルジャジーラ衛星放送. 日本の経済状況のコメント. 2022 年 8 月 (現在は Youtube 公開)
7. 講演. 神戸市立看護大学教職員組合主催講演会 2022. あなたの大学, 何色? ~共に作っていく組織の存り方を求めて~. 2022 年 8 月 25 日

7 学会活動

1) 所属学会

1. 一般社団法人日本開発工学会
2. 一般社団法人俯瞰工学研究所

2) 学術集会の主催

1. 日本開発工学会. 第 18 回ビジネスイノベーション研究会. 副主査・実行委員長. オンライン. 2022/10/4

3) 学会等の役職

1. 一般社団法人日本開発工学会, 理事 兼 ビジネスイノベーション研究会副主査
2. 一般社団法人俯瞰工学研究所 主任研究員

氏名: 古屋 光俊

1 研究題目

アントレプレナーの心理的特性, 行動パターン, 企業業績に関する研究

アントレプレナーの実践的養成・育成方法に関する研究

成長ベンチャー企業における理念の役割と活用に関する研究

組織マネジメント診断法, エンゲージメント, 社内コミュニケーションに関する研究

2 報告書

1. 古屋光俊. 受託研究 (JN システムパートナーズ株式会社). タウンホール会議を通じた組織課題抽出と課題の構造化研究. 研究結果報告書. 2022 年 11 月～2023 年 1 月. 2023 年 1 月. 単著
2. 古屋光俊. 受託研究 (株式会社 PE-BANK). ミックス法による組織マネジメント診断を使った組織風土分析の研究. 研究結果報告書. 2022 年 12 月～2023 年 3 月. 2023 年 3 月. 単著
3. 古屋光俊. 受託研究 (あいおいニッセイ同和損害保険株式会社). 社会課題を解決する新規事業企画の実証実験 (PoC) に基づく事業性研究. 研究結果報告書. 2023 年 2 月～2023 年 3 月. 2023 年 3 月. 単著
- 3 学会等研究発表
 1. 古屋光俊, 山本純一, 東出浩教. スマホ感謝アプリによる社員の気持ちの変化—複数の組織における感謝の送受信による社員の心理の変化の探索的比較分析—. 日本ベンチャー学会. 東京. 2022/11/20. 一般発表 (筆頭)
- 4 企業経営等の実践
 1. RUFT 株式会社. 代表取締役としてコンサルティング会社を経営, これまで実務で利用されていないミックス法 (定量・定性データの混合分析) を活用した新たな組織分析手法を創出
 2. 株式会社クライス. 取締役副社長として IT 企業を共同経営, 三菱系企業の新規直接取引口座を開設, 同社の DX (ETL ツールによるシステム化) 支援ビジネスにチーム単位の人員で対応
- 5 公的機関や職能団体における活動
 1. 県レベル. 新潟ベンチャー協会 アドバイザー
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 日本ベンチャー学会
- 7 学外兼務講師
 1. 九州大学 大学院 客員教授 (産業連携マネジメント). 2022 年 12 月～2023 年 3 月

氏名：増田 達夫

- 1 研究題目
 1. 気候変動対策に資する企業経営の在り方
 2. 気候変動対策に資する地域経営の在り方
- 2 企業経営等の実践
 1. エス・オー・シー株式会社. グリーンエネルギー導入と CDP への参加を実現
 2. フェアコートキャピタル社. 会長として英国の CEO に経営上のアドバイス
 3. エリオンハウス社. 戦略委員としてシンガポールの CEO に経営上のアドバイス
- 3 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
 1. 講演. 北四国衛生紙綿協同組合の秋季大会. エネルギーを取り巻く国際環境と価格を決める要因. 2022/11/25
- 4 公的機関や職能団体における活動
 1. 法人や職能団体. (一財) アジア太平洋エネルギー研究センター (APEREC), 評議員
 2. 法人や職能団体. (一社) 社会の中で持続するガストロミ—日本・欧州フォーラム (SGS), ワーキンググループ
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. The World Federation of Scientists (WFS)
 2. The World Economic Forum (WEF)
 - 2) 学会等の役職
 1. The World Federation of Scientists (WFS), Permanent Monitoring Panel Member on Energy

2. The World Federation of Scientists (WFS), Permanent Monitoring Panel Member on Catastrophic Risk
3. The World Economic Forum (WEF), Expert Network Member

6 学外兼務講師

1. 国際教養大学特任教授 (International Dynamics). 2022.4-2023.3

氏名：向 正道

1 研究題目

- IT・情報システムと競争力に関する研究
- 企業における IT の普及に関する研究
- 情報システム構築の成功要因に関する研究

2 著書

1. 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS). 共著. 企業 IT 動向調査 2023. 書籍・教科書・問題集の編集・監修. 1. 東京. 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS). 2023/3/31. 1-204 (担当：101-123)

3 論文

1. 向 正道. 単著. 一般社団法人経営情報学会 2022 年全国研究発表大会予告 大会テーマ：VUCA 時代のアントレプレナーシップ. 経営情報学会誌. 2022; Vol. 31 No. 2: 107-109 (総説・解説) (発刊済)
2. 栗山 敏, 向 正道. 共著 (コレスポ). 業務アプリケーション製品が広く企業に導入が進む要因—「BAP 適応への壁」を崩す技術革新が急速な製品市場の拡大をもたらす—. ビジネス・マネジメント研究. 2023; 第 19 号: 1-16 (原著論文) (発刊済)

4 学会等研究発表

1. 栗山 敏, 向 正道. 近年の新たな業務アプリケーション製品が広く企業に導入が進む要因—「BAP 適応への壁」を崩す技術革新が急速な製品市場の拡大をもたらす—. 日本ビジネス・マネジメント学会. オンライン. 2023/2/25. 一般発表 (筆頭以外)

5 企業経営等の実践

1. 日鉄ソリューションズ株式会社. 技術系社員能力評価の制度・仕組みの構築と各技術系職種に対する育成施策検討と検討部会のとりのまとめ

6 公的機関や職能団体における活動

1. 法人や職能団体. 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) 企業 IT 動向調査 2023 副委員長

7 学会活動

1) 所属学会

1. 経営情報学会
2. 組織学会
3. 日本経営学会
4. 日本経営システム学会
5. 日本マーケティング学会
6. 日本ビジネス・マネジメント学会

2) 学術集会の主催

1. 経営情報学会 2022 年全国研究発表大会 実行委員長. 新潟 (開志専門職大学)
2. 経営情報学会. IT 資産価値研究部会. 主査. 東京・新潟オンライン. 2022 年 5/23, 6/28, 7/26, 10/18, 12/7, 2023 年 2/15, 3/29
3. 経営情報学会. 中小企業の IT 経営研究部会. なし. 東京・オンライン. 2023/3/27

3) 学会等でのその他の活動

1. 経営情報学会. 報告要旨査読. 新潟 (開志専門職大学). 2022年11月12・13日.
- 8 学外兼務講師

1. 立命館大学 OIC 総合研究機構 客員研究員 プロジェクトリスクマネジメント研究. 2022.4~2023.3

氏名：石川 秀才

1 研究題目

起業教育における不動産法学の視点での実践的教育
空き家問題について (空き家の地域的活用についての研究)
いわゆる事故物件について (不動産法問題点についての研究)
所有者不明土地の問題について (地方創生との関連についての研究)

2 著書

1. 石川秀才. 単著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「他人が所有するライフラインの設備を使用できるか」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
2. 石川秀才. 単著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
3. 石川秀才. 単著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
4. 石川秀才. 単著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「耐震診断・改修に対する補助制度にはどのようなものがあるか」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
5. 石川秀才. 単著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「共有の私道の工事を行うにあたって, 所在不明な共有者や賛否を明らかにしない共有者がいる場合はどうするか」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
6. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「施工体制台帳の作成に当たりどのようなことに留意すべきか」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
7. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「住宅瑕疵担保履行法における, 資力確保の方法とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
8. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「建築工事監理業務委託共通仕様書とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
9. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「アスベストを含有する建築物の解体に伴う発注者の責任とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
10. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「住宅性能表示・保証制度とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
11. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「不当に低い請負代金とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
12. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「特定住宅瑕疵担保責任とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
13. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「不正行為を行った建設業者に対する監督処分は」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
14. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「大規模建築物等の耐震診断義務とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
15. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「建設工事紛争審査会への紛争処理の申請はどのようにするのか」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
16. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「請負契約をめぐるトラブルの相談窓口としての建設業窓口としての建設業取引適正化センターとは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
17. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「「建設業フォローアップダイヤル」とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022

18. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「相手が錯誤により日照権補償和解契約を締結した場合爾後に現出した被害により和解は取消すべき行為となるか」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
 19. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「当社が請け負った建物にアスベストを使用していた場合, どのように対処しなければならないか」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
 20. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「建築物の解体等に伴うアスベスト等の有害物質の適切な取扱いとは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
 21. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「下請債権保全支援事業とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
 22. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「駆け込みホットラインとは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
 23. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「「建設キャリアアップシステム」とは」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
 24. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「工事が完了して検査済証が交付された建築確認及び裁決の取消しは可能か」. 東京都. 新日本法規出版. 2022
- 3 学会等研究発表
1. 石川秀才. 起業教育における不動産法学の視点での実践的教育 (空き家問題を題材にして). 一般社団法人 日本開発工学会 (第 18 回ビジネス・イノベーション研究会). オンライン. 2022.10.4. 口頭発表
- 4 企業経営等の実践
1. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 人材サービス部. 資格支援・宅建講座 講師
 2. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 住宅営業部. 資格支援・宅建講座 講師
- 5 産官学民連携, 地域連携活動の実践
1. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 人材サービス部 社員研修
 2. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 住宅営業部 社員研修
- 6 学会活動
- 1) 所属学会
 1. 日本政治法律学会
 2. 日本不動産学会
 3. 日本法政学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 刑事法研究会. 日本大学. 東京都. 2023.3.18
 - 3) 学会等の役職
 1. 日本政治法律学会 (日本現代法律学会) 理事
 - 4) 学会等でのその他の活動
 1. 日本法政学会. 東京都. 2022.11.26
- 7 学外兼務講師
1. 日本大学理工学部まちづくり工学科 (宅地建物学). 2022.4~2022.9
 2. 東京経済大学 (宅地建物取引士資格試験講座). 2022.5~2022.9
 3. 中央大学 (宅地建物取引士資格試験講座). 2022.5~2022.9

氏名: 小川 元也

1 研究題目

グローバルマーケティング, コンテンツビジネス

子供たちのブランド選択に関する研究 (キャラクター選好における態度変容の分析)

2 学会活動

1) 所属学会

1. 日本マーケティング学会
2. 日本ベンチャー学会

氏名：福田 稔

1 学内部活動等の実績

1. 古津 瑛陸 (Lucus)新潟ベンチャーサミット 2022. 地方大会 (上記以外). 入賞. KDDI 賞. 新潟市 / イタリア軒. 2022/11/30

2 研究題目

専門職大学における実践的な学修を基盤とした体系的な産業人材育成プログラムの開発
専門職大学が目指すプロフェッショナル人材の育成について
専門職大学が育成するプロフェッショナル人材 - ディプロマポリシーの比較分析から -
第三段階におけるジョブ型専門能力育成の展開に関する国際比較研究

3 論文

1. 福田稔. 単著. 専門職大学の学生向け創業支援について. 開発工学. 2022 ; vol.42 : 43-46 (原著論文)
(発刊済)

4 学会等研究発表

1. 福田稔. 専門職大学の臨地実務実習におけるキャリア教育的側面と創業支援センターの機能. 地域活性化学会 第 15 回研究大会. 横浜市. 2022/9/11. 一般発表 (筆頭)
2. 福田稔. 手探りの産学連携構築. 第 14 回 産学官民コミュニティ全国大会. 宮崎市. 2022/11/12. 一般発表 (筆頭)
3. 福田稔. 専門職大学の臨地実務実習におけるアントレプレナーシップ教育プログラムの開発. 日本ベンチャー学会 第 25 回全国大会. 東京都. 2022/11/19. 一般発表 (筆頭)

5 企業経営等の実践

1. 一般社団法人 日本イノベーションマネジャー協会. 代表理事としてイノベーションマネジャーの育成, 活躍環境の整備などを通して, 地域や組織の活性化を推進することにより, 社会を構成する人々の豊かさ, 幸福を増進する.
2. 公益財団法人 ひろしま産業振興機構. 創業サポーターとして起業家の創業前後の課題を解決するほか, 起業に関する講演, UI ターン創業支援を行っている.
3. 広島県事業承継・引継ぎセンター. コーディネーターとして「産業競争力強化法」に基づき企業・経営者に事業承継に関する様々な課題を解決へと導くための直接相談, 買い手候補との面談・登録を行っている.

6 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 産官学連携プラットフォーム KNS (関西ネットワークシステム) 関東支部世話人として, 連携の基となる信頼の土壌づくりのための勉強会, 発表会などを企画実施している.
2. 高田馬場地域の産学連携を振興するため, 東京三協信用金庫, 東京富士大学, 新宿区役所などと協力して, 地域勉強会 Baba-Lore (ババロア) を世話人として開催している.
3. イノベーションを人々が豊かに幸せになるための手法の一つとしてとらえ, イノベーション創発やその環境づくりに関するディスカッションの場「茶泡会」を主宰して, 主にオンラインで勉強会を開催している.

7 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. 豊橋市 豊橋商工信用組合 ロッカク塾. イノベーション創発 中小企業のイノベーションを解説・相談対応. 2022/4/20
2. 講演. 東京都 広島県地域力創造課. 令和 4 年度ひろしま広域フェアでの起業相談. 2022/6/11

3. 講演. (一社)日本イノベーションマネジャー協会 茶泡会. リスキリング&リベラルアートから考えるほか3回. 2022/11/14, 2023/1/7, 2/17
4. 講演. 広島市 ひろしま産業振興機構. 令和4年度第3回創業ミニセミナー「創業時に押さえておくべき事業計画書のポイント」. 2022/11/21
- 8 公的機関や職能団体における活動
 1. 県レベル. (公財)ひろしま産業振興機構 成長支援コーディネーター会議
 2. 国レベル. 中国経済連合会 人材育成専門部会
- 9 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 地域活性学会
 2. 日本ベンチャー学会
 3. 日本開発工学会
 4. 日本教育工学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 関西ネットワークシステム (KNS). イノベーション経営研究会. 座長. 新潟市. 2022/12/11

氏名：星 和樹

- 1 研究題目
 - 組織の戦略形成プロセスに関する研究
 - 高信頼性組織のマネジメントに関する研究
 - 組織におけるストーリーテリングに関する研究
- 2 著書
 1. 星和樹. 分担. 高橋正泰編著『経営組織論のフロンティア』[第12章 経営戦略のコミュニティ・ベースト・アプローチ]担当. 書籍・教科書・問題集(解答集). 1版. 東京. 文眞堂. 2022/10/31. 217-230
 2. 星和樹. 分担. 経営戦略学会編『キーワードからみる経営戦略ハンドブック』[グローバル化][参入コスト][多角化戦略][模倣困難]担当. 書籍・教科書・問題集(解答集). 初版. 東京. 同文館出版. 2023/3/20. 72, 79, 105, 123
- 3 外部資金受入
 - [科研費]
 1. 2020年度. 基盤研究B. これからの組織に求められる危機への対応とレジリエンス：高信頼性組織論の視点から. 研究分担者. 継続
- 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践
 1. 地域連携活動：女池小学校6年生対象「総合的学習」キャリア教育講師(2022年10月28日)
- 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
 1. 講演. 新津第一中学校・水原中学校 上級学校訪問学習講座. 「日常生活からビジネス思考を身につけよう！：将来のための第一歩」. 2022/10/4
 2. 講演. 潟東中学校 上級学校訪問学習講座. 「日常生活からビジネス思考を身につけよう！：将来のための第一歩」. 2022/10/5
 3. 講演. 新潟大学附属長岡中学校 上級学校訪問学習講座. 「日常生活からビジネス思考を身につけよう！：将来のための第一歩」. 2022/11/15
 4. 講演. 新潟市立高志中等教育学校 PTA 事業土曜活用講座. 「日常生活からビジネス思考を身につけよう！：将来のための第一歩」. 2022/12/17
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会

1. 日本経営学会
 2. 組織学会
 3. 経営情報学会
 4. 日本経営システム学会
 5. 経営行動研究学会
 6. 日本情報経営学会
 7. 産業・組織心理学会
 8. 経営戦略学会
 9. 日本経営品質学会
- 2) 学術集会の主催
1. 経営情報学会. 2022 年全国研究発表大会. 実行委員・プログラム委員. 新潟 (開志専門職大学). 2022 年 11 月 12 日・13 日
- 3) 学会等でのその他の活動
1. 経営情報学会. 報告要旨査読. 新潟 (開志専門職大学). 2022 年 11 月 12 日・13 日
 2. 経営情報学会. 学会発表座長. 新潟 (開志専門職大学). 2022 年 11 月 13 日

氏名：明珍 儀隆

1 研究題目

1. 制度論に基づく管理会計チェンジ研究
2. 制度的複雑性および制度ロジックに基づく管理会計実務との関係性
3. IT リテラシー教育の実践

2 受賞・表彰

1. 日本開発工学会奨励賞, 管理会計システム導入における制度理論に基づく組織コンフリクトの研究: 管理会計チェンジにおける分析フレームワークの検討. 2023/2/8

3 論文

1. 明珍儀隆. 単著. 管理会計システム導入における制度理論に基づく組織コンフリクトの研究. 日本開発工学会 第 5 回研究発表大会予稿集. Sep-22; 22-26 (Proceedings) (発刊済)
2. 明珍儀隆. 単著. 管理会計チェンジにおける組織内外の影響を考慮した制度化プロセスの研究: 金融サービス業 A 社の事例研究. 国際戦略経営研究学会 2022 年度年次大会報告要旨集 (Proceedings). Oct-22; 45-48 (Proceedings) (発刊済)
3. 明珍儀隆. 単著. 管理会計チェンジにおける制度的複雑性: 先行研究レビューに基づいて. 明星大学経営学研究紀要. Oct-22; 19: 45-71 (原著論文) (発刊済)
4. 明珍儀隆. 単著. 管理会計システム導入における制度理論に基づく組織コンフリクトの研究: 管理会計チェンジにおける分析フレームワークの検討. 開発工学. Oct-22; 42 (1): 27-30 (原著論文) (発刊済)
5. 明珍儀隆. 単著. 管理会計チェンジにおける実践主導型制度的複雑性分析モデルの検討. 明星大学経営学研究紀要. Mar-23; 20: 27-30 (原著論文) (発刊済)

4 学会等研究発表

1. 明珍儀隆. 管理会計チェンジにおける組織内外の影響を考慮した制度化プロセスの研究: 金融サービス業 A の事例研究. 国際戦略経営研究学会, 2022 年度年次大会. オンライン開催. 2022/10/1. 一般発表 (筆頭)
2. 明珍儀隆. 管理会計システム導入における制度化フレームワークに基づく組織変化の研究. 日本開発工学会, 第 18 回ビジネス・イノベーション研究会. オンライン開催. 2022/10/4. 一般発表 (筆頭)

5 外部資金受入

[科研費]

1. 2022 年度. 研究活動スタート支援. 制度論を理論基盤とする管理会計チェンジにおけるコンフリク

トの研究. 明珍儀隆. 新規

6 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. TIS・淑徳大学産学共同研究会の開催による学生への IT リテラシーの醸成活動
2. 立教大学学生向け研究会開催による IT リテラシー醸成活動

7 学会活動

1) 所属学会

1. 国際戦略経営研究学会
2. 日本原価計算研究学会
3. 日本組織会計学会
4. 日本管理会計学会
5. 経営情報学会
6. 日本開発工学会
7. 日本ベンチャー学会

2) 学術集会の主催

1. 経営情報学会. 2022 年全国研究発表大会 会実行・プログラム委員会. 新潟 (開志専門職大学)

3) 学会等でのその他の活動

1. 経営情報学会. 報告要旨査読. 新潟 (開志専門職大学) 2022 年 11 月 12 日・13 日.
2. 経営情報学会. 学会発表座長. 新潟 (開志専門職大学) 2022 年 11 月 12 日.

8 学外兼務講師

1. 明星大学経営学部 (意思決定会計). 2022/04-2023/03

氏名: 渡辺 康英

1 学内部活動等の実績

1. アプリでの農業ができるサービス. 開志専門職大学ビジネスプランコンテスト 2022. 地方大会. 出場. 開志専門職大学. 2022 年 6 月 25 日
2. e-sports を用いた地域活性事業. 開志専門職大学ビジネスプランコンテスト 2022. 地方大会. 入賞. 会長賞. 開志専門職大学. 2022 年 6 月 25 日
3. 規格外野菜に新たな価値を. 開志専門職大学ビジネスプランコンテスト 2022. 地方大会. 出場. 開志専門職大学. 2022 年 6 月 25 日
4. ビッグスワンまでの道を楽しく楽に. 開志専門職大学ビジネスプランコンテスト 2022. 地方大会. 出場. 開志専門職大学. 2022 年 6 月 25 日
5. 子供食堂と大人食堂をつなげるプロジェクト. 開志専門職大学ビジネスプランコンテスト 2022. 地方大会. 出場. 開志専門職大学. 2022 年 6 月 25 日

2 研究題目

就労継続支援 A 型, B 型事業所の販路拡大に関する研究
ソーシャルデザインの第三者課金モデルに関する研究

3 学会等研究発表

1. 渡辺康英. 新潟県内の就労継続支援事業所に対するコロナの影響把握と「置き菓子」事業に向けた意向調査. 地域活性学会. 横浜市. 2022/9/10. 一般発表 (筆頭以外)

4 外部資金受入

[民間グラント, 受託研究等]

1. 2022 年度. 公益財団法人古泉財団研究費助成金. 食品製造販売事業, 飲食事業を行う就労継続支援 A 型, B 型事業所のコロナ禍の影響把握と, 販路拡大に向けた「置き菓子」事業のテスト販売の効果把握. 渡辺康英. 新規

5 企業経営等の実践

1. 新潟県社会福祉協議会. 障害者の就労支援の活動として, 就労継続支援 A 型・B 型事業所が製造する菓子類の販路拡大に向けた「置き菓子事業」に取り組む.
 2. 新潟県社会福祉協議会, 県内の就労継続支援 A 型・B 型事業所 5 団体. 就労継続支援 A 型・B 型事業所の菓子, パン, 雑貨等の売上向上に向けて, ポップアップストアを企画. 新潟駅南口 CoCoLo 南館の 1 階に位置するの交流施設 (MOYORE) のレンタルスペースを借り, 10 月 7 日, 8 日の 2 日間, 10 時から 18 時までポップアップストア開催. 関連経費は公益財団法人古泉財団研究費助成金を活用した.
- 6 公的機関や職能団体における活動
1. 県レベル. 新潟県社会福祉協議会 アドバイザー
- 7 学会活動
- 1) 所属学会
 1. 地域活性学会

氏名：土岐 智賀子

- 1 研究題目
 - イタリアの社会政策, 起業支援
 - イタリアの社会的企業
 - キャリア形成研究
- 2 学会等研究発表
 1. 土岐智賀子. イタリアの社会的企業：動向と課題. 日本開発工学会 第 5 回研究発表大会. 誌上. 2022/9/1. 一般発表 (筆頭)
 2. 土岐智賀子. 「若者の移行期支援としての起業支援：EU・イタリアの NEET 問題と起業支援の動向から」. 日本開発工学会 第 6 回研究発表大会. 東京. 2023/6/24. 一般発表 (筆頭)
- 3 外部資金受入
 - [科研費]
 - 1. 2019 基盤研究 (B). 「EU とその加盟国における多様な社会的包摂政策の展開とシティズンシップに関する研究」. 研究分担者. 継続
 - 2. 2022 基盤研究 (C). 「大学における社会課題解決型地域公共人材の教育・職能プログラム開発の再構築」. 研究分担者. 継続
- 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践
 1. 鳥屋野潟清掃活動に協力した学生有志グループの支援・指導
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 日本社会学会
 2. 日本キャリア教育学会
 3. 日本高等教育学会
 4. イタリア学会
 5. 日本インターンシップ学会
 6. 日本開発工学会
- 6 学外兼務講師
 1. 明星大学 通信教育学部 「生涯学習論 A」「生涯学習論 B」「生涯学習論 1」「生涯学習論 2」. 通年 2022 年 4 月 1 日～現在に至る
 2. 明星大学 通信教育学部 「社会教育課題研究 1」「社会教育課題研究 2」. 2022 年 8 月 16 日～18 日 集中講義

氏名：松澤 孝紀

1 研究題目

個人投資家行動
金融機関経営

2 論文

1. 松澤孝紀. 単著. 預かり資産業務を振り返って. 季刊個人金融. 2022年; 2022年夏号: 97-108 (原著論文) (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 松澤孝紀. 銀行の業務範囲拡大と手数料ビジネス. 金融プラスフォーラム第3回会員研究発表会. オンライン. 2022/7/3. 一般発表 (筆頭)
2. 松澤孝紀. 銀行の預かり資産業務を振り返って—銀行法改正を受けて—. 日本開発工学会第18回ビジネスイノベーション研究会. オンライン. 2022/10/4. 一般発表 (筆頭)

4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 上級学校体験学習. 燕市立小池中学校. 「金融って, なに?」. 2022/7/7
2. 上級学校体験学習. 新潟市立関谷中学校. 「金融って, なに?」. 2022/10/4
3. 出張講義. 新潟青陵高等学校. 「金融って, なに?」. 2022/10/13
4. 出張講義. 新発田中央高等学校. 「金融って, なに?」. 2022/11/15
5. 出張講義. 新発田商業高等学校. 「経済学入門—モノの交換で豊かになろう—」「金融って, なに?」. 2022/12/6
6. メンター. 龍谷大学経営学部井手ゼミナール. 日経ストックリーグエントリーへ向けたメンター会. 2023/3/6

5 学会活動

1) 所属学会

1. 日本金融学会
2. 日本ファイナンス学会
3. 証券経済学会
4. 日本会計研究学会

2) 学術集会の主催

1. 金融プラスフォーラム. 第3回会員研究発表会. オンラインホスト (Zoom). オンライン. 2022/7/3
2. 金融プラスフォーラム. 第15回研究報告会. オンラインホスト (Webex). オンライン. 2022/10/2
3. 金融プラスフォーラム. 第16回研究報告会. オンラインホスト (Zoom). オンライン. 2022/12/11
4. 金融プラスフォーラム. 第17回研究報告会. オンラインホスト (Zoom). オンライン. 2023/3/12

3) 学会等の役職

1. 金融プラスフォーラム (会長: 唐木宏一事業創造大学院大学教授) 幹事

6 学外兼務講師

1. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (金融入門). 2022.4 より 2022.9
2. 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 (観光財務論). 2022.4 より 2022.9
3. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (経営財務論). 2022.4 より 2022.9
4. 中央学院大学商学部 (株式会社と証券市場). 2022.4 より 2022.9
5. 中央学院大学商学部 (近代金融論). 2022.4 より 2022.9
6. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (グローバル化と金融). 2022.10 より 2023.3
7. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (ファイナンシャル・プランニング). 2022.10 より 2023.3
8. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (証券論). 2022.10 より 2023.3
9. 中央学院大学商学部 (経済と株価). 2022.10 より 2023.3
10. 中央学院大学商学部 (現代金融論). 2022.10 より 2023.3

氏名：東城 歩

1 研究題目

大学・大学研究室を中心としたアントレプレナーシップ・エコシステム（スタートアップ・エコシステム）創出の研究

アントレプレナーシップの育成を志向した会計教育に関する理論的研究

中小企業が構築する価値共創ネットワーク構築について

2 産官学民連携、地域連携活動の実践

1. 新潟南商工振興会：とやの潟一斉清掃活動

3 学会活動

1) 所属学会

1. 中小企業会計学会
2. 日本ベンチャー学会
3. 日本簿記学会
4. 日本マネジメント学会
5. 地域経営学会

4 学外兼務講師

1. 新潟大学経済科学部「検定商業簿記 2 級 I, II」. 2022 年 4 月～8 月
2. 新潟大学経済科学部「検定商業簿記 2 級 II」. 2022 年 10 月～2023 年 2 月
3. 新潟食料農業大学「簿記・会計学」. 2022 年 9 月～2023 年 2 月

氏名：市川 昌史

1 研究題目

観光地経営のあり方に関する研究

観光地経営の持続可能な運営モデルに関する研究

DMO と既存観光推進組織の関係性に関する研究

2 受賞・表彰

1. 日本開発工学会第五回研究発表大会奨励賞. 2022 年 10 月 14 日

3 論文

1. 市川昌史. 単著. 日本版 DMO のあり方に関する考察－海外における DMO の概念を通じて－. 日本開発工学会「第 5 回研究発表大会予稿集」. 2022；令和 4 年 9 月 1 日号：71-74（原著論文）（発刊済）

4 学会等研究発表

1. 市川昌史. 市町村観光協会の現状と DMO の関係性に関する考察～新潟県内の単一市町村の事例を通じて～. 一般社団法人 日本開発工学会「第 18 回ビジネスイノベーション研究会」. オンライン. 2022/10/4. 一般発表（筆頭）

5 産官学民連携、地域連携活動の実践

1. (株)クボタ製鉄所の古民家再生事業への企画・助言
2. 豪州グリフィス大学との大学間交流会の企画と推進

6 学会活動

1) 所属学会

1. 日本観光研究学会
2. 日本国際観光学会
3. 日本開発工学会

2) 情報学部情報学科

氏名：三上 喜貴

1 研究題目

情報オントロジー

事故情報解析

2 受賞・表彰

1. 経営情報学会大会功労賞, 2023年11月11日
2. 特許7211600号 情報分析システム, 2023年1月16日(登録)
3. 特許出願, 特願2023-001195 分析装置および災害対処方法, 2023年1月6日(出願)

3 論文

1. Xiaodong Feng, Kun Zhang, Fang Jiang, Yoshiki Mikami. 共著. Construction of Injury Process from Japanese consumer product narrative injury data using an ontology-based method. International Journal of Injury Control and Safety Promotion. 2023; 30 (4) : 582-592 (論文) (発刊済)

4 学会等研究発表

1. 三上喜貴. パネル討論参加「アントレプレナーシップ 新潟からの発信」. 経営情報学会 2022年 全国研究発表大会. 新潟市. 2022年11月12日(土), 13日(日). その他

5 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. にいがたデジタルコンテンツ推進協議会理事としての活動

6 公的機関や職能団体における活動

1. 国. 産業構造審議会製品安全小委員会 委員長
2. 国. 消費生活審議会製品安全部会 部会長
3. 国. 経済産業省製品安全取組優良企業表彰 審査委員長
4. 国. 製品安全協会 評議員

7 学会活動

1) 所属学会

1. 日本 MOT 学会
2. 情報処理学会

2) 学術集会の主催

1. 経営情報学会. 2022年 全国研究発表大会. 大会委員長. 新潟市(本学紫竹山キャンパス). 2022年11月12 - 13日

3) 学会等の役職

1. 日本 MOT 学会 顧問, 編集委員, 総務委員

氏名：磯西 徹明

1 学内部活動等の実績

1. 写真・動画サークル phos. 新潟県文化祭「公募動画」: 開志専門職大学 BONDY&phos. 地方大会. 入賞. 掲載動画として選出. 新潟ステージチャンネル. 2022/8~11

2 研究題目

デザイン思考を活用したオンライン授業及びハイフレックス授業支援システム(個人研究)

データサイエンティストと協調する拡張可能スマート農業支援技術の研究(ベジアビオ社, 鈴木先生と共同研究)

「デザイン思考」の教育・研修に関する研究(札幌市立大と共同研究, 科研費申請)

3 論文

1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro

Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. 共著 (コレスポ). Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at “Professional University” in Japan : Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Refereed Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education, 2022, Kanazawa Institute of Technology, Japan. 2022 ; ISBN 978-1-7386618-0-0 : pp72-pp78 (原著論文) (発刊済)

4 学会等研究発表

1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at “Professional University” in Japan : Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education, 2022. Kanazawa Institute of Technology, Japan. 2022/8/31-9/1. 一般発表 (筆頭以外)

5 企業経営等の実践

1. 株式会社ジェイ・エス・エス. 顧問として, 月1回の部門長会議に出席すると共に, 本企業の課題につき, 適宜, 代表取締役社長へ改善提案を実施. また, 開志専門職大学への営業推進, DX化のための助言を実施. 売上・利益ともに好調.
2. NPO 新潟情報通信研究所. 監事として理事長 (新潟大学山崎教授) を始めとした理事メンバーと地域貢献のための事業化計画を立案・実行

6 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. IT 企業 / 公共団体 / 他大学への大学紹介・見学同行説明・意見交換会開催 (シスココンサルティング, ジェイ・エス・エス, 田辺工業, Glia Computing, 新潟市, 佐渡市, 五泉市, 情報技術センター, エクスウェア, インテック, ベーシック, CEC 新潟情報サービス, iU, 金沢工業大学, システムクリエーション, 東京電機大, アルトナー他多数: 敬称略)
2. 2022/6/24: 担当のクラウド技術概論の中で (株) マーズフラッグ社社長武井信也様を招聘して特別講義「少数精鋭で世界と闘う日本発サーチエンジンベンチャーの戦い方」を開催. また, 副学長 (情報学部長), 事務局との意見交換会を開催, 参加.
3. 2022/8/6: TFabWorks 社様から IoT 教材である AkaDako STEAM BOX プロトタイプをお借りし, オープンキャンパス体験授業「IoT デバイスとプログラミングを体験しよう!」を実施
4. 2022/8/27: 情報学部 KAISHI LAB 様 × DMM.make AKIBA コラボイベント KAISHI LAB ワークショップ (ミニチュアオンエアランプを作ろう) 開催, サポート
5. 2022/9/22: 担当のクラウド技術概論の特別講義として札幌市立大学デザイン学部教授 安齋利典様, 三菱電機株式会社 宣伝部 粕谷俊彦様を招聘して, 特別講義「オフィシャルサイト運営の推進者たちが語る デジタルマーケティング時代を“UX”で切り拓く三菱電機の世界戦略」を開催
6. 2022/12/17: KAISHI LAB にて, ヒューマンリソース社取締役東條様 (ミライのプログラミング教室校長) との連携プロジェクト実施:「子供向けプログラミング教室ミラプロ様ご協力のワークショップ」
7. 2023/2/3: 監事を務める NPO 新潟情報通信研究所が第 17 回講演会「サイバーセキュリティ月間記念セキュリティセミナー」を開催. 参加, サポート.
8. 2023/3/4: KAISHI LAB にて開催された,「ミライのプログラミング教室校様, 笑足 (わらかし) ねっ と様」による「子供ものづくりワークショップ～創る・触る・遊ぶを学ぶ～」に参加, サポート
9. 2023/3/31: KAISHI LAB と DMM.make AKIBA 様とコラボした「電子工作入門講座」を開催, サポート.

7 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. 新潟県 IT 企業立地セミナー. 成長分野の高度人材を育成する開志専門職大学のご紹介. 2022/10/19

2. 講演. 開志専門職大学 情報学部 2022 年度臨地実務実習シンポジウム. 基調報告『2022 年度開志専門職大学情報学部臨地実務実習の狙いと成果』. 2023/2/16
- 8 公的機関や職能団体における活動
 1. 法人や職能団体. NPO 法人新潟情報通信研究所. 監事
- 9 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 情報処理学会
- 10 学外兼務講師
 1. 札幌市立大学デザイン学部 (B3). デザイン研究科 (M1) 対象特別講義「Society 5.0 のためのデザインとデジタル技術 (IoT)». 2022/10/14

氏名：上野 衆太

- 1 論文
 1. PANN YU MON, 上野衆太, 鈴木源吾, 柄沢直之, 堀川桂太郎, 西川昌宏, 淡路雅博, 磯西徹明. 共著 (コレスポ以外). "Implementation of cooperative and work-integrated education at "Professional University" in Japan : Case studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University, (日本の「専門職大学」における協調的かつ労働一体型教育の実施：開志専門職大学情報学部の事例). WACE The 4th International Research Symposium, Kanazawa Institute of Technology, Japan, September 2022. (発刊済)
- 2 企業経営等の実践
 1. チアリー. 臨地実務実習, SPS アワード 2023 審査員
 2. 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン. 臨地実務実習
 3. ガゾウ. 臨地実務実習
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 電子情報通信学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 電子情報通信学会. CS 研 5 月研究会. 実行委員. 高松市. 2023 年 5 月 18 日 -19 日
 - 3) 学会等の役職
 1. 電子情報通信学会 コミュニケーションシステム研究専門委員会 専門委員
 - 4) 学会等でのその他の活動
 1. 電子情報通信学会. 運営委員, 座長. CS 研 5 月研究会 / 高松市. 2023 年 5 月 18 日 -19 日

氏名：後藤 幸功

- 1 研究題目

学習用ネットワークシミュレータの開発と学習効果に関する研究
- 2 産官学民連携, 地域連携活動の実践
 1. シン ITRC (旧産学協力研究コンソーシアム インターネット技術研究会) 運営委員
 2. LAV 臨床研究会 (旧女性獣医師臨床研究会) ICT 担当顧問
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 情報処理学会 会員
 - 2) 学術集会の主催
 1. 電子情報通信学会 IA 研究会. 電子情報通信学会. 開催地担当委員. 新潟市. 2022/11/22
 2. シン ITRC 第 53 回研究会. シン ITRC. 開催地担当運営委員. 新潟市. 2022/11/22~23

- 3) 学会等の役職
 1. シン ITRC 運営委員会
 2. LAV 臨床研究会 ICT 担当顧問
- 4 学外兼務講師
 1. LAV 臨床研究会 2022 年度第 4 回オンラインセミナー, 2022/11/15

氏名：鈴木 源吾

- 1 研究題目
異種自律分散環境におけるオープンデータを活用した旅行計画問合せ処理技術の研究
データサイエンティストと協調する拡張可能スマート農業支援技術の研究
- 2 論文
 1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. 共著 (コレスポ). Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at "Professional University" in Japan : Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education. 2022:pp72-pp78 (原著論文) (発刊済)
- 3 産官学民連携, 地域連携活動の実践
 1. ベジ・アビオ社へのスマート農業でのデータ活用に関する助言・支援
 2. 大学連携新潟協議会 ビッグデータ・オープンデータ活用研究会 WG メンバーとしての活動
- 4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
 1. 講演. 東北地区私学教育研修会. データサイエンス教育の現在とその重要性. 2022/7/29
- 5 公的機関や職能団体における活動
 1. 県レベル. 新潟県データサイエンス人材育成協議会 委員
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 情報処理学会
 2. 電子情報通信学会
 3. 日本データベース学会

氏名：高嶋 洋一

- 1 研究題目
情報セキュリティに関する研究
(科研) アニメ制作現場をアーカイブする：映像メディア, 中間成果物に続く第 3 の領域として
- 2 外部資金受入
〔科研費〕
 1. 令和 4 年～6 年. 基盤研究 (C) (一般). アニメ制作現場をアーカイブする：映像メディア, 中間成果物に続く第 3 の領域として. 研究分担者. 新規
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 電子情報通信学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 電子情報通信学会. 第 1 回 EMM 研究会. 幹事補佐 (広報). 岐阜大学サテライトキャンパス (ハイブリッド). 2022/5/17-18
 2. 電子情報通信学会. 第 2 回 EMM 研究会. 幹事 (プログラム). オンライン開催. 2022/7/19-20
 3. 電子情報通信学会. 第 3 回 EMM 研究会. 幹事 (プログラム). ハイブリッド開催 (FIT2022 (慶応

大日吉) と併催). 2022/9/13-14

4. 電子情報通信学会. 第 4 回 EMM 研究会. 幹事 (プログラム). オンライン開催. 2022/11/21-22
5. 電子情報通信学会. 第 5 回 EMM 研究会. 幹事 (プログラム). 東北大電気通信研究所 (ハイブリッド). 2023/1/26
6. 電子情報通信学会. 第 6 回 EMM 研究会. 幹事 (プログラム). 福江文化会館:長崎県五島市 (ハイブリッド). 2023/3/2-3

3) 学会等の役職

1. 電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM) 研究専門委員会幹事 (プログラム)

氏名: 田代 秀一

1 研究題目

オープンデータ構築法と評価法
文字符号の国際標準化

2 報告書

1. 田代秀一. 基盤研究 (C). オープンデータのライフサイクル全体を視野に入れたデータ設計・評価手法の検討と確立. 実施状況報告書. 2021 年度. 2022/5/30. 単著

3 外部資金受入

1. 2021. 基盤研究 (C). オープンデータのライフサイクル全体を視野に入れたデータ設計・評価手法の検討と確立. 田代秀一. 継続

4 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 株式会社 MGNET と共同研究協定を締結

5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 技術報告. 燕三条ものづくりメッセ 2022 (燕三条地場産業振興センター主催). ものづくりのデータ化. 2022/10/20~2022/10/21

6 公的機関や職能団体における活動

1. 国際レベル. ISO/IEC JTC 1 SC2 (国際符号化文字集合) 国際議長
2. 国レベル. 情報処理学会 情報規格調査会 SC 2 専門委員会 (文字コード) 委員
3. 国レベル. 情報処理学会 情報規格調査会 SC 32/WG 2 小委員会 (メタデータ) 委員
4. 国レベル. 情報処理学会 情報規格調査会 JTC 1/WG 11 小委員会 (スマートシティ) 委員
5. 国レベル. 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 分野横断的公募事業に係る事前書面審査委員
6. 法人. 独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) 専門委員
7. 法人. 文字情報技術促進協議会 オブザーバ

7 学会活動

1) 所属学会

1. 情報処理学会
2. 社会情報学会
3. ACM
4. IEEE

8 学外兼務講師

1. 中央大学理工学部兼任講師 (情報通信ネットワーク). 2022 年 4 月~2023 年 3 月

氏名：平川 秀樹

1 研究題目

知的教育支援システムの研究（授業コンテンツに基づく教材作成，適応学習機能によるオンライン学習効率化）

2 学会活動

1) 所属学会

1. 人工知能学会
2. 情報処理学会
3. 学習分析学会

氏名：堀川 桂太郎

1 研究題目

量子コンピューティング実用化時代に備える量子アルゴリズムの創出およびシミュレーションプラクティス

GPU 活用技術とその応用プログラミング（ViT 基本調査から実験応用まで）

行動経済学に基づくアルゴリズムプログラミング学習に対するセルフモチベーション向上方策

臨地実務実習の対企業および対学生の ROI 評価のための KPI/KGI データ収集に適合した客観的アンケート設計手法

高性能 Jetson を活用した強化学習実用化手法

DockerCompose を駆使した高性能 GPU マシンへの学習モデル生成オフローディングによる高効率学習モデル評価イテレーション手法

量子機械学習の効果的な用途の調査とシミュレーション評価分析

2 論文

1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. Implementation of cooperative and work-integrated education at “Professional University” in Japan : Case studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. WACE IRS 2022. 2022（国際会議論文）（発刊済）
2. 堀川 桂太郎, 鈴木 源吾, 吉田 貴裕. 共著（筆頭）. イノベーション創出の要因分析および成功確率向上のための機械学習活用手法の提案. イノベーション力研究. 2023；第 1 巻 Vol.1：pp.5-19（大学紀要）（発刊済）

3 公開講座・講演会，TV・ラジオ出演，新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. ELSPINA VEINZ TECH BLOG： <https://techblog.elspina.space/misc-internship-kaishipu-2022-1/>. インターンシップ報告. 掲載（2022/12/05）
2. メディア掲載. ELSPINA VEINZ TECH BLOG： <https://techblog.elspina.space/misc-internship-kaishipu-2022-2/>. 臨地実務実習での学び. 掲載（2022/12/12）
3. メディア掲載. <http://www.speed-p-niigata.jp/pdf/2022.evtoraiku.pdf>. 開志専門職大学情報学部がスピードパーク新潟にて EV トライクの走行. 掲載（2022/10/28）

4 学会活動

1) 所属学会

1. 人工知能学会

氏名：宮元 万葉美

1 研究題目

日本におけるイノベーションエコシステムの研究

デジタル化による産業構造の変化と「両利きの経営」の研究

日本における「プラットフォーム戦略論」の研究

2 著書

1. 経営戦略学会. 共著 (筆頭以外). キーワードからみる 経営戦略ハンドブック. 書籍. 初版. 東京. 同文館出版. 2023.3.16

3 学会等研究発表

1. 宮元万菜美. 地政学的新潟地域経営の現在. 慶應義塾大学 SSC 研究会. 新潟. 2022.10.22. 一般発表 (筆頭)

4 学会活動

1) 所属学会

1. 経営情報学会
2. 日本経営学会
3. 組織学会
4. 日本経営システム学会
5. 経営戦略学会
6. Academy of Management

2) 学術集会の主催

1. 経営情報学会. 2022 年全国研究発表大会. プログラム委員長. 新潟 (開志専門職大学)

3) 学会等でのその他の活動

1. 慶應義塾大学 SSC 研究会. 研究発表大会ホスト. 新潟. 2022.10.22
2. 経営情報学会. 報告要旨査読. 新潟 (開志専門職大学) 2022 年 11 月 12 日・13 日

5 学外兼務講師

1. 早稲田大学 商学部 (経営情報システム 1). 2015 年～現在
2. 新潟国際情報大学 経営情報学部 (経営学入門). 2022.04-2022.09

氏名：小野山 博之

1 研究題目

ナシ園における収穫車・運搬車の LiDAR を用いた自動走行およびコンテナ移載
ブドウ園における収穫ロボットの LiDAR を用いた自動走行およびコンテナ交換
スライディングモード制御を用いた小型ドローンの自律飛行制御

2 受賞・表彰

1. システム制御情報学会 学会賞産業技術賞. 2022/5/19

3 論文

1. 小野山博之, 中西喬希, 内田達也, 深尾隆則. 共著 (筆頭). 屋外におけるスライディングモード制御を用いた小型ドローンの自律飛行制御. システム制御情報学会論文誌. 2022 ; 35 (9) : 209-216 (原著論文) (発刊済)

4 学会等研究発表

1. 小野山博之, 狩野孝明, 深尾隆則, 稲田誠生, 西野秀幸. ブドウ園における SLAM を用いた自動走行と果実位置推定. 第 66 回システム制御情報学会研究発表講演会 (SCI'22). 京都市. 2022 年 5 月 18 日 - 5 月 20 日. 一般発表 (筆頭)

5 外部資金受入

[民間グラント, 受託研究等]

1. 2021. 農研機構「国際競争力強化技術開発プロジェクト」. 農作物に適したロボットアーム等を活用した農業自動化技術の開発. 研究分担者. 継続
2. 2021. 農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」. 大規模果樹生産法人による収穫作業自動化によるスマート農業生産体系の一気通貫化とスマート農機のロボスタ化. 研究分担者.

継続

6 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. デモ. 世羅幸水農園にて農林水産技術会議, 中国四国農政局, スマ農推進室, 西日本農研視察. ナシ自動収穫・運搬車のデモ対応. 2022年8月30日
2. デモ. 農研機構にて農林水産大臣視察. ナシ自動収穫・運搬車の視察対応. 2023年1月11日

7 学会活動

1) 所属学会

1. IEEE
2. システム制御情報学会
3. 日本土壌肥料学会
4. 日本ロボット学会
5. 農業食料工学会

氏名: 西川 昌宏

1 研究題目

インクルーシブな共創活動における効果的な支援手法の研究

オープンデータのライフサイクル全体を視野に入れたデータ設計・評価手法の検討と確立 (田代秀一教授, 株) MGNET との共同研究)

2 論文

1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. 共著 (コレスポ以外). Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at "Professional University" in Japan : Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Refereed Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education, 2022, Kanazawa Institute of Technology, Japan. 2022 ; pp72-pp78 (原著論文) (発刊済)

3 企業経営等の実践

1. 特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク. インクルーシブデザイン人材育成に寄与する団体の経営 (理事長)

4 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 開志コラボセミナーの企画・実施 (4回)
2. 東京都武蔵村山市, 愛知県豊田市の小中学校, 社会福祉協議会と連携した「子ども UD 授業」実施

5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. インクルーシ・テーマトーク. 「CSUN2022」にみるインクルーシブデザインの最新動向. 2022/7/5
2. 講演. インクルーシ・テーマトーク. インクルーシブデザインにおける世代間の共創について. 2022/10/4
3. 講演. インクルーシ・テーマトーク. 「ヒアリングフレイル」の理解とその対応策について. 2023/2/7

6 学会活動

1) 所属学会

1. 日本デザイン学会
2. 日本マーケティング学会
3. 人間中心設計推進機構

氏名：江口 将史

1 学内部活動等の実績

1. 熊倉一哉, 他 4 名. Google Cloud Challenge 2022. 全国大会. 入賞. 優秀賞 (2 位). オンライン. 2022/12/16

2 研究題目

バーチャルリアリティ技術を活用した場所や時間, デバイスを問わず教育と学習を可能にする環境の構築に関する調査研究

3 企業経営等の実践

1. ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン (UTJ) 株式会社. 2022 年 7 月 UTJ よりヘッドハンティングを受け転職. 前職プロジェクト マネージャーから シニアポジションである Sr. プロジェクト/プログラム マネージャーに昇格.
 2. UTJ - 株式会社大林組 (公開事例). 2022 年 7 月 建設大手ゼネコン案件受注. 建設デジタルツインの最前線と将来ビジョンに関する案件を主 PM 担当.
 3. UTJ - グローバル製造業企業受託案件. 2022 年 10 月 グローバル製造業企業の R&D 開発案件を主担当. ハプティクスデバイスのコンサルと開発について全体 PM 管理に従事
 4. UTJ - 大手鉄道コンサル株式会社. 2022 年 10 月 VR デバイスを使用したのコンサルと開発について全体 PM 管理に従事. <https://industry.unity3d.jp/dxconference/>
 5. UTJ - 大手鉄道グループ企業案件. 2022 年 11 月 メタバース構築に関する PoC プロジェクトに参画
- ### 4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. SYNC 2022 : <https://events.unity3d.jp/sync/session/70/>. DX を実現する Unity の支援サービス. 2022/10/25
2. メディア掲載. Unity Learning : <https://learning.unity3d.jp/8822/>. DX を実現する Unity の支援サービス. 2022/10/25

氏名：柄沢 直之

1 研究題目

情報フローティングの制御に関する研究

情報フローティングの性能評価に関する研究

情報フローティングシステム開発に関する研究

2 受賞・表彰

1. JSST2022 Outstanding Presentation Award. 2022/11/17

3 学会等研究発表

1. Naoyuki Karasawa, Kazuyuki Miyakita, Takuma Kobayashi, Hiroshi Tamura, Keisuke Nakano. A study on information floating in a one-dimensional street considering effects of shadowing and side trips of pedestrians. The 41st JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022). オンライン形式. 2022/9/1. 一般発表 (筆頭)
2. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at "Professional University" in Japan: Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education. オンライン形式. 2022/8/31. 一般発表 (筆頭以外)

4 外部資金受入

[民間グラント, 受託研究等]

1. 2022. 令和 4 年度一般財団法人永井知覚科学振興財団研究開発助成. フローティングストレージにおける情報蓄積状況と通信可能経路の提示手法に関する研究. 研究代表者. 新規

5 産官学民連携、地域連携活動の実践

1. 変革推進人材育成委員会 (<https://henkaku.jimdofree.com/>) 正員
2. 新潟大学工学部知能情報システムプログラム4年根本悠平の卒業研究の指導補助(2022年10月～2023年1月、週1～2度程度)

6 学会活動

1) 所属学会

1. 電子情報通信学会
2. IEEE
3. 日本シミュレーション学会
4. 電気学会

2) 学術集会の主催

1. 日本シミュレーション学会、令和4年度第1回多次元移動通信網研究会、ホスト、オンライン形式、2022年12月1日

3) 学会等の役職

1. 日本シミュレーション学会 多次元移動通信網研究委員会 幹事
2. 日本シミュレーション学会 和文論文誌推薦論文 編集委員
3. 日本シミュレーション学会 和文論文誌特集号「多次元移動通信網」幹事
4. 日本シミュレーション学会 和文論文誌特集号「多次元移動通信網」編集委員
5. 日本シミュレーション学会 JSST2023 大会実行委員会 会場部門員

4) 学会等でのその他の活動

1. The 41st JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022). Session Chair (Session 25). オンライン形式、2022年8月31日

氏名：西川 浩平

1 研究題目

自閉スペクトラム症の感覚過敏への音楽聴取の効果－音響機器の開発と臨床研究（東海大学、共同研究）
メタバース健診支援システムの開発（東京都市大学、共同研究）

2 受賞・表彰

1. IBM Champion in 2023. 2023年1月13日

3 著書

1. 津田邦和、西川浩平、共著、大学生のためのクラウド講座、書籍・教科書・問題集（解答集）、2. 東京都、NCRI株式会社、2023/3/31、120-247

4 報告書

1. 西川浩平、常通雅代、永島愛、祝迫美穂、高橋直武、受託研究、リカレント教育の機会提供、年代別におけるリカレント教育参加状況とその対応策に関する検討、2022年1月～9月、2022/9/30、共著（筆頭）

5 学会等研究発表

1. 西川浩平、常通雅代、永島愛、祝迫美穂、高橋直武、リカレント教育の機会提供～年代別におけるリカレント教育参加状況とその対応策に関する検討～、IBM Community Japan GO UNiTE 2022、オンライン、2022年11月8日-12月23日
2. 西川浩平、メタバース空間の作り方、NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構、オンライン、2022年7月23日、一般発表（筆頭）
3. 西川浩平、メタバース健診支援システムの開発、NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構、オンライン、2022年12月3日、一般発表（筆頭）

6 外部資金受入

〔民間グラント、受託研究等〕

1. 2022. 受託研究. メタバース健診支援システムの開発. 研究分担者. 新規
- 7 産官学民連携, 地域連携活動の実践
1. 日本 IBM 人事部および UX デザイナーを招いた IT 業界デザイナーのキャリアと人材育成セミナーの企画, 運営, ファシリテーション. 2022 年 8 月 24 日開催, IT 業界デザイナーのキャリアと人材育成手法.
 2. 日本 IBM の UX デザイナーを招いた UX に関するデザインシンキングイベントの企画, 運営, ファシリテーション. 2022 年 9 月 7 日開催, UX 視点から考える体験向上.
- 8 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
1. 講演. 第 28 期にいがた市民大学「暮らしに役立つ工学の最先端」(第 2 回). 通販から飛行機まで, あらゆる分野で使われるクラウド. 2022/6/18
 2. 講演. 第 28 期にいがた市民大学「暮らしに役立つ工学の最先端」(第 8 回). ノーコード・ローコードでどんなことができる?. 2022/8/27
 3. 講演. IBM Cloud Festa Online 2022 Summer. Cloud Foundry の移行先はどこか? オープンソース PaaS 探し. 2022/7/29
 4. 講演. BMXUG Online. IBM Cloud x 画像生成 AI を使って NFT 素材作り!. 2022/10/1
 5. 講演. 開志未来創造研究センター. メタバース空間作成講座. 2022/11/17
 6. 講演. 開志未来創造研究センター. 画像生成 AI のはじめかた. 2022/11/28
- 9 公的機関や職能団体における活動
1. 政令都市レベル. 新潟市教育委員会 生涯学習センター 第 28 期にいがた市民大学 暮らしに役立つ工学の最先端, 講師 (第 2 回と第 8 回担当)
 2. 政令都市レベル. 新潟市教育委員会 新潟市立学校図書システム再構築業務委託業者選定に関する意見聴取への協力について, 落札者決定基準に対する指導・助言
 3. 法人や職能団体. IBM Cloud Users Group (BMXUG) 運営管理者
- 10 学会活動
- 1) 所属学会
 1. 経営情報学会
 2. 情報処理学会
 3. 可視化情報学会
 4. 情報システム学会
 5. NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構
 - 2) 学術集会の主催
 1. NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構. 第 19 回広域連携医療ネットワークシステム研究会 (GCM19) オンライン開催. 運営委員, オンライン会場運営. オンライン. 2022/7/23
 2. NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構. 第 10 回 NPO/GCM 交流フォーラム オンライン開催. 運営委員, オンライン会場運営. オンライン. 2022/12/3
 3. 経営情報学会. 2022 年全国研究発表大会実行・プログラム委員. 新潟 (開志専門職大学)
 - 3) 学会等の役職
 1. NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構, 顧問
 - 4) 学会等でのその他の活動
 1. 経営情報学会. 報告要旨査読. 新潟 (開志専門職大学) 2022 年 11 月 12 日・13 日.

氏名 : Pann Yu Mon

- 1 研究題目
グローバル教育データのデータ分析. グラフデータベースの実装

2 学外兼務講師

1. 開志未来創造研究センター, メンバー, 情報学部の学生 (開志専門職大学). 2020.10~
2. 臨地実務実習員会, メンバー, 情報学部の学生 (開志専門職大学). 2021.11~

氏名: 吉田 貴裕

1 研究題目

- 物質優勢宇宙を実現する新理論の研究
- インフレーション宇宙を実現する理論における物質生成機構の研究
- ニュートリノ質量を説明する離散的フレーバー対称性を持つ理論の研究
- 宇宙物質生成における非平衡のダイナミクスに関する理論研究

2 論文

1. Yoshihiro Gunji, Koji Ishiwata, Takahiro Yoshida. 共著 (コレスポ). Subcritical regime of hybrid inflation with modular A_4 symmetry. *Journal of High Energy Physics*. 2022; 11: 1-30 (原著論文) (発刊済)
2. Yoshihiro Gunji, Koji Ishiwata, Takahiro Yoshida. 共著 (コレスポ). Supersymmetric Baryogenesis in a Hybrid Inflation Model. arXiv. 2023; 2303.05663: 1-21 (原著論文) (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 吉田 貴裕, 岡田 寛, 清水 勇介, 谷本 盛光. Modulus τ linking leptonic CP violation to baryon asymmetry in modular A_4 invariant model. 第 49 回北陸信越地区素粒子論グループ研究会. オンライン. 2022/7/10. 一般発表 (筆頭)
2. Takahiro Yoshida, Yoshihiro Gunji, Koji Ishiwata. Subcritical regime of hybrid inflation with modular A_4 symmetry. APCTP workshop "Recent development of modular flavor symmetry". オンライン. 2022/11/24. 招待講演

4 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. データを利用した農作物の収量予測などをベジ・アビオと協力して行う (鈴木源吾教授との共同)

5 公的機関や職能団体における活動

1. 県レベル. 新潟県データサイエンス人材育成協議会 委員

6 学会活動

1) 所属学会

1. 日本物理学会

3) アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科

氏名: belne

1 学内部活動等の実績

1. 江田美鈴. ゆめほたる環境イラストコンテスト 2022. 地方大会 (上記以外). 入賞. 佳作. 国崎クリーンセンター 啓発施設 ゆめほたる. 2022 年 7 月 31 日

2 研究題目

- アナログマンガ原稿のデジタルアーカイブ研究.
- 人物・キャラクターのマンガ的デフォルメをグッズ化・ガジェット化してその魅力を探る.
- マンガ教育研究.
- マンガ執筆形態・発表形態の変化・マンガプロモーション・同人誌即売会など発表媒体の多様化を探りマンガ教育に反映する.

3 受賞・表彰

1. 第 25 回文化庁メディア芸術祭功労賞. 2022/9/15

4 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. にいがたマンガ大賞 2 次審査員
- 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
 1. 作品発表. 新潟市マンガの家【文化庁メディア芸術祭協賛事業】. 新潟とマンガとマンガ教育 belne の CWS 展. 2022 年 7 月 7 日～8 月 23 日
 2. メディア掲載. 文化庁メディア芸術祭受賞作品集 (WEB・冊子). 功労賞部門に掲載. 2022 年 9 月 16 日
 3. 講演. 文化庁メディア芸術祭関連イベント. 「マンガ家 belne 先生によるマンガ描き方講座」. 2022 年 9 月 18 日
 4. 作品発表. 電子書籍 ZONE OF CTHULHU 11 巻 三栄. 橋外男原作マトモッソ溪谷コミカライズ執筆. 2022 年 7 月 21 日
 5. 作品発表. 文字の大きなクロスワード 2022 年 5 月号～2023 年 3 月号 マガジンマガジン社. イラストクロスワードのイラスト担当 他 イラスト・パズル作成. 2022 年 4 月 2 日～2023 年 3 月 2 日
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 日本マンガ学会

氏名：ヨシカワ ゴエモン

- 1 研究題目

「ソラヲトブ・フシギ」をテーマにスポンジ・金属を素材としたオブジェを制作 動き・光・音を盛り込み空間ごと作品とする
- 2 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
 1. 作品発表. 「ナンプレメイト」マガジン・マガジン社. 表紙立体作品連載. 2022/23 奇数月
 2. 作品発表. 「まちがいさがしメイト」マガジン・マガジン社. イラスト連載. 2022/23 奇数月
 3. 作品発表. ストライプハウスギャラリー企画個展 東京六本木. 「ツキヨノデキゴト」ヨシカワゴエモンスポンジオブジェ展 動物立体作品. 2022 8/27～9/9
 4. 作品発表. ライティングオブジェ2022 東京丸の内 東京ビル TOKIA ガレリア. 震災復興支援や地球環境と子供たちの未来への支援を目的としたチャリティーアートイベント 文化庁後援. 2022 12/15～24
 5. メディア掲載. 海へ Sea Dream vol.35 株式会社 舵社. SEA DREAM GALLERY 作品掲載とインタビュー. 2023 1 月 10 日発行
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 現代日本美術会
 - 2) 学会等の役職
 1. 現代日本美術会参与
- 4 学外兼務講師
 1. 京都芸術大学 客員教授 (立体造形). 2022 4/1～3/31
 2. 東京工学院専門学校 非常勤講師 (立体造形). 2022 4/1～3/31

氏名：木村 智哉

- 1 研究題目

日本の映画産業における異業種参入と既存映画会社の生存戦略についての研究
 アニメーション制作者の職業に関するオーラルヒストリーに基づく研究
 アニメーション産業史研究の意義についての理論研究
 アニメ中間素材アーカイブの現状と意義についての研究

2 論文

1. 木村智哉. 単著. 揺籃としてのポスト・アニメブーム. ユリイカ 詩と批評. 2022; 54 巻 8 号: 126-135 (発刊済)
2. 木村智哉. 単著. アニメーション産業史研究はいかにして／何が可能か: 方法論と意義についての学際的考察. アニメーション研究. 2023; 23 (1): 15-27 (原著論文 (招待)) (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 木村智哉. アニメーション産業史の視点と意義. 日本アニメーション学会. 東京都. 2022/8/6. 招待講演
2. 木村智哉. 1980 年代アニメの中の『夢戦士ウイングマン』と東映動画. 新潟大学アニメ・アーカイブ研究センター. 新潟県. 2022/9/10. 招待講演

4 外部資金受入

[科研費]

1. 2019. 基盤研究 (B). 産業史的視点による日本映画史の再構築: 1970 年代の構造的変革についての共同研究. 研究分担者. 継続
2. 2020. 基盤研究 (B). 「アニメ中間素材」の分析・保存・活用モデルケースの学祭的研究. 研究分担者. 継続
3. 2022. 基盤研究 (C). アニメ制作現場をアーカイブする: 映像メディア, 中間成果物に続く第 3 の領域として. 研究代表者. 新規

5 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. にいがたデジコングランプリ 2022 審査員

6 学会活動

1) 所属学会

1. 日本アニメーション学会
2. 美学会
3. 同時代史学会

2) 学術集会の主催

1. 新潟視覚芸術研究所. kick off シンポジウム「アニメ中間素材アーカイブの現状と課題」. 実行委員長・司会. 新潟市. 2022/6/4

3) 学会等の役職

1. 日本アニメーション学会 理事

7 学外兼務講師

1. 京都大学 (メディアスタディーズ). 2023 年 2 月 16~21 日 (集中)
2. 群馬県立女子大学 (メディアと文化). 2022 年 10 月~2023 年 1 月

氏名: 横山 昌吾

1 研究題目

映像編集技術のメカニズムの解析と編集教育プログラムの作成

2 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 東京国際映画祭. 彼方の閃光. 2022/10/25

3 学会活動

1) 所属学会

1. 日本テレビ映画編集協会

4 学外兼務講師

1. 立教大学 映像身体学科 (映像技術論Ⅱ). 2022/4/1 - 2023/3/31
2. 東京藝術大学大学院映像研究科 (国際芸術表現論). 2022/6/24

氏名：雑賀 忠宏

1 研究題目

- ①「マンガを描くこと」の日本における言説史的展開
- ②マンガにおける自己表象の様相
- ③日本マンガとコミックス／グラフィックノベルとの比較文化的研究

2 学会等研究発表

1. 雑賀忠宏. マンガにおける「自己」表象の両義性——「語る主体」／「描かれる客体」の葛藤とその馴致. 日本マンガ学会第 21 回大会. 秋田県横手市（オンライン併催・現地での報告）. 2022 年 6 月 18 日. 一般発表（筆頭）

3 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. 台湾 ACG 研究学会設立大会. 祝辞挨拶. 2022 年 5 月 22 日
2. 講演. COMITIA141. 「Belne × 竹宮恵子公開対談「マンガ家はマンガを教えたい」」（司会進行担当）. 2022 年 9 月 4 日
3. 講演. 読売テレビ. 「川島・山内のマンガ沼」内コーナー「お初マンガ調査隊」出演. 2023 年 2 月放送

4 学会活動

1) 所属学会

1. 日本マンガ学会

2) 学術集会の主催

1. 日本マンガ学会. 日本マンガ学会第 21 回大会. 実行委員会（オンライン参加申込対応担当）. 秋田県横手市（オンライン併催）. 2022 年 6 月 18 日・19 日

3) 学会等の役職

1. 日本マンガ学会理事（第 10 期）

4) 学会等でのその他の活動

1. 日本マンガ学会. 日本マンガ学会第 21 回大会 実行委員会（オンライン参加申込対応担当）. 秋田県横手市（オンライン併催）. 2022 年 6 月 18 日・19 日
2. 新潟視覚芸術研究所（RIVNA）主催オンライントークイベント「にいがたマンガ大賞」がマンガ文化へ果たしてきた役割——ウェブ時代における地域発マンガ大賞のありかた. 企画開催および司会. オンライン開催. 2023 年 3 月 26 日

氏名：高山 瑞穂

1 研究題目

- 画力向上メソッドの研究
アニメーターリズムと地域振興の研究
新潟県の歴史, 文化の研究とそのマンガ化の可能性への探求

2 公的機関や職能団体における活動

1. 特定非営利活動法人. にいがたデジタルコンテンツ推進協議会 審査員

氏名：日高 トモキチ

1 研究題目

- 創作における物語表現の実践

2 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. 月刊ダ・ヴィンチ（通年）. 企画連載「トロイカ学習帳」. 毎月 5 日発売
2. 講演. メディア芸術祭ワークショップ. belne 教授マンガワークショップ協力. 2022 年 9 月 18 日

3 公的機関や職能団体における活動

1. その他. 日本 SF 作家クラブ理事
2. その他. 日本漫画家協会会員

氏名：小針 莉緒奈

- 1 研究題目
ポर्टフォリオのアナログとデジタルにおけるアプローチの研究

氏名：落谷 雄輝

- 1 研究題目
『源氏物語』のマンガ翻案をめぐる研究——少女マンガを中心に
- 2 受賞・表彰
 1. 博士（文学）立教大学. 2023 年 3 月 31 日
- 3 論文
 1. 落谷雄輝. 単著. 他者の口実をめぐる駆け引き——『源氏物語』の発話に表れる「ことつく」を手がかりに. 立教大学大学院日本文学論叢. 2022 年；第 22 号：12-23（原著論文）（発刊済）
 2. 落谷雄輝. 単著. 「宇治十帖の「ことつく」をめぐる——口実に秘められた欲望」. 日本文学. 2022 年；第 71 卷 12 号：28-40（原著論文）（発刊済）
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 中古文学会
 2. 日本文学協会
 3. 物語研究会
 4. 古代文学研究会
 5. 立教大学日本文学会

氏名：境 佑莉

- 1 研究題目
情報発信を目的とした漫画制作研究および適切な頒布展示方法の研究

氏名：鈴木 潤

- 1 研究題目
1950 年代前半における田中絹代のスターイメージ研究—「女優・田中絹代」と「監督・田中絹代」をめぐる
- 2 受賞・表彰
 1. 博士（学術）. 2022/9/20
- 3 著書
 1. 石田美紀, キム・ジュニアン, 蔡錦佳, ジョアンナ・ルイザ・ブエナフローラ・オビスポ, クラウディア・ポニッロ・フェルナンデス, ザッカーリー・サミュエル・ゴッツマン, 楊思帆, 顔曉暉, 萩原由加里, 程斯, エドモン・エルネスト・ディ・アルバン, ジェーソン・コーディ・ダグラス, 渡部英雄, 山川道子, 鈴木潤, 板倉史明. 分担. グローバル・アニメ論：身体／アーカイブ／トランスナショナル. 書籍・教科書・問題集（解答集）. 東京都. 青弓社. 2022 年 12 月 16 日. 207-221
- 4 論文
 1. 鈴木潤. 単著. 「呪いのビデオ」の現在地——氾濫する心霊ビデオたち. ユリイカ. 2022 年 8 月；54 卷 11 号：264-270（原著論文）（発刊済）

2. 鈴木潤. 単著. 書評: 永田大輔他『ビデオのメディア論』青弓社. 図書新聞. 2023年2月25日;
3581号:5(書評)(発刊済)
- 5 産官学民連携, 地域連携活動の実践
 1. 文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業(令和4年度)「海外におけるメディア芸術作品の評価を
あげるための「価値づけ」経緯の実態調査・研究」報告書作成補助(原稿取りまとめ, 注釈づけ作業).
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会
 1. 二松學舎大学人文学会
 2. 日本記号学会
 3. 表象文化論学会

4) 外部研究費の獲得

(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表 (金額単位：千円)

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	期間全体の金額 (直接費+間接費)
1	2020	2023	基盤 C	近藤 正幸	日本企業の現地頭脳活用とイノベーション・ネットワークのアジア戦略	4,160
2	2020	2023	基盤 C	横山 昌吾	映像編集技術のメカニズムの解析と編集教育プログラムの作成	4,290
3	2021	2025	基盤 C	西村 伸也	小中学校の新型コロナウイルス等感染症を防ぐ為に環境・行動特性から捉える建築計画研究	4,030
4	2021	2023	基盤 C	田代 秀一	オープンデータのライフサイクル全体を視野に入れたデータ設計・評価手法の検討と確立	4,160
5	2022	2024	基盤 C	木村 智哉	アニメ制作現場をアーカイブする：映像メディア，中間成果物に続く第3の領域として	4,160
6	2022	2023	研究活動 スタート 支援	明珍 儀隆	制度論を理論基盤とする管理会計チェンジにおけるコンフリクトの研究	2,860

(2) 新潟県内の科研費採択件数・配分額一覧 (2022 年度) (金額単位：千円)

	機関名	件数	直接経費	間接経費	合計
1	新潟大学	786	1,378,300	413,490	1,791,790
2	新潟医療福祉大学	129	165,900	49,770	215,670
3	長岡技術科学大学	120	307,700	92,310	400,010
4	上越教育大学	55	69,000	20,700	89,700
5	新潟県立大学	23	20,900	6,270	27,170
6	長岡工業高等専門学校	20	29,100	8,730	37,830
7	新潟県立看護大学	18	16,400	4,920	21,320
8	新潟薬科大学	16	19,300	5,790	25,090
9	新潟工科大学	14	14,700	4,410	19,110
10	新潟国際情報大学	8	16,900	5,070	21,970
11	開志専門職大学	7	6,800	2,040	8,840
12	長岡造形大学	5	4,800	1,440	6,240
13	敬和学園大学	5	3,500	1,050	4,550
14	新潟青陵大学	5	3,400	1,020	4,420
15	新潟食料農業大学	4	10,500	3,150	13,650
16	日本歯科大学新潟短期大学	3	3,100	930	4,030
17	新潟リハビリテーション大学	3	2,700	810	3,510
18	新潟経営大学	3	2,200	660	2,860
19	長岡崇徳大学	2	1,100	330	1,430
20	三条市立大学	1	1,200	360	1,560
21	新潟産業大学	1	600	180	780
22	事業創造大学院大学	1	100	30	130

(3) 専門職大学内の科研費採択件数・配分額一覧(2022年度)

(金額単位：千円)

	機関名	件数	直接経費	間接経費	合計
1	開志専門職大学	7	6,800	2,040	8,840
2	国際ファッション専門職大学	6	9,800	2,940	12,740
3	びわこリハビリテーション専門職大学	5	7,100	2,130	9,230
4	芸術文化観光専門職大学	5	6,100	1,830	7,930
5	名古屋国際工科専門職大学	5	5,100	1,530	6,630
6	大阪国際工科専門職大学	3	26,100	7,830	33,930
7	岡山医療専門職大学	3	5,000	1,500	6,500
8	東京保健医療専門職大学	3	2,900	870	3,770
9	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	2	3,100	930	4,030
10	和歌山リハビリテーション専門職大学	2	1,900	570	2,470
11	東京国際工科専門職大学	1	1,400	420	1,820
12	静岡県立農林環境専門職大学	1	1,200	360	1,560

(4) 科研費以外の外部研究費獲得状況

(金額単位：千円)

	研究者名	研究課題	配分機関	金額
1	渡辺 康英	食品製造販売・飲食事業を行う就労継続支援 A 型, B 型事業所のコロナ禍の影響把握と販路拡大に向けた「置き菓子」事業のテスト販売と効果検証	公益財団法人古泉財団	300
2	堀越 謙三	海外におけるメディア芸術作品の評価をあげるための「価値づけ」経緯の実態調査・研究	文化庁	2,992
3	柄沢 直之	フローティングストレージにおける情報蓄積状況と通信可能経路の提示手法に関する研究	一般財団法人永井知覚科学振興財団	850
4	小野山博之	大規模果樹生産法人による収穫作業自動化によるスマート農業生産体系の一気通貫化とスマート農機のロボラスト化	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	2,300
5	小野山博之	農作物に適したロボットアーム等を活用した農作業自動化技術の開発	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	2,000

8. 図書館および図書室

1) 蔵書数※1 2023年3月31日時点

紫竹山キャンパス	6,011冊
米山キャンパス	4,598冊
古町ルフルキャンパス	4,139冊
アニメ・マンガ図書館	30,305冊

2) 年間受入冊数※1 2022年度

紫竹山キャンパス	購入 452冊	寄贈 74冊
米山キャンパス	購入 184冊	寄贈 28冊
古町ルフルキャンパス	購入 266冊	寄贈 9冊
アニメ・マンガ図書館		寄贈 12冊

3) 利用状況 2022年度

(1) 開館日数	紫竹山キャンパス	226日
	米山キャンパス	229日
	古町ルフルキャンパス	230日
	アニメ・マンガ図書館	226日
(2) 貸出冊数	紫竹山キャンパス	337冊
	米山キャンパス	460冊
	古町ルフルキャンパス	347冊

4) 蔵書内訳 2023年3月31日時点

キャンパス名	図書		雑誌※2		電子図書	視聴覚資料
	和書	洋書	和雑誌	洋雑誌		
紫竹山キャンパス	5,690	321	16	11	119	
米山キャンパス	4,505	92	16	16		1
古町ルフルキャンパス	3,718	84	27	5		337

※1 視聴覚資料数含む

※2 雑誌は電子ジャーナルを含む

9. 学生関係

1) 収容定員

学部学科	入学定員	収容定員
事業創造学部事業創造学科	80名	320名
情報学部情報学科	80名	320名
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	80名	320名
合計	240名	960名

2) 入試広報活動

- ①入学選考試験実施 全19区分
- ②試験会場 新潟, 東京, 福島(郡山), 長野
- ③オープンキャンパス等の学内イベント実施 全11回
- ④オープンキャンパス無料バスツアーの実施 全4回(5県より運行)
- ⑤高校内進学ガイダンス(出張講義等含む)参加 県内68回/県外13回
- ⑥会場形式進学ガイダンス参加 県内10会場/県外15会場
- ⑦高校生徒, 保護者, 教員等の大学見学の受け入れ 10団体
- ⑧大学公式 SNS の設置および登録者促進

3) 入学者選抜方法

学部・学科名称	募集定員	試験区分別募集人員												
		総合型選抜			学校推薦型選抜(専願)				一般選抜(併願)			外国人留学生選抜(専願)		
		専願型			公募型		指定校型	個別試験型	共通テスト利用型		A日程	B日程	C日程	
		A日程	B日程	C日程	前期日程	後期日程			1期日程	2期日程				
事業創造学部	80名	25名	5名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	
情報学部	80名	25名	5名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	
アニメ・マンガ学部	80名	25名	5名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	
計	240名	75名	15名	15名	21名	9名	60名	30名	15名	若干名	若干名	若干名	若干名	

4) 入学選考試験結果

2023 年度入学選考試験（2022 年度実施）結果

■事業創造学部 事業創造学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	23	23	23	23	27	-4
学校推薦型選抜	30	22	22	22	22	26	-4
一般選抜	15	18	17	15	8	9	-1
外国人留学生選抜	若干名	0	0	0	0	0	0
小計	80	63	62	60	53	62	-9

■情報学部 情報学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	19	19	18	18	28	-10
学校推薦型選抜	30	22	22	22	22	33	-11
一般選抜	15	35	32	20	8	18	-10
外国人留学生選抜	若干名	0	0	0	0	1	-1
小計	80	76	73	60	48	80	-32

■アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	33	33	31	29	30	-1
学校推薦型選抜	30	14	14	14	14	20	-6
一般選抜	15	23	23	21	12	11	1
外国人留学生選抜	若干名	4	4	3	3	3	0
小計	80	74	74	69	58	64	-6

■開志専門職大学 全体合計

	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
合計	240	213	209	189	159	206	-47

5) 在籍学生数

在籍学生数の状況（2023 年 3 月 31 日付）

(人)

学部学科	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
事業創造学部事業創造学科	60	47	57		164
情報学部情報学科	73	62	70		205
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	60	39			99
合計	193	148	127		468

6) 異動学生数（2023年 3月31日付）

学部学科	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
事業創造学部事業創造学科	1 年	1	2	0	0
	2 年	1	2	0	0
	3 年	1	4		
	4 年				
情報学部情報学科	1 年	0	7	0	0
	2 年	0	5	0	0
	3 年	1	4		
	4 年				
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	1 年	0	4	0	0
	2 年	0	1		
	3 年				
	4 年				
合計		4	29	0	0

7) 学生生活

(1) 学生生活に関する指導

学生一人ひとりが安心・安全で充実したキャンパスライフを送ることができるよう、学生生活に関する情報提供や必要に応じた支援・指導を以下の通り計画・実行した。

- ①学生相談対応
- ②欠席・遅刻過多の学生に対する指導
- ③学生の抱える問題に対して保護者と連携
- ④学費未納者に対する相談対応
- ⑤学生保険入会手続き
- ⑥定期健康診断の案内・手配
- ⑦感染症対策の促進
- ⑧学内ルール徹底に向けての注意喚起
- ⑨駐輪指導
- ⑩禁煙指導
- ⑪ SNS の利用指導（新潟県警よりご協力）
- ⑫臨地実務実習における教員の指導補助，交通費精算処理
他

(2) オリエンテーション

各学部において学生生活を送る上での説明や履修登録等についてのオリエンテーションを実施した。1年生のオリエンテーションでは在校生や教員との交流企画を開催し、学生生活の不安解消に努めた。また、その他の学年においては、臨地実務実習への意識づけの意味から、マナー指導もおこなった。

(3) 健康診断

学校保健安全法に基づき、すべての学生が安心・安全で充実した学生生活を送ることができるよう、学生生活支援の一環として、4月16日（土）、6月4日（土）、6月18日（土）に定期健康診断を実施した。

(4) 心理相談

看護師を1名採用し、3キャンパスを巡回しつつ問題を抱える学生の相談に対応している。また、通院が必要な学生や現に通院している学生に対しては、校医（非常勤）との連携による面談、産業カウンセラーとの面談を行っている。

これらの心理相談は守秘義務遵守の範囲内（該当学生には共有範囲をカウンセリングの際に示している）で、学務課および教員へ情報共有され、該当学生の支援に活用されている。

(5) 奨学金制度

奨学金制度には、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体によるものと本学独自のものがある。2022年度の実績は次の通り。

①日本学生支援機構（JASSO）の給付型奨学金制度（返還義務なし）58名

区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
給付金額	自宅：38,000円 自宅外：75,800円	自宅：25,600円 自宅外：50,600円	自宅：12,800円 自宅外：25,300円
給付期間	採用月～卒業年3月まで ただし、マイナンバーによる収入根拠の見直しにより支援区分の変更があります。		
授業料減免	700,000円	466,700円	233,400円
入学金減免	200,000円	133,400円	66,700円
募集時期	(春)4月～6月 (秋)10月～12月		

②日本学生支援機構（JASSO）の貸与奨学金制度【無利子】（返還義務あり）95名

③日本学生支援機構（JASSO）の貸与奨学金制度【有利子】（返還義務あり）138名

種類	第一種奨学金【無利子貸与】	第二種奨学金【有利子貸与】
貸与月額	自宅通学者 2万円, 3万円, 4万円, 5万4千円から選択 自宅外通学者 2万円, 3万円, 4万円, 5万円, 6万4千円から選択	2万円～12万円（1万円単位）で選択
貸与期間	採用年度の4月から卒業までの最短修業年数	採用年度の4月～9月の間（秋採用は10月から）で希望する月から卒業までの最短修業年数
返還期間	卒業後およそ14年から16年	卒業後およそ13年から20年
募集時期	(春)4月～6月 (秋)10月～12月	

④日本学生支援機構災害支援金 2名

⑤新潟県奨学金（貸与）1名

⑥古泉育英財団 給付奨学金 3名

⑦森下仁丹奨学会 給付奨学金 1名

⑧公益財団法人 日本国際教育支援協会 給付奨学金（一時金）4名

⑨公益財団法人 日本国際教育支援協会 コロナ対応特別枠（一時金）2名

⑩開志専門職大学 資格奨学生制度 9名

⑪開志専門職大学 進級時奨学金 A奨学生：9名, B奨学生：20名

進級時に、人物が優れており、成績が優秀である学生に対して、学費負担を軽減し、学業に対する意識を高めることで教育活動を推進することを目的とした制度。

種類	進級時奨学金【A奨学生】	進級時奨学金【B奨学生】
給付（減免）金額	25万円	7万円
奨学生の資格	前年度（単年度）のGPAが上位1割にある者に対し、進級時に奨学金を与えるものとする。	

⑫開志専門職大学 給付奨学金 4名

入学時に学力優秀な学生に対し、書類選考と面接により判定、大学4年間の授業料全額を免除する制度。

最大で事業創造学部 312 万円，情報学部 384 万円，アニメ・マンガ学部 360 万円を給付（免除）します。

(6) 学友会

学生の自主性による文化活動，スポーツ活動ならびに地域活動等を通じて，学生相互の親睦，資質の向上及び健康の増進を図り，学生生活を充実したものにするために，開学と同時に学友会組織「専律会」が発足した。

意思決定の迅速化を図るため，前年度 20 名の役員を会長，副会長 2 名，サークル統括部長，会計部長，広報部長，副広報部長の 7 名に縮小を図った。また，大学祭実行委員会を専律会執行部から独立させ，学園祭における権限を委譲することで，意思決定の迅速化とともに企画に柔軟性を持たせる組織体制を構築した。

【専律会活動報告】

- ・ 4 月 29 日 専律会役員会議
専律会印刷カードの運用，サークル活動費について
- ・ 4 月 30 日 専律会総会開催
 1. 会長の承認
 2. 専律会及び役員の紹介
 3. 会則の承認
 4. 2021 年度会計報告
 5. 2022 年度予算案
- ・ 7 月 役員全員と専律会長による 1on1 ミーティングの実施
今後のビジョンの確認と役員モチベーション維持を目的に実施
- ・ 10 月 30 日 第 2 回開志専門職大学大学祭 「橙華祭」実施
※別紙参照
- ・ 11 月 10 日 情報経営イノベーション専門職大学（以下，iU）自治会長と意見交換会
2020 年度に開学した同じく専門職大学である iU の先行事例や大学祭の運営について互いに交流を図り意見交換を行った。
- ・ 12 月 16 日 次年度大学祭実行委員の募集開始
- ・ 1 月 17 日 2023 年度大学祭体制検討会議
来年度の大学祭のスケジュール，組織体制について
- ・ 1 月～2 月 役員全員と専律会長による 1on1 ミーティングの実施
- ・ 2023 年度専律会会長選挙日程
立候補期間：2 月 20 日（月）～2 月 24 日（金）
選挙期間：2 月 27 日（月）～3 月 17 日（金）
会長発表：3 月 20 日（月）

役職・所属	学部・学年	氏名
会長	情報学部 3 年	上田 和史
副会長	情報学部 2 年	蝦 由伸
〃	事業創造学部 2 年	佐野 仁美
サークル統括部長	情報学部 2 年	竹内 良祐
会計部長	情報学部 2 年	熊倉 一哉
広報部長	事業創造学部 2 年	上野 祥栄
副広報部長	事業創造学部 2 年	井手上京香

(7) 大学祭

1. 実施日時

2022年10月30日(日)10:00~16:00

2. 会場

開志専門職大学 紫竹山キャンパス(新潟県新潟市中央区紫竹山6-3-5)

3. 大学祭呼称

橙華祭(とうかさい)

4. 主催

開志専門職大学 大学祭実行委員会

5. 実施コンセプト

「一人ひとりの個性と学部の特徴を活かす」

6. 当日スケジュール

【ステージ4階(S405・406)】

11:00~13:00 学生ライブ, 学生ダンス
14:00~16:00 アーティストライブ3組(中井佑香, courtesea, RYUTist)
16:00~ アーティスト物販
16:20~17:00 アトラクション・フィナーレ【本学学生のみ】
17:00 閉会

7. 入場者数(内訳は別紙参照)

- ・学生179名(昨年比140%)
 - ・学生家族68名(昨年比133%※保護者同時開催)
 - ・一般59名
 - ・教職員(家族含む)71名(昨年比104%)
 - ・業者48名(昨年比369%)
- 合計425名(昨年比163%)

8. 橙華祭概要

①模擬店・学食

- ・学生による模擬店出店は3店舗
(フランクフルト, コンソメスープ, タピオカドリンク)
- ・学食(・日替わりランチ・麺/・カレーライス/・カツカレー/・たれカツ丼)

②e-SPORTS大会

③ゲストステージ

「柳都アーティストファーム」で臨地実務実習を担当した事業創造学部3年がゲスト選定。

- ・RYUTist/courtesea/中井佑香
- ・MC 中静祐介(ヤングキャベツ)

④学生パフォーマンス

学生音楽サークル「BONDY」によるバンド演奏, ダンスサークルによるダンス。

⑤教職員バンドによるパフォーマンス

⑥アニメ・マンガ学部による学生作品の展示・販売

⑦写真動画サークルによる学生作品の展示

⑧大学紹介パネル

⑨学部別体験ブース

- ・事業創造学部: テーマパーク運営クイズ!(担当:星先生)
- ・情報学部: メタバース体験!~教育から医療まで~(担当:西川浩平先生, PANN先生, 上野先生)
- ・アニメ・マンガ学部: 自由に描こう!~参加型ライブペインティング~
(担当:belne先生, 高山先生, 森岡先生)

9. 新型コロナウイルス感染症のまん延防止にかかるお願い事項

- ① 本学入構の際には学生・保護者にかかわらず、また新潟県内外にかかわらず、以下のいずれかの書類を持参、提示する。また、身分証明書を合わせて提示。
- ・ワクチン接種 3 回終えた方は、「証明書予防接種済証」
※専用アプリ・画像データ提示可
 - ・PCR 検査（過去 72 時間以内）、もしくは抗原検査（過去 24 時間以内）を実施し、陰性を証明するもの。
- ② 上記書類を用意できない場合、本学が無料で提供する抗原検査キットでの検査結果が「陰性」である方は入構可。
- ③ 体温が 37.5 度以上の方、体調が悪い方については入構をお断りする場合があります。
書類の提示をいただいた方も含めて、すべての方にマスクの着用、検温、消毒をお願いいたします。

(8) クラブ活動

本学では、学部・学年の枠を超えてサークルの設立および活動をした。

■ 2022 年度専律会公認サークル内容

CG イラスト研究会／CReators of KAISHI LAB／Credo／ゲームサークル／
サッカー・フットサルサークル／ふるまち TRPG サークル／ラケスポサークル／BONDY／
開志専門職大学アルビレックスプロジェクト／開志創作連合／古町スポーツサークル／
写真・動画サークル「phos」／漫画研究会／chill サークル／Color Unite／E スポーツサークル／
ダンスサークル／ボードゲームサークル／開志ポケモンサークル／競技プログラミングサークル／
野球サークル

(9) 学生表彰

① 2022 年度在学生表彰者

受賞内容	学部	学年	氏名
公益財団法人 新潟県国際交流協会「外国人相談センター新潟」マスコットキャラクター採用	アニメ・マンガ学部	2 年	佐藤 瞳
開志専門職大学 ビジネスプランコンテスト 2022「大学生の部グランプリ」	情報学部	3 年	岡本 隆也 伊藤 真人 川俣 涼 岡部 義斗
開志専門職大学 ビジネスプランコンテスト 2022「大学生の部 NSG 理事長賞／聴衆賞」	情報学部	3 年	羽田 郁矢 上田 和史 大上 真弘
開志専門職大学 ビジネスプランコンテスト 2022「大学生の部 NSG 会長賞」	事業創造学部 情報学部	2 年 2 年	中嶋 遼大 稲垣 諒
開志専門職大学 ビジネスプランコンテスト 2022「開志特別賞」	事業創造学部	1 年	岡野 一真
開志専門職大学 ビジネスプランコンテスト 2022「大学生の部 企画書優良賞」	事業創造学部	3 年	福田 修冴
開志専門職大学 ビジネスプランコンテスト 2022「大学生の部 構想「大」賞」	事業創造学部	2 年	仁保 希隆
国崎クリーンセンター 啓発施設 ゆめほたるが主催する環境イラストコンテスト ストーリー部門「佳作」	アニメ・マンガ学部	2 年	江田 美鈴
TeNY テレビ新潟 「てっと君なかまたちプロジェクト」二次創作アートコンテスト 大賞	アニメ・マンガ学部	1 年	小野 莉奈

受賞内容	学部	学年	氏名
TeNY テレビ新潟 「てっとなかまたちプロジェクト」二次創作アートコンテスト TeNY 賞／キャラデザ賞	アニメ・マンガ学部	1 年	小林萌奈心
TeNY テレビ新潟 「てっとなかまたちプロジェクト」二次創作アートコンテスト TeNY 賞	アニメ・マンガ学部	1 年	中村 垂依
TeNY テレビ新潟 「てっとなかまたちプロジェクト」二次創作アートコンテスト キャラデザ賞	アニメ・マンガ学部	1 年	工藤そら音
「Google Cloud Challenge2022」優秀賞（全国 2 位）	情報学部	2 年	熊倉 一哉 谷井 友哉 松崎 優樹 平山 楓

学校法人 新潟総合学院
開志専門職大学年報
2022（令和 4）年度

発行日	2024 年 1 月 31 日
編集・発行	開志専門職大学 〒950-0914 新潟市中央区紫竹山 6-3-5 TEL：025-240-8118 FAX：025-240-8123 URL：https://kaishi-pu.ac.jp/
印刷	株式会社ウィザップ